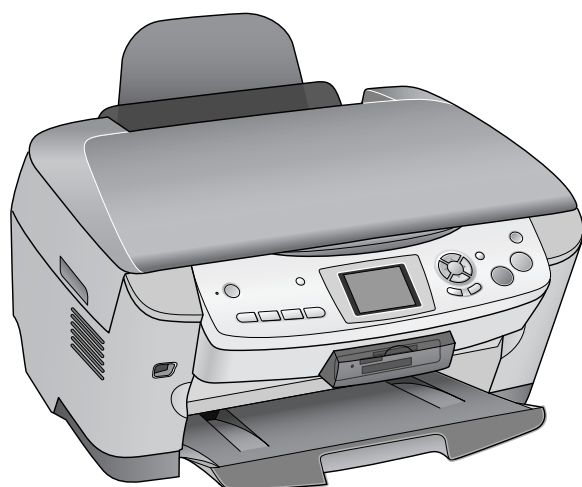
EPSON

Colorio

PM-A870

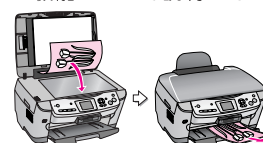
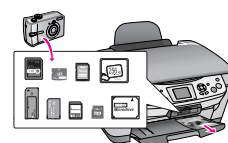
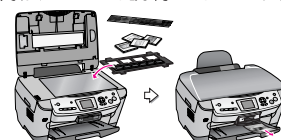
操作ガイド

PM-A870 だけで写真プリントやコピーをする方法、
およびパソコンとつないで使う場合の基本手順を
説明しています。

── 本書は製品の近くに置いてご活用ください。──

本書の内容

こんなことができます ………… 次ページ
本書のもくじ ………… 1
各部の名称と働き ………… 4

まずは使ってみよう ………… 7
◆用紙のセット
◆コピー
◆メモリカードから印刷

コピー ………… 13
セットした原稿をコピーする手順と
多彩なコピー機能について説明しています。

メモリカードから写真プリント ‥ 25
メモリカード内の写真を印刷する手順と
いろいろな印刷機能について説明しています。

フィルムから写真プリント ……… 39
ネガフィルムやポジフィルムから写真を
印刷する方法について説明しています。

パソコンとつないで使う ……… 45
パソコンと接続して使用する方法について
説明しています。

便利な機能、いろいろな使い方 ‥ 53
スキャンデータをメモリカードに保存する方法や
デジタルカメラから直接印刷する方法など
いろいろな機能について説明しています。

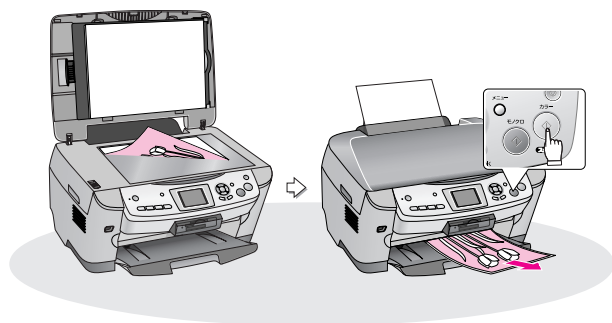
メンテナンス ………… 65
本製品を上手に長くお使いいただくコツや
インクカートリッジの交換方法などについて
説明しています。

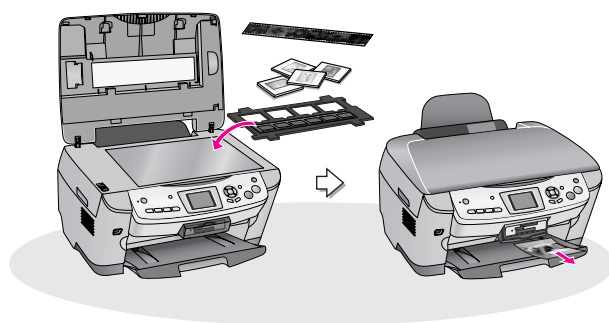
困ったときは ………… 75
トラブル対処方法について説明しています。

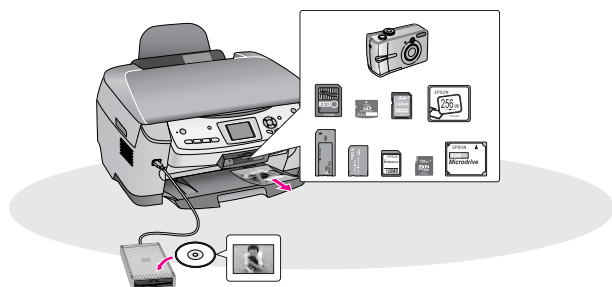
付録 ………… 89

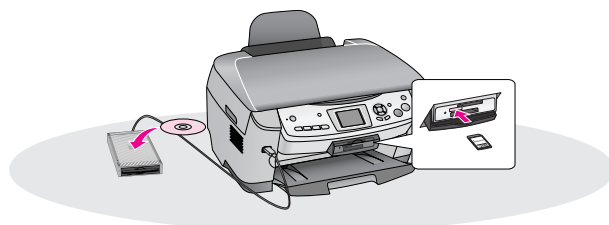
こんなことができます

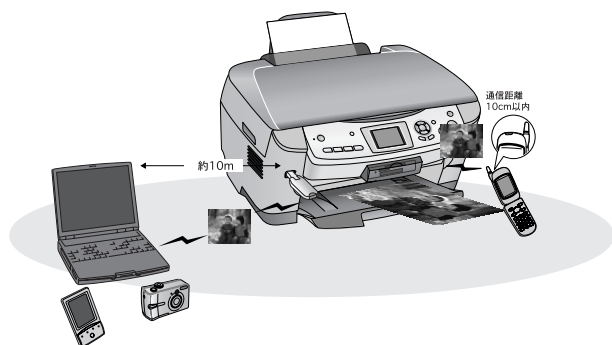
簡単操作でカラーコピー
（☞13 ページ）

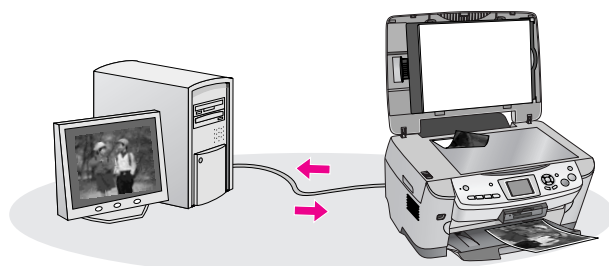
パソコンと接続しなくても、スピーディにカラーコピーが楽しめます。用途を広げる各種コピー機能をご用意しました。

フィルムから焼き増し
（☞39 ページ）

フィルムを本製品で読み込んで、液晶ディスプレイで確認し、焼き増しプリントができます。

メモリカードから写真プリント
（☞25 ページ）

メモリカードの写真を液晶ディスプレイで確認して写真プリントできます。また、メモリカードの写真データを、外部記憶装置（MOドライブ/USBフラッシュメモリなど）に保存（バックアップ）することもできます。

原稿をメモリカードに保存
（☞55 ページ）

パソコンに接続しなくても、写真や原稿、フィルムを本製品で読み込んで、メモリカードに保存することができます。
本製品をパソコンに接続すれば、メモリカードリーダー/ライターとして利用でき、メモリカードに保存した写真や原稿を確認することができます。

携帯電話やデジタルカメラなどから ワイヤレス印刷
（☞60、61 ページ）

赤外線通信カード（別売）やBluetoothユニット（別売）でワイヤレス印刷ができます。

高画質プリンタと高性能スキャナ
（☞45 ページ）

PM-A870単体で使用して思い通りに印刷/スキャンできなくても、パソコンを使用すれば、もっときれいに、もっと多彩に印刷/スキャンすることができます。

もくじ

■各部の名称と働き 4
操作パネルの各部の名称と働き 6

まずは使ってみよう

■印刷用紙のセット方法 7
■コピーしてみよう 8
A4 サイズの原稿を
A4 サイズの普通紙にコピーします 8
■デジタルカメラで撮った写真を
印刷してみよう 10
①メモリカードをセットします 10
②L 判サイズの写真用紙に印刷します 11

コピー

■コピーの種類（レイアウト）.............. 13
■コピー手順の流れ 14
■操作パネルの設定項目の詳細 17
コピーメニュー / コピー設定 17
コピーで使用できる用紙と設定値 18
■いろいろなコピーの手順 19
❶ 標準 / フチなし / ギリギリコピー 19
❷ リピートコピー自動 /4/9/16/ 名刺 20
❸ 2 アップ /4 アップコピー 21
❹ ポスター 4/9/16 コピー 22
❺ 写真コピー（L 判 /2 L 判）........................ 23
❻ ミラーコピー 24
❼ ミニフォトシールコピー 24

メモリカードから写真プリント

■メモリカードについて 25
■メモリカード印刷手順の流れ 26
■操作パネルの設定項目の詳細 29
写真の選択方法と印刷枚数設定 29
印刷設定 30
■いろいろな印刷の手順 32
オーダーシートを使って写真プリント 32
ズーム印刷 34
インデックス印刷 35
デジタルカメラで指定した写真を印刷（DPOF 印刷）.... 36
写真とフレームを合成して印刷（P.I.F.）........... 37

フィルムから写真プリント

■フィルムスキャンの事前準備 39
■フィルム印刷の手順 40
使用できるフィルムの種類 40
フィルムのセット方法 41
印刷手順＜ L 判印刷＞ 42
印刷手順＜こだわり印刷＞ 43
印刷手順＜ズーム印刷＞ 44

パソコンとつないで使う

■電子マニュアルの見方 46
電子マニュアルとは 46
表示方法 46
使い方 47
■印刷する 48
Windows の場合 48
Mac OS X の場合 49
Mac OS 9.x の場合 49
■スキャンする 50
全自動モードで簡単スキャン 50
スキャンモードの切り替え方法 51
スキャンしたデータをすぐに活用する 52

便利な機能、いろいろな使い方

■ 基本操作と設定値の初期化 54
操作パネルの設定の基本操作 54
設定値の初期化 54

■ スキャンしたデータを
メモリカードに保存 55
写真や雑誌などの原稿をメモリカードに保存 55
フィルムのデータをメモリカードに保存 56

■ メモリカードのデータを
外部記憶装置へ保存 57
外部記憶装置の接続方法 57
バックアップ方法 57

■ 外部記憶装置のデータを印刷
（バックアップしたデータのみ）...... 58
外部記憶装置の接続方法 58
印刷方法 58

■ デジタルカメラから直接印刷 59

■ 携帯電話からワイヤレス印刷
（赤外線通信カード - 別売 -）.......... 60
赤外線通信カードのセット方法 60
印刷方法 60

■ Bluetooth でワイヤレス印刷
（Bluetooth ユニット - 別売 -）....... 61
本製品と通信が可能な製品 61
Bluetooth ユニットの通信設定 61
印刷方法 63

メンテナンス

■ 上手に長くお使いいただくコツ 66
プリントヘッド（ノズル）の目詰まりを防ぐ 66
紙詰まりを防ぐ 67
きれいにスキャンするために 67

■ ノズルチェックとヘッドクリーニング .. 68
ノズルチェックパターンの印刷 68
ノズルチェック（目詰まりの確認）................. 68
ヘッドクリーニング 69

■ プリントヘッドのギャップ調整 70

■ インク残量の確認と
インクカートリッジの交換 71
インク残量の確認 71
新しいインクカートリッジの用意 71
インク残量があるときの
インクカートリッジの交換方法 72
インクがなくなったときの
インクカートリッジの交換方法 72

■ USB ケーブルの取り外し 74
USB ケーブルの取り外し方 74
USB ケーブルの取り付け方 74

困ったときは

■電源、操作パネルのトラブル
エラーメッセージ表示 76
電源、操作パネルのトラブル 76
液晶ディスプレイにエラーメッセージが
表示されている 77

■用紙のセット時、紙送りのトラブル 78

■印刷結果のトラブル........................ 79

■原稿 / メモリカード / フィルムのセット時、
スキャン結果のトラブル 82

■パソコンと接続時のトラブル 83
スキャナドライバのインストール状態を確認
（Windows）.. 84
プリンタドライバのインストール状態を確認
（Windows）.. 85
ドライバの再インストール 87

■トラブルが解決しないときは 88
本製品をパソコンと接続して使用している場合は、
『PM-A870 電子マニュアル』をご覧ください ... 88
インターネットに接続できる場合は、
インターネット FAQ をご覧ください 88
本体が故障していないかをご確認の上、
お問い合わせください 88

付録

■使用できる用紙の種類と印刷時の注意 ... 90
用紙の紹介と印刷時の注意 90
機能別　使用できる用紙 / 使用できない用紙 92

■印刷物（印刷後）の取り扱い 93
乾燥方法 93
保存・展示方法 93

■サービス・サポートのご案内 94
各種サービス・サポートについて 94
「故障かな？」と思ったら（お問い合わせの前に）..... 94
修理 / アフターサービスについて 95
輸送時（引っ越しや修理のとき）のご注意 96
本製品に関するお問い合わせ先 97
付属のソフトウェアに関するお問い合わせ先 98

■製品仕様 99

■索引... 101

■操作パネルの設定早見表 103

本書中のマークについて

本書では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。それぞれのマークには次のような意味があります。

ご使用上、必ずお守りいただきたいことを記載しています。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。	操作を間違った場合や説明通りにならない場合などの対処方法、また知っておくと便利な情報を記載しています。	補足情報や制限事項を記載しています。	関連した内容の参照ページを示しています。

各部の名称と働き

1 エッジガイド

セットした用紙が斜めに給紙されないように、用紙の側面に合わせます。

2 用紙サポート

印刷するための用紙を支えます。

3 オートシートフィーダ

セットした用紙を自動的に連続して給紙します。

4 給紙口カバー

本体内部に異物が入るのを防ぐカバーです。

5 スキャナユニット

インクカートリッジの取り付けや交換時、用紙が詰まったときなどに取っ手に手をかけて開けます。
印刷中、スキャン中、コピー中は開けないでください。

6 外部機器 /Bluetooth ユニット接続コネクタ

外部機器（USB フラッシュメモリや CD-R ドライブ /MO ドライブなど）や、デジタルカメラからの USB ケーブル、Bluetooth ユニットなどを接続するコネクタです。

7 メモリカードスロット / カバー

カバーを開いてメモリカードをセットします。セット後はカバーを閉じて使用します。

8 排紙トレイ

排出された用紙を保持します。

9 カートリッジ固定カバー

インクカートリッジの取り付け時や交換時に開きます。取り付け後、カバーを閉じることでカートリッジが固定されます。

10 プリントヘッド（ノズル）

インクを用紙に吐出する部分です。外からは見えません。

11 インクカートリッジ交換位置

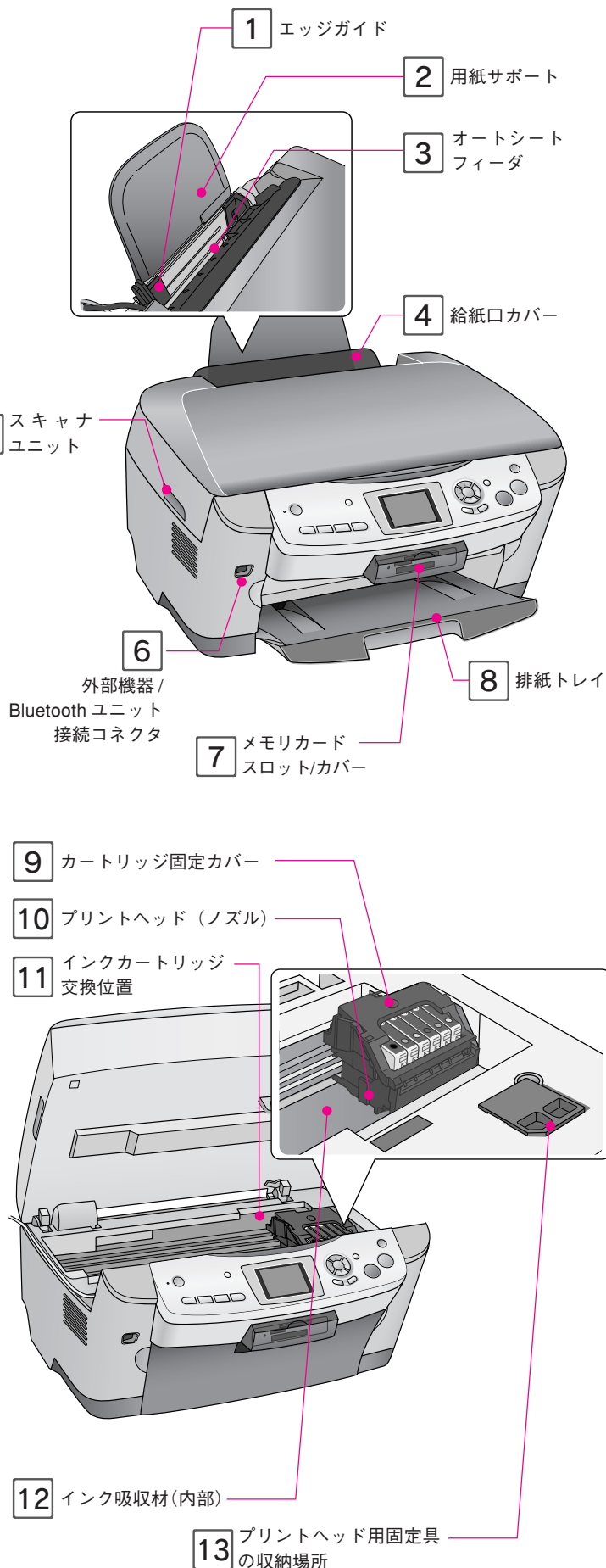
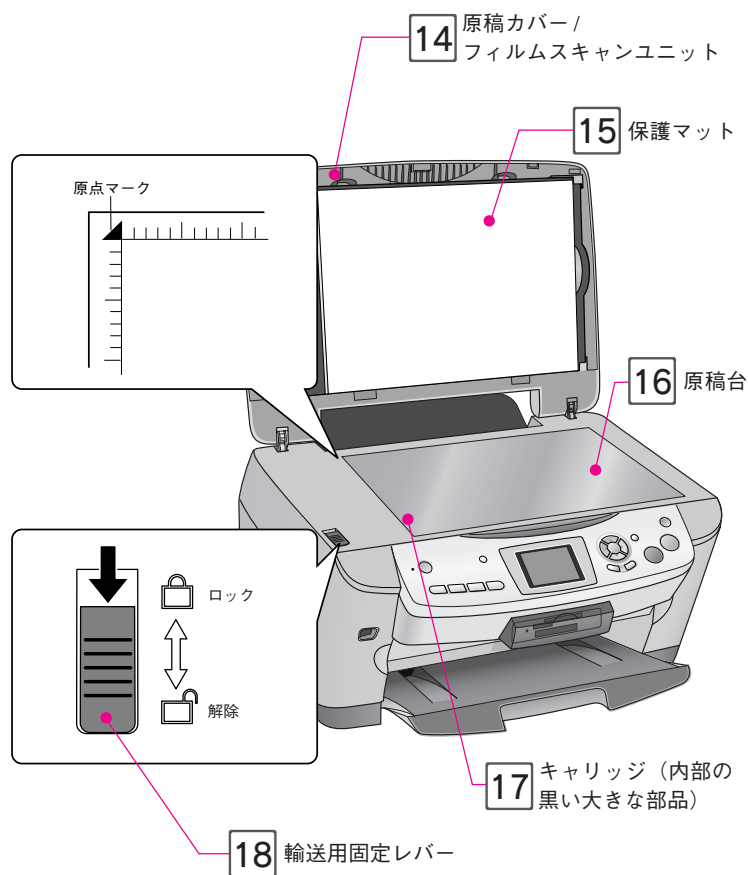
インクカートリッジの取り付け時や交換時には、プリントヘッドがこの位置に移動します。

12 インク吸収材（内部）

四辺フチなし印刷時に、はみ出したインクを吸収します。内部に付いたインク（黄、赤、黒など）はふき取らずに、そのままお使いください。

13 プリントヘッド用固定具の収納場所

輸送用のプリントヘッド用固定具を収納しておきます。再輸送時には取り付けてください。

☞ 本書 96 ページ「輸送時（引っ越しや修理のとき）のご注意」

14 原稿カバー / フィルムスキャンユニット

- コピーやスキャナで原稿を読み取るときに開けて、原稿をセットします。通常は原稿をセットした後、閉じて外部の光をさえぎります。厚い本や原稿台よりも大きな原稿をセットするときは、取り外すこともできます。
- ネガフィルムやポジフィルムなど（透過原稿といいます）を取り込む場合は、保護マットを取り外して、フィルムスキャンユニットとして使用します。
- 保護マットを取り外すと、フィルムホルダを収納するスペースがあります。
本書 39 ページ「フィルムホルダを使用しないときは」

15 保護マット

- 写真や書類など（反射原稿※といいます）を取り込む場合は、必ず取り付けてください。
  ※光を反射する原稿
- ネガフィルムやポジフィルムなど（透過原稿といいます）を取り込む場合は、取り外します。

16 原稿台

原稿の取り込みたい面を下にして置きます。原稿のセット位置を示す原点マークと、原稿の大きさを示す目盛りが付いています。

17 キャリッジ（内部）

ガラス面の下の内部にある黒い大きな部品で、原稿を照射する蛍光ランプと、反射した光を読み取るセンサが付いていて、取り込み時に移動します。
取り込み前のキャリッジの待機位置（左端）をホームポジションといいます。

18 輸送用固定レバー

輸送時にキャリッジが動かないようにロックします。
使用するときは、輸送用固定レバーのロックを解除（図の位置に）します。

19 フィルムスキャンケーブル

フィルムを取り込むときに接続します。

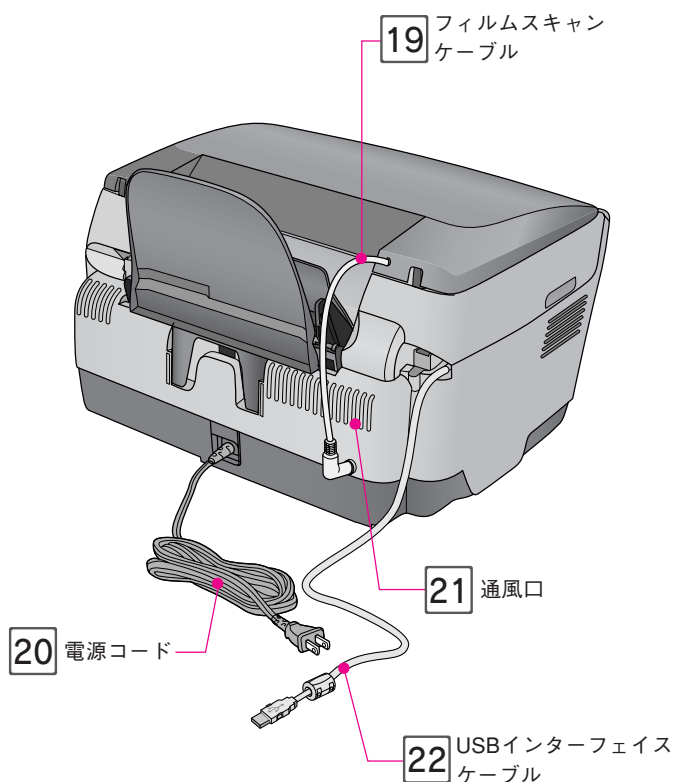
20 電源コード

AC100V の電源に接続します。

21 通風口

本製品の過熱を防ぐため、内部で発生する熱を放出します。
設置の際には、通風口をふさがないようにしてください。
また通風口のそばには物を置かないでください。

22 USB インターフェイスケーブル

パソコンに接続する標準装備の USB ケーブルです。
使用しない場合は、取り外すことができます。
本書 74 ページ「USB ケーブルの取り外し」

操作パネルの各部の名称と働き

1 電源ボタン / 電源ランプ

本製品の電源をオン / オフします。

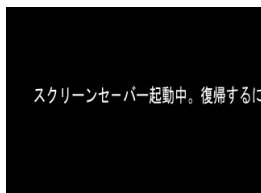
- 電源オン：
  使用できる状態の時は、電源ランプが点灯します。電源ボタンを押した直後や動作中は、電源ランプが点滅します。
- 電源オフ：
  電源ランプが消灯します。

2 各種設定ボタン

以下の設定や確認ができます。

- 液晶明るさ調整
- ヘッドクリーニング
- ノズルチェック
- インク残量
- インクカートリッジ交換
- ギャップ調整
- オプション類の設定

3 液晶ディスプレイ

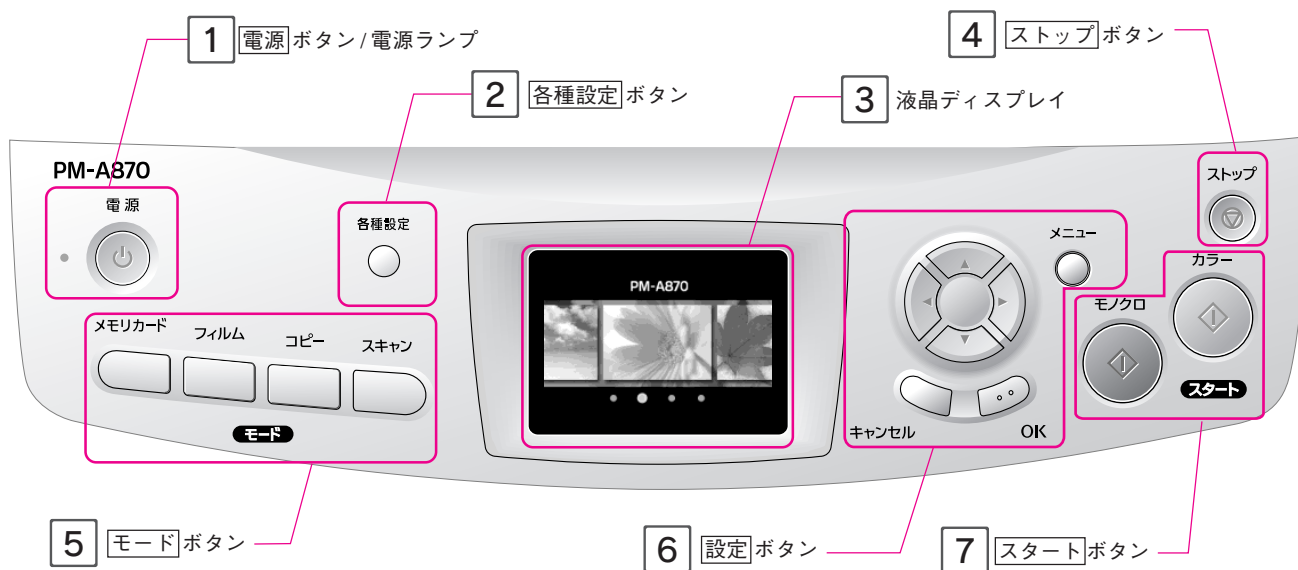
- メニューや設定、写真などを表示します。
- 約 3 分以上操作しないと、スクリーンセーバーが起動します。

スクリーンセーバー起動時の画面

- 約 13 分以上操作しないと、ディスプレイが消えて暗くなり、省エネモードになります。
- スクリーンセーバー起動中や省エネモード時は、電源ボタン以外のボタンを押したり、メモリカードの抜き差しをすると、元の画面に戻ります。

4 ストップボタン

本製品の状態により、次のように機能します。

- 印刷、スキャン中：
  動作を中止してメニュー画面に戻ります。
- パソコンから印刷中：
  印刷を中止して用紙を排紙します。

※詳細については『PM-A870 電子マニュアル』の「印刷の中止方法」をご覧ください。

5 モードボタン

やりたいことを選択するボタンです。

- メモリカードボタン
  メモリカード内の写真データを印刷するモードにします。
- フィルムボタン
  フィルムホルダにセットしたフィルムから写真を印刷するモードにします。
- コピーボタン
  原稿台にセットした原稿をコピーするモードにします。
- スキャンボタン
  原稿台にセットした原稿をスキャンするモードにします。

6 設定ボタン

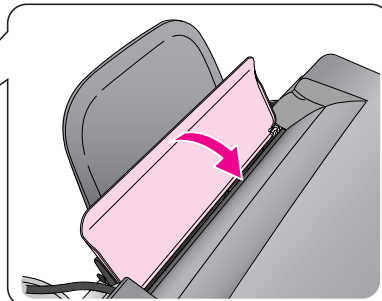
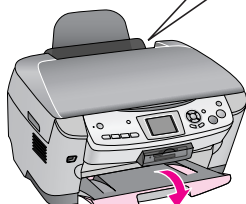
- ▲▼◀▶ボタン
  項目や設定値を選択するときなどに使用します。
- OKボタン
  選択 / 変更した設定を有効にします。
- キャンセルボタン
  操作中の設定をキャンセルします。
- メニューボタン
  コピーモードのときは、コピーレイアウトやコピー濃度の設定画面を表示します。
  他のモードのときは、メニュー画面に戻ります。

7 スタートボタン

- カラーボタン
  カラー印刷を開始（スタート）します。
  用紙がなくなった時や紙詰まりの時は、画面のメッセージに従ってカラーボタンを押すことがあります。
- モノクロボタン
  モノクロ印刷を開始(スタート)します。

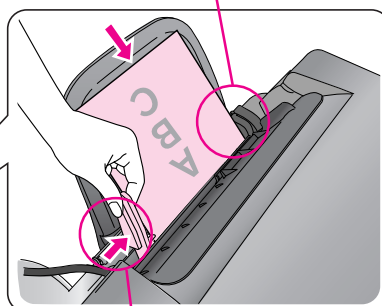
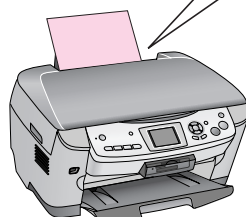
印刷用紙のセット方法

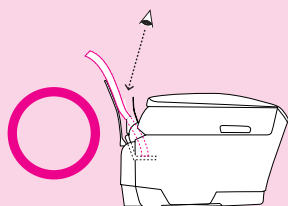
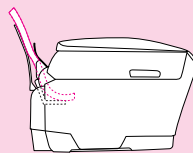
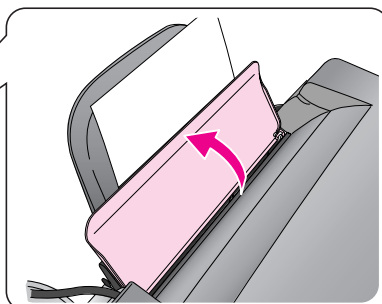
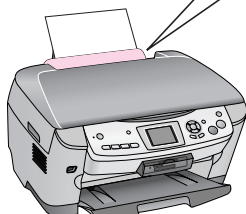
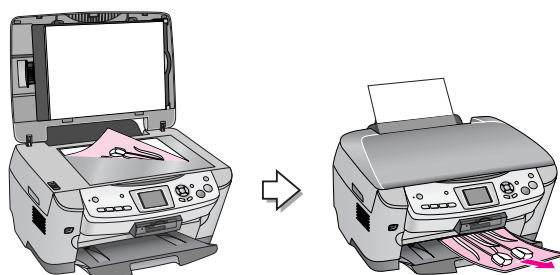
1 給紙口カバーを手前に起こし、排紙トレイを開きます。

① 手前に起こし、

② 排紙トレイを開きます。

2 印刷面を手前にして用紙を挿入し、エッジガイドを用紙の側面に合わせます。

用紙は縦方向（往復ハガキは横方向）にセットしてください。
ハガキのように天地（上下）のある用紙の場合は、天側を下向きにセットしてください。

① こちらに沿わせ挿入し、

② エッジガイドをつまんで、用紙の側面に合わせます。

注意 用紙が奥に入りすぎないようにしてください（上からのぞいたときに、用紙先端が見える状態が正しいセット位置です）。用紙先端が奥まで入りすぎると、故障の原因となります。

3 給紙口カバーを閉じます。

コピーしてみよう

A4 サイズの原稿を A4 サイズの普通紙にコピーします

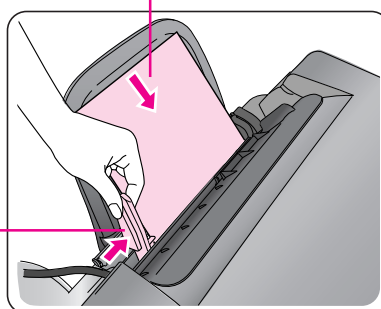
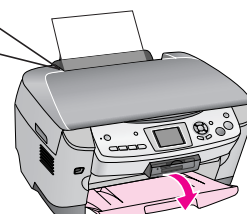
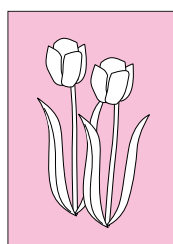
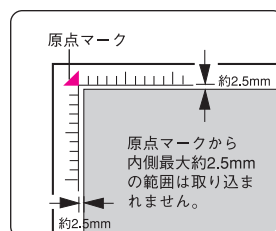
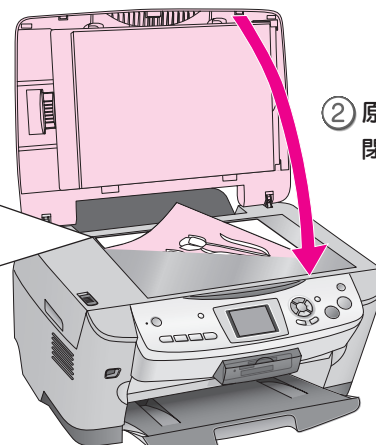
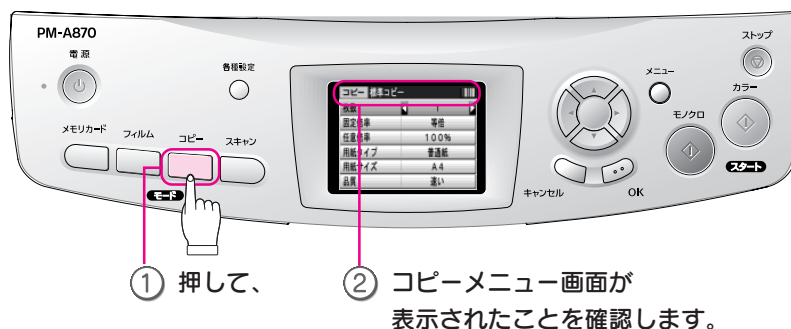
1 電源をオンにします。

電源ランプが点滅して液晶ディスプレイに画面が表示されます。電源ランプが点灯に変わったら使用可能状態です。

2 印刷用紙（A4 サイズの普通紙）をセットします。

本書 7 ページ「印刷用紙のセット方法」

① 用紙の印刷面を手前にして縦方向に挿入し、

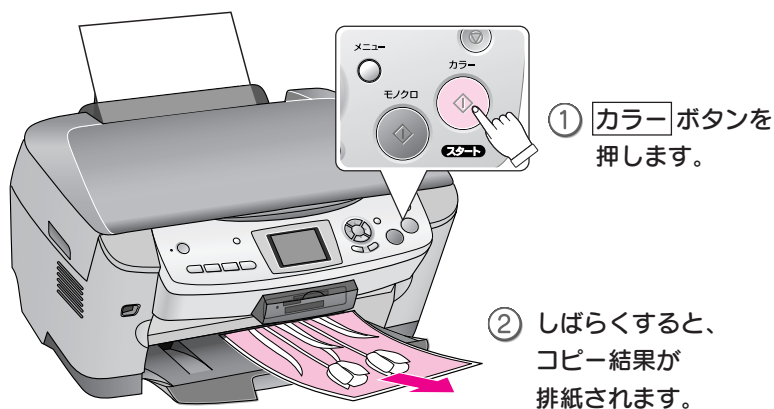
② エッジガイドを用紙の側面に合わせます。

③ 排紙トレイを開きます。

3 原稿カバーを開けて、原稿（A4 サイズ）をセットします。

4 操作パネルの コピー ボタンを押して、コピーモードにします。

補足情報

- 電源をオンにした直後（初期動作中）は、ボタンを押しても反応しません。
- 液晶ディスプレイが暗くなっているとき（省エネモード中）やスクリーンセーバー起動中は、電源 ボタン以外のボタンを押して画面表示を復帰させてから、もう一度 コピー ボタンを押してください。

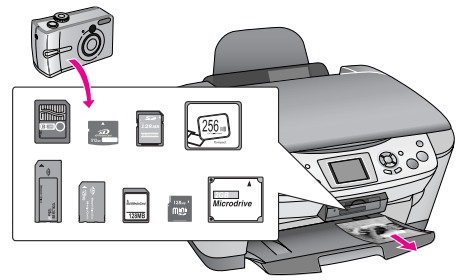
5 操作パネルの設定を確認します。

ここでは、A4 サイズの普通紙にコピーする設定にします。

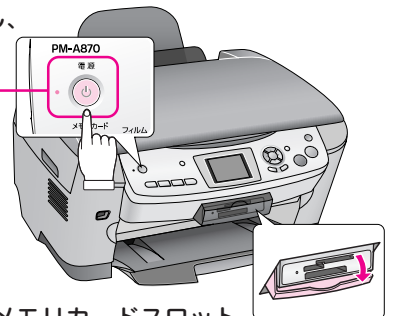
お買い上げ後、初めて電源をオンにしたときのコピー設定は、上図のように表示されます。上図と設定値が異なっている場合は、以下のページをご覧のうえ、必要に応じて設定し直してください。
本書 16 ページ「コピー手順の流れ」手順 7

6 カラー ボタンを押して、コピーを実行します。

以上で、コピーの手順説明は終了です。

設定の変更方法や、いろいろなコピー方法は 13 ページ

デジタルカメラで撮った写真を印刷してみよう

①メモリカードをセットします

1 電源をオンにし、メモリカードスロットカバーを開きます。

メモリカードスロットカバーは止まるところまでしっかりと押し下げてください。

2 メモリカードを1枚だけ挿入し、ランプの点灯を確認して、メモリカードスロットカバーを閉じます。

②L判サイズの写真用紙に印刷します

1 L判サイズの写真用紙（専用紙）をセットします。

本書7ページ「印刷用紙のセット方法」

① 用紙の印刷面（より光沢のある面）を手前にして縦方向に挿入し、

② エッジガイドを用紙の側面に合わせます。

③ 排紙トレイを開きます。

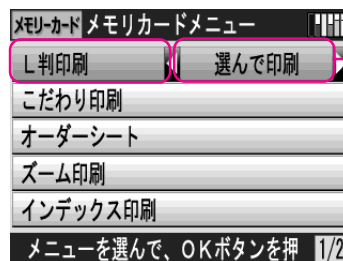
2 操作パネルの メモリカード ボタンを押して、メモリカードモードにします。

① 押して、

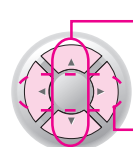
② メモリカードメニュー画面が表示されたことを確認します。

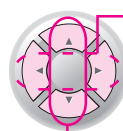
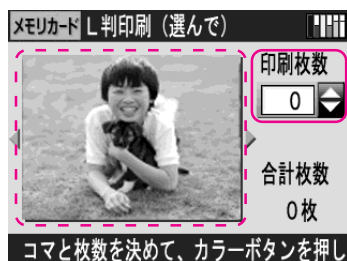
補足情報

- 電源をオンにした直後（初期動作中）は、ボタンを押しても反応しません。
- 液晶ディスプレイが暗くなっているとき（省エネモード中）やスクリーンセーバー起動中は、電源 ボタン以外のボタンを押して画面表示を復帰させてから、もう一度 メモリカード ボタンを押してください。

3 ［L判印刷］－［選んで印刷］が選択されていることを確認し、 OK ボタンを押します。

こんなときは

- ［L判印刷］が選択されていない場合
  ▲▼ボタンを押して選択してください。
- ［選んで印刷］が選択されていない場合
  ◀▶ボタンを押して選択してください。

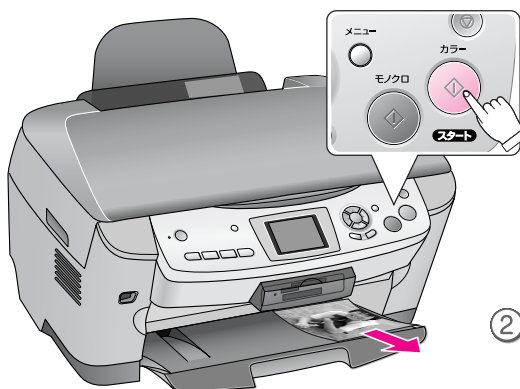
まずは使ってみよう

4

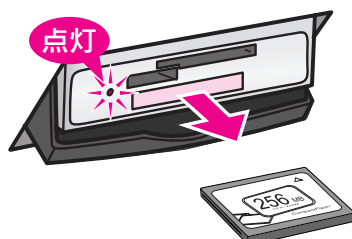
◀ ▶ ボタンで印刷したい写真（コマ）を表示し、▲ ▼ で印刷枚数を設定します。

こんなときは

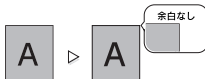
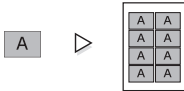
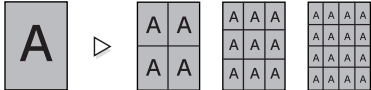
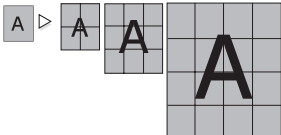
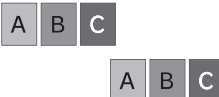
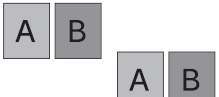
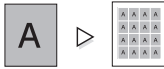
上記の画面「L判印刷（選んで)」が表示されないときは
キャンセルボタンを押すと［メモリカード］メニューに戻ります。手順 3 からやり直してください。

5

カラー ボタンを押して、印刷を実行します。

6

メモリカードを取り出します。

ランプが点滅していないことを確認して、取り出してください。取り出すとランプが消えます。

注意

ランプが点滅中（通信中）に取り出すと、メモリカードに保存されているデータが壊れるおそれがあります。

以上で、メモリカードからのL判フチなし印刷の手順説明は終了です。

L判フチなし印刷以外の印刷方法は　25 ページ

コピーの種類（レイアウト）

❶ 標準 / フチなし / ギリギリコピー 19

標準
四辺の余白 3mm でコピー

フチなし
余白なしで全面コピー

ギリギリ
四辺の余白 1.5mm でコピー

❷ リピートコピー 自動 /4/9/16/ 名刺 20

リピート自動
A4 サイズの用紙に合わせて等倍で複数枚割付コピー

リピート名刺
A4 サイズの用紙に合わせて名刺を 8 面付けコピー

リピート 4/9/16
A4 サイズの用紙に合わせて 4/9/16 面付けコピー

❸ 2 アップ /4 アップコピー 21

2 アップ
2 枚の原稿を A4 サイズの用紙に自動割付

4 アップ
4 枚の原稿を A4 サイズの用紙に自動割付

❹ ポスター 4/9/16 コピー 22

ポスター 4/9/16
原稿を 4 倍 /9 倍 /16 倍に拡大コピー

❺ 写真コピー（L 判 /2L 判）.. 23

写真（L 判）
複数枚の写真を一度にセットして、L 判の写真用紙にコピー

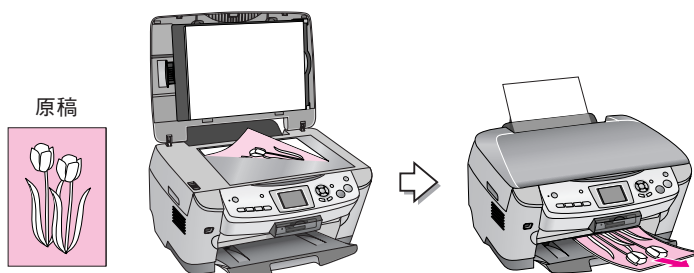
写真（2L 判）
複数枚の写真を一度にセットして、2L 判の写真用紙にコピー

❻ ミラーコピー 24

ミラーコピー
アイロンプリントペーパーに左右反転コピー

❼ ミニフォトシールコピー 24

ミニフォトシール
ミニフォトシール用紙に 16 面付けコピー

コピー手順の流れ

原稿

1 電源をオンにします。

本書 8 ページ「コピーしてみよう」手順 1

2 印刷用紙をセットします。

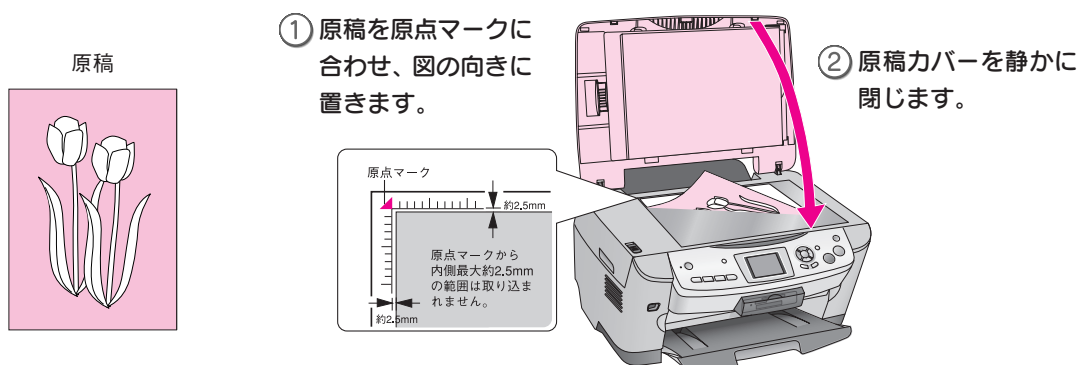
本書 7 ページ「印刷用紙のセット方法」
本書 90 ページ「使用できる用紙の種類と印刷時の注意」

3 原稿カバーを開き、原稿をセットします。

特に指示がない限り、原稿は横置きに（短辺が原稿台の左側になるように）セットしてください。

原稿

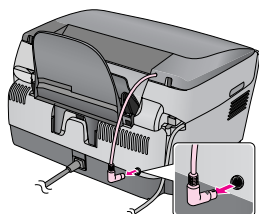
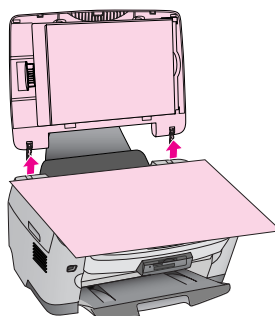
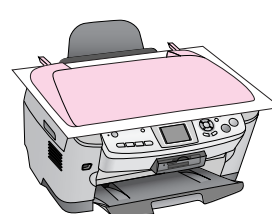
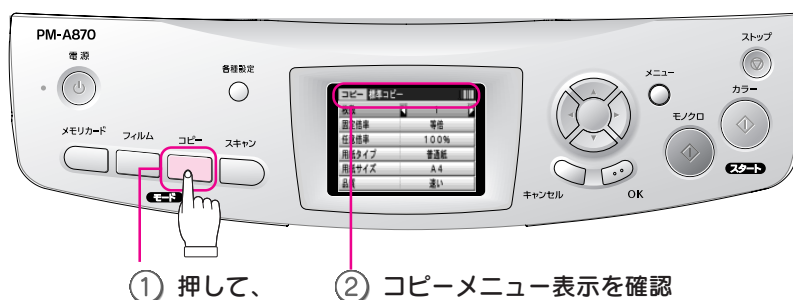
① 原稿を原点マークに合わせ、図の向きに置きます。

② 原稿カバーを静かに閉じます。

注意

- 原稿カバーは、無理に後ろに倒さないでください。
- 原稿カバーの上に物を置かないでください。
- 上から強い力をかけないでください。原稿カバーや原稿台が破損するおそれがあります。
- 原稿台のガラス面は、いつもきれいにしておいてください。
- 写真などの原稿を原稿台の上にセットしたまま、長期間放置しないでください。原稿台に貼り付くおそれがあります。
- 取り込み面が平らな原稿を使用してください。取り込み面がゆがんでいると、取り込んだイメージもゆがみます。

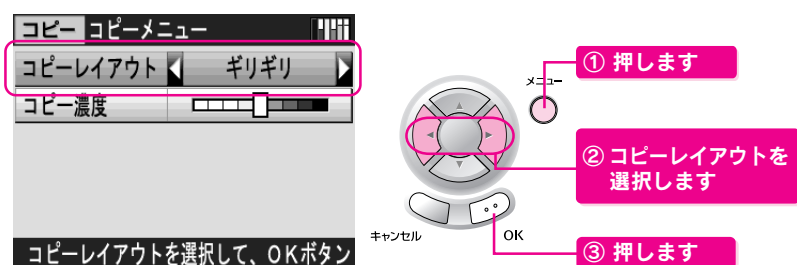
こんなときは

原稿台より大きい原稿や本などの厚い原稿をセットするときは

① [電源] ボタンを押して電源をオフにし、フィルムスキャンケーブルを外します。

② 原稿カバーを取り外し、原稿をセットします。

③ 原稿カバーを、原稿の上に静かに載せます。

4 操作パネルの コピー ボタンを押して、コピーモードにします。

補足情報

- 電源をオンにした直後（初期動作中）は、ボタンを押しても反応しません。
- 液晶ディスプレイが暗くなっているとき（省エネモード中）やスクリーンセーバー起動中は、電源 ボタン以外のボタンを押して画面表示を復帰させてから、もう一度 コピー ボタンを押してください。

5 メニュー ボタンを押して、コピーレイアウトを選択します。

必要に応じてコピー濃度を調整します。

設定項目	設定値（下線は初期値）
［コピーレイアウト］ 用紙にどのような配置（面付け）で印刷するか指定します。	標準 / フチなし / ギリギリ / リピート自動 / リピート 4/ リピート 9/ リピート 16 / リピート名刺 /2 アップ /4 アップ / ポスター 4/ ポスター 9/ ポスター 16/ 写真（L 判）/ 写真（2L 判）/ ミラーコピー / ミニフォトシール
［コピー濃度］ コピー濃度を 9 段階で調整できます。	□□□□■□□□□ 薄い ←標準→ 濃い

［標準］または［フチなし］を選択した場合は、手順 7 へ進みます。

6 コピーレイアウトの説明画面を確認して、OK ボタンを押します。

画面は、［ギリギリコピー］を選択した場合の例です。

コピー

7　必要に応じてコピーの詳細を設定します。

本書 17 ページ「コピーメニュー / コピー設定」

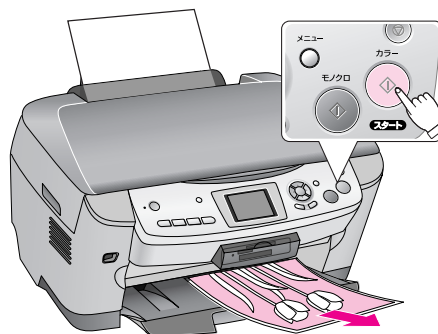
注意　コピー設定をする前に、必ず手順 5 で［コピーレイアウト］を選択してください。コピー設定をしてから［コピーレイアウト］を変更すると、項目によっては設定値が初期値に戻ってしまうため、設定し直すことになります。

こんなときは

専用紙へコピーする場合は

専用紙に合わせて［用紙タイプ］と［品質］を設定すると、きれいにコピーできます。
本書 18 ページ「コピーで使用できる用紙と設定値」

8　カラー か モノクロ ボタンを押してコピーを実行します。

カラー ボタンを押すとカラーで印刷、モノクロ ボタンを押すとモノクロで印刷されます。

注意　コピーが終了するまで、原稿カバーを開けないでください。原稿が動いてコピー結果にズレが生じる場合があります。

こんなときは

コピーを途中で止めたい場合は

ストップ ボタンを押します。コピーが中止され、印刷途中の用紙が排紙されます。コピーが中止されるまでには、多少時間がかかる場合があります。

補足情報

原稿サイズとコピー結果のサイズは、用紙の給紙誤差や原稿の読み取り誤差などにより、完全に一致しない場合があります。

以上で、コピーの手順説明は終了です。

操作パネルの設定項目の詳細

コピーモードで表示される設定項目と設定値について説明しています。

コピーメニュー / コピー設定

設定値の組み合わせによっては、表示されない（設定できない）項目や設定値があります。
画面の表示方法は以下をご覧ください。
本書 15 ページ「コピー手順の流れ」手順 5

設定項目	設定値（下線は初期値）	補足
［コピーレイアウト］ 用紙にどのような配置（面付け）で印刷するか指定します。	標準 / フチなし / ギリギリ / リピート自動 / リピート 4/ リピート 9/ リピート 16/ リピート名刺 /2 アップ /4 アップ / ポスター 4/ ポスター9/ポスター16/写真(L判)/写真(2L判)/ ミラーコピー / ミニフォトシール	コピーレイアウトの種類については以下のページをご覧ください。 本書 13 ページ「コピーの種類（レイアウト）」
［コピー濃度］ コピー濃度を 9 段階で調整できます。	□□□□■□□□□ 薄い ←標準 →濃い	
［枚数］ コピーする枚数を設定します。	1 ～ 99 枚	
［固定倍率］ 倍率を変更して、拡大 / 縮小コピーすることができます。	等倍	拡大 / 縮小しません。
	自動	原稿サイズを自動的に検知して、［用紙サイズ］で設定されているサイズに合わせて拡大 / 縮小コピーします。
	A4 →ハガキ /2L 判→ハガキ /L 判→ハガキ L 判→ 2L 判 /2L 判→ A4/ ハガキ→ A4/ L 判→ A4/L 判→六切 / 六切→ L 判	あらかじめ、拡大 / 縮小の倍率が登録されています。ご希望の倍率を選択してください。
	L 判→ハガキ上半分	• コピーレイアウトで［フチなし］を選択した場合のみ設定できます。 • コピー品質や用紙種類によっては、白い部分に薄い色が付くことがあります。
［任意倍率］ お好きな倍率を設定できます。	25 ～ 100%～ 400%	1% 刻みで設定できます。
［用紙タイプ］ セットした用紙の種類に設定を合わせると、きれいにコピーできます。	普通紙 / スーパーファイン紙 / 写真用紙 / 光沢紙 / フォトマット紙 / ミニフォトシール / 郵便 IJ ハガキ / 郵便ハガキ / 光沢名刺カード / アイロンプリント紙	用紙ごとの設定値については、次ページ「コピーで使用できる用紙と設定値」をご覧ください。
［用紙サイズ］ セットした用紙のサイズを設定します。	A4/L 判 /2L 判 / ハガキ /B5/ ハガキ上半分 / 六切	
［品質］ コピー品質を設定します。	エコノミー / 速い / きれい / フォト	エコノミー ＜速い ＜きれい ＜フォトの順番で印刷速度が遅くなります。
［退色復元］ 色あせた昔の写真や、日に当たって変色した写真を、元の色に戻します。	ON/OFF	• コピーレイアウトで［写真(L判/2L判)］を選択した場合のみ設定できます。 • カラー写真のみ有効です。

コピーで使用できる用紙と設定値

設定値の組み合わせによっては、表示されない（設定できない）項目や設定値があります。

<table>
<tr><th rowspan="2">使用できる用紙</th><th colspan="4">設定値項目</th></tr>
<tr><th>コピーレイアウト</th><th>用紙タイプ</th><th>用紙サイズ</th><th>品質</th></tr>
<tr><td>郵便ハガキ（再生紙）
郵便ハガキ（インクジェット紙）宛名面</td><td rowspan="2">標準
ギリギリ※1
フチなし※1
リピート自動/4/9/16</td><td>郵便ハガキ</td><td rowspan="2">ハガキ
ハガキ上半分</td><td>速い
きれい</td></tr>
<tr><td>郵便ハガキ（インクジェット紙）通信面</td><td>郵便IJハガキ</td><td>きれい
フォト</td></tr>
<tr><td>光沢紙</td><td rowspan="2">標準
ギリギリ
フチなし
リピート自動/4/9/16
2アップ/4アップ※2
ポスター4/9/16※2</td><td>光沢紙</td><td rowspan="2">A4</td><td rowspan="2">きれい
フォト</td></tr>
<tr><td>フォトマット紙</td><td>フォトマット紙</td></tr>
<tr><td>フォト・クオリティ・カード2</td><td>標準
ギリギリ
フチなし
リピート自動/4/9/16</td><td>光沢紙</td><td>ハガキ
ハガキ上半分</td><td>きれい
フォト</td></tr>
<tr><td>写真用紙＜光沢＞</td><td rowspan="2">標準
ギリギリ
フチなし
リピート自動/4/9/16
2アップ/4アップ※2
ポスター4/9/16※2
写真（L判）/（2L判）</td><td rowspan="2">写真用紙</td><td>L判
2L判
A4
六切</td><td rowspan="2">きれい
フォト</td></tr>
<tr><td>写真用紙＜絹目調＞</td><td>L判
2L判
A4
ハガキ
ハガキ上半分</td></tr>
<tr><td>スーパーファイン紙
スーパーファイン専用ラベルシート</td><td>標準
ギリギリ※3
フチなし※3
リピート自動/4/9/16
2アップ/4アップ※2
ポスター4/9/16※2</td><td>スーパーファイン紙</td><td>A4</td><td>きれい
フォト</td></tr>
<tr><td>アイロンプリントペーパー</td><td>ミラーコピー※2</td><td>アイロンプリント紙</td><td>A4</td><td>速い</td></tr>
<tr><td>ミニフォトシール</td><td>ミニフォトシール</td><td>ミニフォトシール</td><td>ハガキ</td><td>フォト</td></tr>
<tr><td>フォト光沢名刺カード</td><td>リピート名刺※2</td><td>光沢名刺カード</td><td>A4</td><td>フォト</td></tr>
<tr><td>両面上質普通紙
事務用普通紙</td><td>標準
フチなし※3
ギリギリ※3
リピート自動/4/9/16
2アップ/4アップ※2
ポスター4/9/16※2
ミラーコピー※2</td><td>普通紙</td><td>A4
B5</td><td>エコノミー
速い
きれい</td></tr>
</table>

※1：[フチなし]、[ギリギリ] でコピーできるのは、通信面のみです。宛名面には印刷できません。
※2：使用可能な用紙サイズは、A4のみです。
※3：[フチなし]、[ギリギリ] コピーの場合、印刷データによっては印刷結果が汚れる場合があります。

いろいろなコピーの手順

1 標準 / フチなし / ギリギリコピー　19 ページ
2 リピートコピー自動 /4/9/16/ 名刺　20 ページ
3 2 アップ /4 アップコピー　21 ページ
4 ポスター 4/9/16/ コピー　22 ページ
5 写真コピー（L 判 /2L 判）　23 ページ
6 ミラーコピー（左右反転）　24 ページ
7 ミニフォトシールコピー（小さなシール）　24ページ

1 標準/フチなし/ギリギリコピー

余白の設定ができます。

標準：余白 3mm　A ▷ A　余白3mm

フチなし：余白なし　A ▷ A　余白なし

ギリギリ：余白 1.5mm　A ▷ A　余白1.5mm

1 印刷用紙をセットします。

本書 7 ページ「印刷用紙のセット方法」
本書 18 ページ「コピーで使用できる用紙と設定値」

2 原稿をセットします。

本書 14 ページ「コピー手順の流れ」手順 3

3 [コピー] ボタンを押して、コピーモードにします。

本書 9 ページ「コピーしてみよう」手順 4

4 [メニュー] ボタンを押して、コピーレイアウトを選択します。

5 [ギリギリ] を選択した場合は、表示される説明画面を確認して、[OK] ボタンを押します。

6 必要に応じてコピーの詳細を設定します。

本書 17 ページ「コピーメニュー / コピー設定」

補足情報

フチなしコピーは、用紙サイズより原稿のサイズを少し拡大してコピーします。そのため、原稿の周囲がコピーされません。原稿の周囲もコピーしたい場合は、操作パネルで任意倍率を選択して、コピー範囲を調整してください。

用紙サイズ（破線で表示された範囲）

破線より外の領域はコピーされません。

7 [カラー] か [モノクロ] ボタンを押して、コピーを実行します。

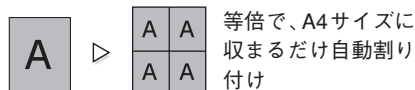
コピー結果が排紙されます。

以上で、標準 / フチなし / ギリギリコピーの手順説明は終了です。

コピー

❷ リピートコピー自動/4/9/16/名刺

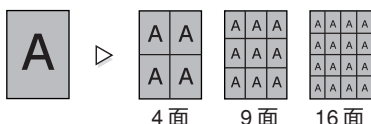
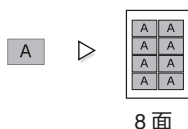
1枚の用紙に同じ原稿をたくさんコピーします。

リピートコピー自動

▷
等倍で、A4サイズに収まるだけ自動割り付け

リピートコピー 4/9/16

▷
4面　9面　16面

リピートコピー名刺

A ▷
8面

補足情報

リピートコピー名刺は、エプソン製の専用紙「フォト光沢名刺カード」（A4 サイズ）にコピーする設定です。

1 印刷用紙をセットします。

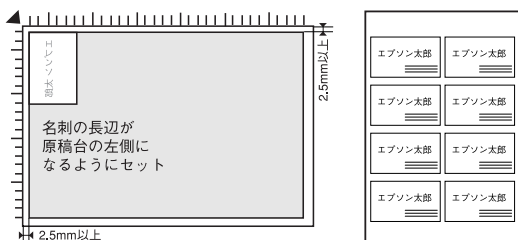
☞本書 7 ページ「印刷用紙のセット方法」
☞本書 18 ページ「コピーで使用できる用紙と設定値」

2 原稿をセットします。

☞本書 14 ページ「コピー手順の流れ」手順 3

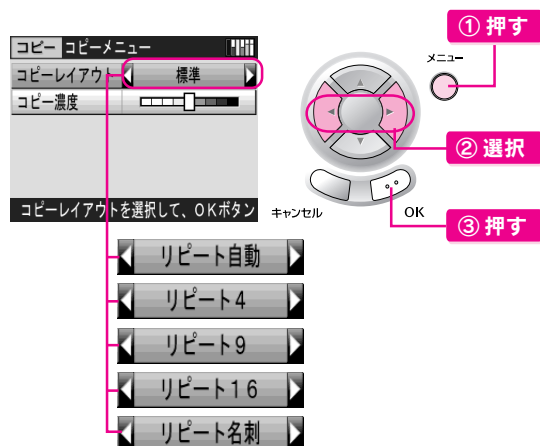
こんなときは

名刺をリピートコピーするときは

通常、原稿は横置きにセットしますが、名刺原稿の場合は、名刺の長辺が原稿台の左側になるようにセットします。

名刺の長辺が
原稿台の左側に
なるようにセット
2.5mm以上
2.5mm以上

3 コピー ボタンを押して、コピーモードにします。

☞本書 9 ページ「コピーしてみよう」手順 4

4 メニュー ボタンを押して、コピーレイアウトを選択します。

5 表示される説明画面を確認して、OK ボタンを押します。

6 必要に応じてコピーの詳細を設定します。

☞本書 17 ページ「コピーメニュー / コピー設定」

7 カラー か モノクロ ボタンを押して、コピーを実行します。

コピー結果が排紙されます。

以上で、リピートコピーの手順説明は終了です。

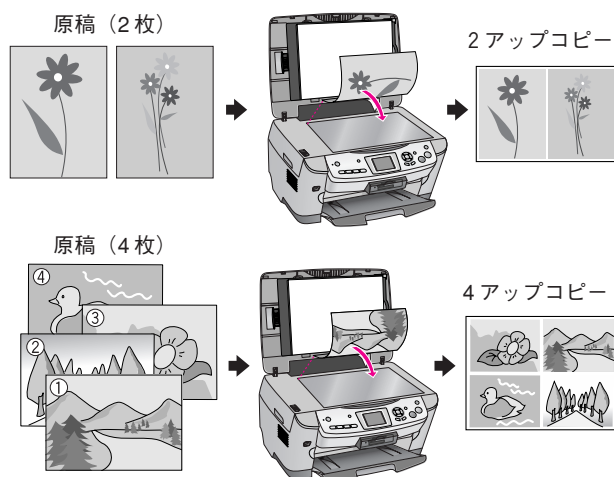
③ 2アップ/4アップコピー

2枚または4枚の原稿を、A4サイズ1枚の用紙に縮小割り付けしてコピーします。

原稿（2枚）

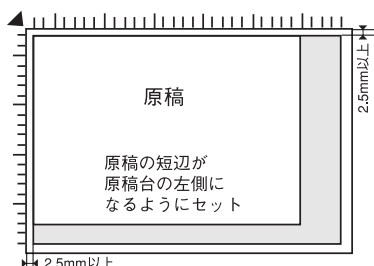
2アップコピー

原稿（4枚）

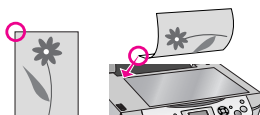
4アップコピー

1 印刷用紙をセットします。

本書7ページ「印刷用紙のセット方法」
本書18ページ「コピーで使用できる用紙と設定値」

2 1枚目の原稿をセットします。

本書14ページ「コピー手順の流れ」手順 3

原稿の向きとコピー結果（割り付け順序）

- **縦長原稿の場合**

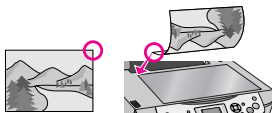
原稿の○の部分を原点マークに合わせ、伏せてセットしてください。

コピー結果（2アップ）

1枚目	2枚目

コピー結果（4アップ）

1枚目	2枚目
3枚目	4枚目

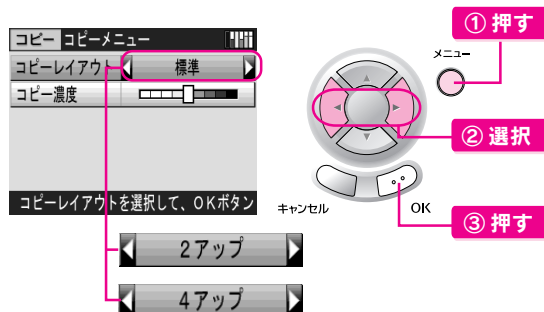
- **横長原稿の場合**

原稿の○の部分を原点マークに合わせ、伏せてセットしてください。

コピー結果（2アップ）

1枚目
2枚目

コピー結果（4アップ）

3枚目	1枚目
4枚目	2枚目

3 コピーボタンを押して、コピーモードにします。

本書9ページ「コピーしてみよう」手順 4

4 メニューボタンを押して、コピーレイアウトを選択します。

5 表示される説明画面を確認して、OKボタンを押します。

6 必要に応じてコピーの詳細を設定します。

本書17ページ「コピーメニュー/コピー設定」

7 カラーかモノクロボタンを押して、コピーを実行します。

1枚目の原稿のコピーが始まります。

8 「原稿交換」のメッセージが表示されたら、2枚目の原稿をセットして、カラーかモノクロボタンを押します。

1枚目と同じボタンを押してください。

2枚目の原稿のコピーが始まり、コピー結果が排紙されます。

2枚目の原稿がない場合

ストップボタンを押すと、1枚目のコピー結果が排紙されます。

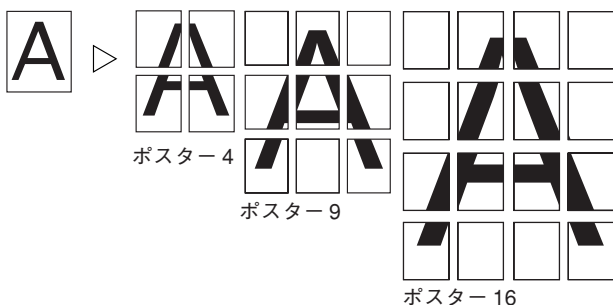
9 4アップコピーの場合は、手順 8 を繰り返します。

4枚目の原稿のコピー終了後、コピー結果が排紙されます。

以上で、2アップ/4アップコピーの手順説明は終了です。

コピー

④ ポスター 4/9/16 コピー

原稿をA4サイズ4/9/16枚分の用紙に分割して拡大コピーします。コピー結果を貼り合わせると大判のポスターが完成します。

1 印刷用紙（A4 サイズ）をセットします。

本書 7 ページ「印刷用紙のセット方法」
本書 18 ページ「コピーで使用できる用紙と設定値」

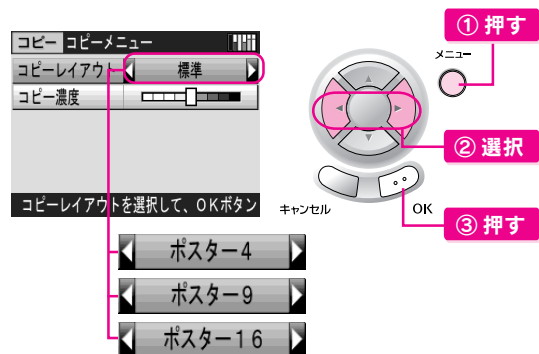
補足情報
ポスターの大きさによって、A4 サイズの用紙が複数枚必要です。
ポスター－4：4 枚
ポスター－9：9 枚
ポスター－16：16 枚

2 原稿をセットします。

本書 14 ページ「コピー手順の流れ」手順 3

3 [コピー] ボタンを押して、コピーモードにします。

本書 9 ページ「コピーしてみよう」手順 4

4 [メニュー] ボタンを押して、コピーレイアウトを選択します。

5 表示される説明画面を確認して、[OK] ボタンを押します。

6 必要に応じてコピーの詳細を設定します。

本書 17 ページ「コピーメニュー / コピー設定」

7 [カラー] か [モノクロ] ボタンを押して、コピーを実行します。

指定の枚数に分割して拡大印刷されます。

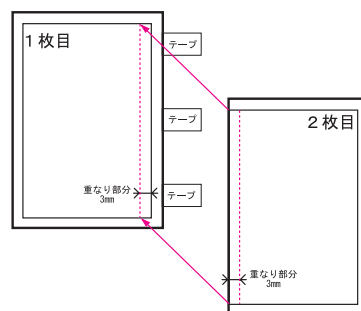
コピー結果の貼り合わせ

コピー結果を 1 枚のポスターにする手順を、「ポスター 9」を例に説明します。

1 下図の色の付いた部分（用紙の余白）を切り取ります。

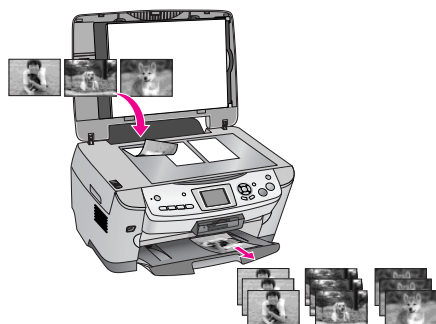
印刷された用紙には、上下左右に3mmの余白部分があります。貼り合わせるときに不要となる下図の余白（色の付いた部分）を切り取ります。

2 1枚目の裏面にテープを付け、2枚目を重ねるように貼り合わせます。

貼り合わせる辺には、重なり部分が3mmずつあります。ずれないように重なり部分を重ねて貼り合わせてください。

3 3枚目以降も同じような手順で貼り合わせます。

以上で、ポスターコピーの手順説明は終了です。

⑤ 写真コピー（L 判 /2 L 判）

E 判 /L 判 /2 L 判サイズの写真原稿を複数枚同時にセットし、L 判または 2 L 判の写真用紙にまとめてコピーします。

1 印刷用紙（写真用紙）をセットします。

原稿のサイズより小さい用紙はセットしないでください。

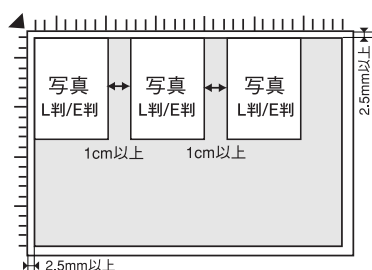
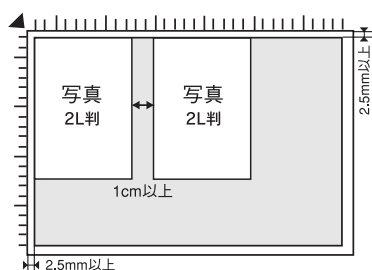
本書 7 ページ「印刷用紙のセット方法」
本書 18 ページ「コピーで使用できる用紙と設定値」

2 写真原稿をセットします。

縦置きで、写真と写真の間隔を 1cm以上空けて並べてください。最多で 3 枚までセットできます。

本書 14 ページ「コピー手順の流れ」手順 3

スキャンできる写真のサイズは以下の通りです。
最小：64 × 89 mm
最大：127 × 178 mm

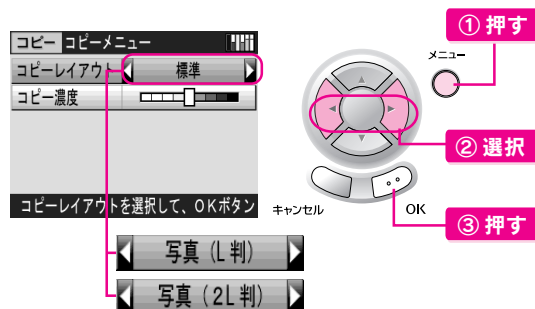
例 1

例 2

補足情報

- 写真は縦置きでセットしてください。
- セットする写真のサイズ（E 判 /L 判 /2L 判など）は混在していても構いません。
- 写真と写真の間隔は 1cm 以上空けて垂直に置き、傾かないようにしてください。
- 写真は強く押さえつけないでください。
- 余白のある写真や、周囲に白い部分のある写真の場合は、原稿が認識されなかったり、白い部分がカットされることがあります。

3 コピー ボタンを押して、コピーモードにします。

本書 9 ページ「コピーしてみよう」手順 4

4 メニュー ボタンを押して、コピーレイアウトを選択します。

セットした印刷用紙の用紙サイズに合わせて、L 判 /2L 判を選択してください。

5 表示される説明画面を確認して、OK ボタンを押します。

6 必要に応じてコピーの詳細を設定します。

コピー倍率は「自動」に設定され、用紙サイズに合わせて拡大 / 縮小印刷されます。

本書 17 ページ 「コピーメニュー / コピー設定」

こんなときは

色あせた写真を元の色に戻したい
［退色復元］を［ON］に設定すると、色あせたり日に当たって変色した古い写真が、元の色に近い色で印刷されます。
退色復元機能はカラー写真のみ有効です。モノクロ写真には使用できません。

7 カラー か モノクロ ボタンを押して、コピーを実行します。

セットした写真がスキャンされます。

8 スキャンされた写真の枚数を確認し、OK ボタンを押します。

写真が 1 枚ずつ印刷されます。

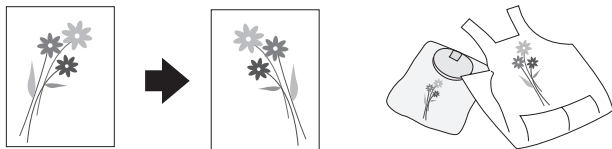
こんなときは

セットした枚数と一致しない場合
キャンセル ボタンを押して、設定し直すこともできます。

以上で、写真コピー（L判/2L判）の手順説明は終了です。

コピー

6 ミラーコピー

原稿を左右反転して印刷します。反転コピーしたアイロンプリントペーパーを、アイロンを使って布（綿100%または綿50%以上の混紡）に転写すると、原稿と同じ向きになります。

1 **印刷用紙（普通紙またはアイロンプリントペーパー）をセットします。**

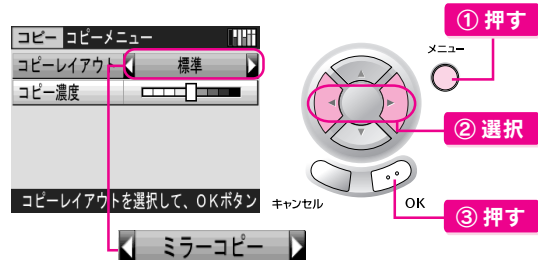
本書7ページ「印刷用紙のセット方法」
本書18ページ「コピーで使用できる用紙と設定値」

2 **原稿をセットします。**

本書14ページ「コピー手順の流れ」手順 3

3 **コピー ボタンを押して、コピーモードにします。**

本書9ページ「コピーしてみよう」手順 4

4 **メニュー ボタンを押して、コピーレイアウトを選択します。**

5 **表示される説明画面を確認して、OK ボタンを押します。**

6 **必要に応じてコピーの詳細を設定します。**

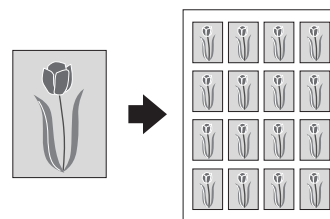
本書17ページ「コピーメニュー／コピー設定」

7 **カラー か モノクロ ボタンを押して、コピーを実行します。**

コピー結果が排紙されます。

以上で、ミラーコピーの手順説明は終了です。

7 ミニフォトシールコピー

エプソン製の専用紙ミニフォトシール用紙（ハガキサイズ）に、16面付けで縮小コピーし、小さなシールを作ります。

1 **印刷用紙（ミニフォトシール）をセットします。**

ミニフォトシールに付属の「給紙補助シートA/B」を下に敷いてセットしてください。

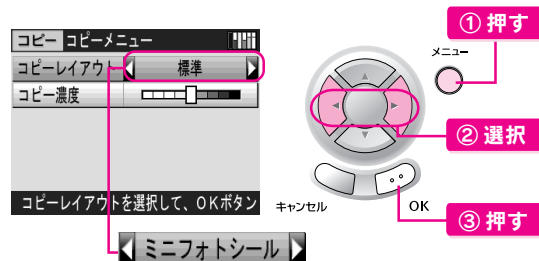
本書7ページ「印刷用紙のセット方法」
本書18ページ「コピーで使用できる用紙と設定値」

2 **原稿（L判：89×127mm以下のサイズ）をセットします。**

本書14ページ「コピー手順の流れ」手順 3

3 **コピー ボタンを押して、コピーモードにします。**

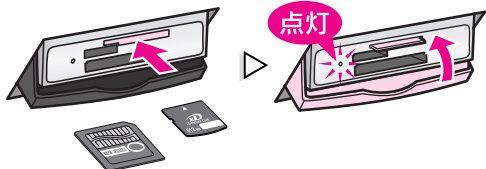
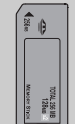
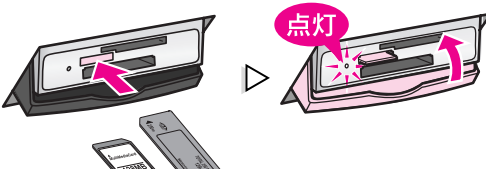
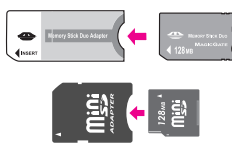
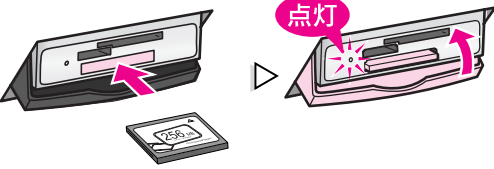
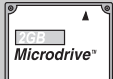
本書9ページ「コピーしてみよう」手順 4

4 **メニュー ボタンを押して、コピーレイアウトを選択します。**

5 **表示される説明画面を確認して、OK ボタンを押します。**

6 **必要に応じてコピーの詳細を設定します。**

本書17ページ「コピーメニュー／コピー設定」

7 **カラー か モノクロ ボタンを押して、コピーを実行します。**

コピー結果が排紙されます。

以上で、ミニフォトシールコピーの手順説明は終了です。

メモリカード について

使用できるメモリカード

使用できるメモリカード	セット位置

上段スロット

・スマートメディア

・xD-Picture Card

中央スロット

・メモリースティック
・メモリースティックPRO
・マジックゲートスティック

・マルチメディアカード

・SDメモリーカード

・メモリースティック Duo※
・メモリースティックPRO Duo※
・マジックゲートメモリースティックDuo※
・miniSDカード※

※カードに付属の専用アダプタに差し込んでから、本製品のスロットに差し込んでください。

下段スロット

・コンパクトフラッシュ

・マイクロドライブ

メモリースティックPRO、メモリースティックPRO Duo、マジックゲートメモリースティック、マジックゲートメモリースティック Duo の著作権保護機能には対応しておりません。また、メモリースティック PRO、メモリースティック PRO Duo の高速転送機能には対応しておりません。

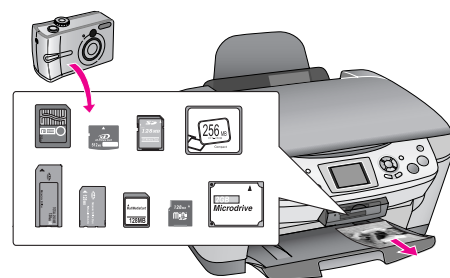
印刷できる画像ファイル形式

本製品で印刷できる画像ファイルの形式は以下の通りです。ただし、フォルダ名やファイル名にひらがなや漢字などが使用されていると認識されません。フォルダ名や各写真のファイル名には、半角英数字をご使用ください。

対応ファイル形式	DCF*1 Version 2.0 規格準拠
対応画像ファイルフォーマット	DCF*1 Version 1.0 または 2.0 規格準拠のデジタルカメラで撮影した JPEG*2 形式、TIFF*2 形式の画像ファイル
有効画像サイズ	横 80 〜 4600 ピクセル、縦 80 〜 4600 ピクセル
最大ファイル数	999 個

*1 DCFは、社団法人電子情報技術産業協会（社団法人日本電子工業振興協会）で標準化された「Design Rule for Camera File system」規格の略称です。

*2 Exif Version 2.2.1 準拠。

メモリカード印刷手順の流れ

1 電源をオンにします。

本書 10 ページ「①メモリカードをセットします」手順 1

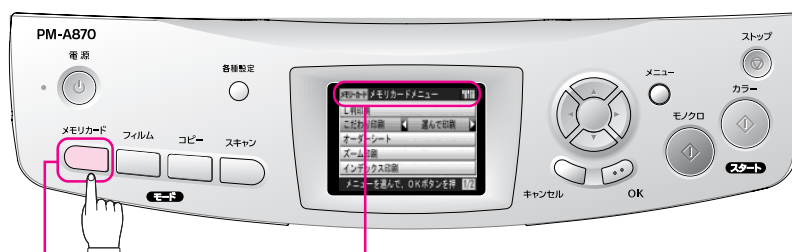
2 メモリカードの種類とセット位置を確認し、メモリカードをセットします。

本書 25 ページ「メモリカードについて」
本書 10 ページ「①メモリカードをセットします」手順 2

- スロット横のランプが点滅しているときは、メモリカードを取り出さないでください。メモリカードに保存されているデータが壊れるおそれがあります。
- セットできるメモリカードは 1 枚のみです。同時に 2 種類以上のメモリカードをセットすることはできません。異なる種類のメモリカード内の写真を印刷したい場合は、1 枚目の印刷終了後、挿入されているメモリカードを取り出し、2 枚目のメモリカードをセットして、印刷を実行してください。
- ご利用のメモリカードによっては、メモリカードを通して伝わる静電気により、本製品が誤動作することがあります。メモリカードをセットした後は、取り出すときまで、必ずカバーを閉じておいてください。カバーを閉じておくことで、メモリカードおよびメモリカードに記録されているデータを静電気から守ります。

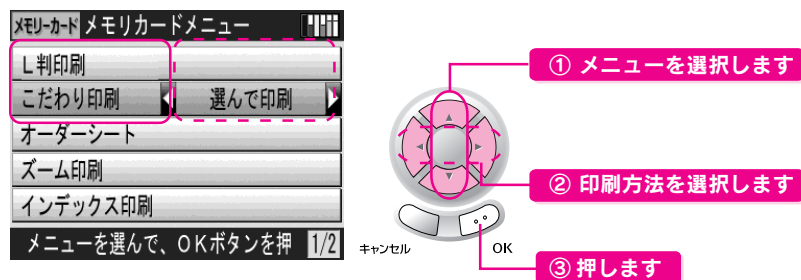
3 印刷用紙をセットします。

本書 7 ページ「印刷用紙のセット方法」
本書 90 ページ「使用できる用紙の種類と印刷時の注意」

4 操作パネルの［メモリカード］ボタンを押して、メモリカードモードにします。

①押して、
② メモリカードメニュー画面が表示されたことを確認します。

補足情報

- 電源をオンにした直後（初期動作中）は、ボタンを押しても反応しません。
- 液晶ディスプレイが暗くなっているとき（省エネモード中）やスクリーンセーバー起動中は、［電源］ボタン以外のボタンを押して画面表示を復帰させてから、もう一度［メモリカード］ボタンを押してください。

［L判印刷］または［こだわり印刷］を選択し、印刷方法を設定します。

①メニュー

※［オーダーシート］/［ズーム印刷］/［インデックス印刷］を選択する場合は、各参照ページをご覧ください。

L判印刷
複雑な設定をせずに、L判サイズのフチなし写真プリントができます（モノクロ印刷はできません）。
こだわり印刷
レイアウト設定や画質調整、日付を入れて印刷するなど、いろいろな設定をして印刷できます。
オーダーシート ☞ 本書 32 ページ「オーダーシートを使って写真プリント」
操作パネルで写真の選択や印刷設定をせずに、オーダーシート（写真プリント注文用紙）に手書きでマークを付けるだけで、簡単に写真プリントができます。
ズーム印刷 ☞ 本書 34 ページ「ズーム印刷」
写真の一部を拡大（ズームアップ）して印刷できます。
インデックス印刷 ☞ 本書 35 ページ「インデックス印刷」
メモリカード内のすべての写真の一覧を印刷できます（モノクロ印刷はできません）。
バックアップ ☞ 本書 57 ページ「メモリカードのデータを外部記憶装置へ保存」
メモリカード内の写真データを、外部記憶装置に保存（バックアップ）することができます。

②印刷方法

※［DPOF］/［P.I.F. 一覧印刷］を選択する場合は、各参照ページをご覧ください。

選んで印刷
印刷したい写真を選択し（複数枚選択可能）、個々に印刷枚数を設定して印刷します。
すべて印刷
メモリカード内のすべての写真を、一括して印刷します。
範囲印刷
メモリカード内の写真のうち、印刷したい写真の範囲（2～5コマ目など）を指定して印刷します。
DPOF ☞ 本書 36 ページ「デジタルカメラで指定した写真を印刷」
DPOF の設定で印刷します。
P.I.F. 一覧印刷（こだわり印刷のみ） ☞ 本書 37 ページ「写真とフレームを合成して印刷」
メモリカードに登録されているフレーム / レイアウトデータの一覧を印刷します（「L判印刷」では設定できません）。

印刷したい写真を選択し、印刷枚数を設定します。

☞ 本書 29 ページ「写真の選択方法と印刷枚数設定」

手順 5 で印刷方法を［DPOF］に設定した場合は、手順 9 へ進みます。
「L判印刷」の場合は、手順 9 へ進みます。

メモリカードから写真プリント

7

必要に応じて印刷設定をします。

手順 5 で［こだわり印刷］/［ズーム印刷］/［インデックス印刷］を選択した場合のみ、印刷設定できます。

本書 30 ページ「印刷設定」

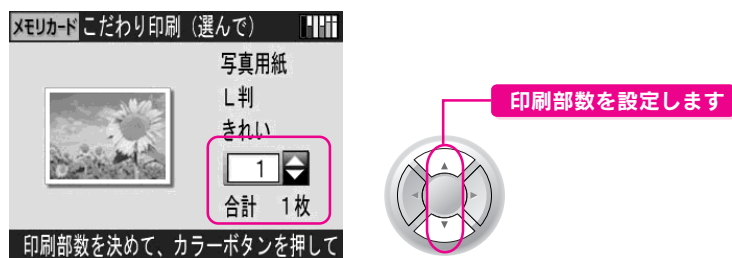
下図は印刷設定画面の一部です。▼ボタンを押していくと、下図以外の設定項目が表示されます。

［DPOF ］、［P.I.F. 一覧印刷］の場合は、手順 9 へ進みます。

8

印刷部数を設定します。

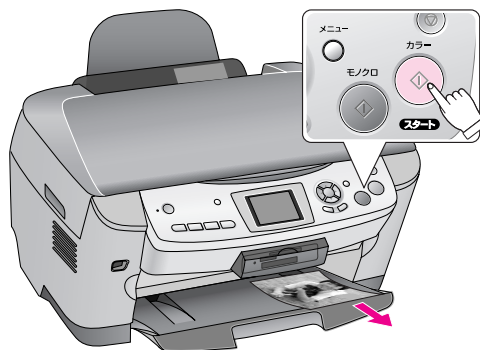
［すべて印刷］選択時も部数設定は可能です。
ここで表示された合計枚数分の用紙をセットしておいてください。

画面の写真は印刷レイアウトのイメージです（メモリカード内の写真は表示されません）。

補足情報

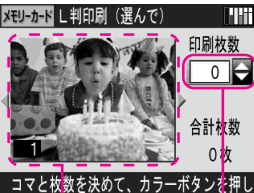
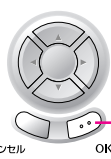
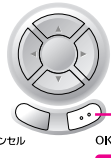
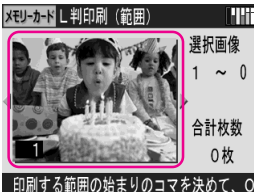
印刷できる合計枚数は最大 999 枚です。
手順 6 で設定した印刷枚数の合計と、手順 8 の印刷部数を掛け合わせた合計枚数が、999 枚を超えないようにしてください。

9

カラー か モノクロ ボタンを押して、印刷を実行します。

カラー ボタンを押すとカラーで印刷、モノクロ ボタンを押すとモノクロで印刷されます。

補足情報

［L 判印刷］/［インデックス印刷］を選択した場合、モノクロ印刷はできません。
カラー ボタンを押してカラー印刷してください。

以上で、メモリカード印刷の手順説明は終了です。

操作パネルの設定項目の詳細

メモリカードモードで表示される設定項目と設定値について説明しています。

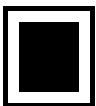
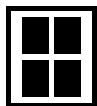
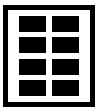
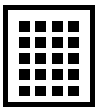
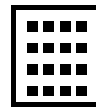
写真の選択方法と印刷枚数設定

L 判印刷 / こだわり印刷における写真の選択方法と印刷枚数の設定方法を説明します。

本書 27 ページ 手順 6

選んで印刷	印刷したい写真を選択し（複数枚選択可能）、個々に印刷枚数を設定して印刷します。
すべて印刷	メモリカード内のすべての写真を、一括して印刷します。
範囲印刷	メモリカード内の写真のうち、印刷したい写真の範囲（2～5 コマ目など）を指定して印刷します。 1 初めの写真（コマ）を選択します。 2 終わりの写真（コマ）を選択します。

補足情報

印刷できる合計枚数は最大 999 枚です。
以下のような場合は、最大 999 枚を超えてしまいますので、設定できません。
＜例 1 ＞ 100 枚の写真を 10 部印刷する設定をした場合
100 写真 × 10 部 ＝ 1000 枚
＜例 2 ＞ DPOF で、写真 5 枚を 20 枚ずつ印刷するよう設定し、本製品で部数を 10 部と設定した場合
5 写真 × 20 枚 × 10 部 ＝ 1000 枚

印刷設定

こだわり印刷 / ズーム印刷 / インデックス印刷における印刷設定について説明します。

本書 28 ページ 手順 7

設定値の組み合わせによっては、表示されない（設定できない）項目や設定値があります。

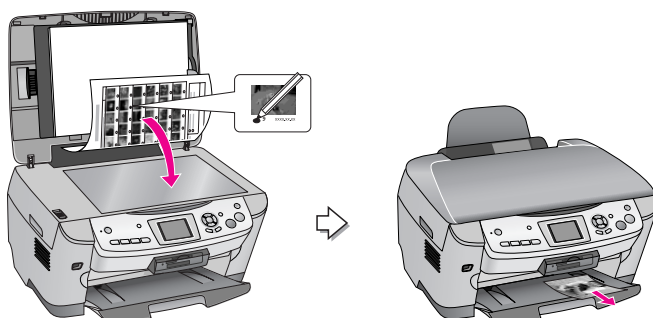
設定項目	設定値（下線は初期値）
【用紙タイプ】 セットした用紙の種類に設定を合わせると、きれいに印刷できます。	普通紙／写真用紙／光沢紙／フォトマット紙／ミニフォトシール／アイロンプリント紙 郵便 IJ ハガキ／郵便ハガキ／光沢名刺カード／
【用紙サイズ】 セットした用紙のサイズを設定します。	A4 ／ L 判／ 2L 判／ハガキ／六切
【レイアウト】 用紙にどのような配置（面付け）で印刷するか指定します。	1 面フチなし　1 面フチあり　1 面 - 上半分　2 面　4 面 8 面　20 面（写真のコマ番号や日付も印刷されます）　シール 16 面（［ミニフォトシール］選択時のみ）　名刺 8 面（［光沢名刺カード］選択時のみ）　P.I.F.xxx【P.I.F.】XXXXXXX（P.I.F.データの入ったメモリカードの場合のみ） • 1 枚の用紙には、設定したレイアウト（面付け）で、設定した印刷枚数分の写真が印刷されます。例えば、8 面付けで合計印刷枚数が 5 枚の場合、1 枚の用紙に 5 枚だけ印刷され、残りの 3 枚分のスペースが余ります。 • ［シール16面］で写真を 1 枚だけ印刷する場合は、1 枚の用紙に同じ写真が 16 枚（16 面付け）で印刷されます。 • ズーム印刷で 2 面以上のレイアウト（面付け）を選択した場合は、1 枚の用紙に同じ写真が面付け数分印刷されます。
【画質】 印刷品質を設定します。	速い／きれい／フォト
【フィルター】 画像に対して特殊効果を加えて印刷する場合に指定します。	なし　：フィルターを指定しない セピア：セピア色で印刷
【自動調整】 画像を最適な色合いに自動補正して印刷する場合に指定します。	P.I.M.　：PRINT Image Matching（プリントイメージマッチング）機能搭載のデジタルカメラで撮影した際に､写真データに付加されるプリント指示情報に基づいて最適な補正をして印刷します。 オートフォトファイン：画像に合わせて最適な補正をして印刷します。 Exif　：ExifPrint（イグジフプリント）機能搭載のデジタルカメラで撮影した際に、写真データに付加されるプリント指示情報に基づいて最適な補正をして印刷します。 なし　：画像を補正せずに印刷します。
【携帯写真印刷】 解像度の低い画像に最適な補正を加えて印刷する場合に指定します。	する　：ノイズ除去しながら解像度補間を行う しない　：解像度補間のみ行う
【明るさ調整】 印刷結果の明るさを 5 段階で調整します。	より暗く／暗く／なし／明るく／より明るく
【コントラスト】 印刷結果のコントラストを 3 段階で調整します。	なし／強く／より強く

設定項目	設定値（下線は初期値）
【シャープネス】 印刷結果のシャープさを５段階で調整します。	ソフトフォーカス強／ソフトフォーカス弱／なし／シャープネス弱／シャープネス強
【鮮やか調整】 印刷結果の鮮やかさを５段階で調整します。	よりくすんだ／くすんだ／なし／鮮やか／より鮮やか
【日付印刷】※ 撮影した日付を入れて印刷します。	2004 年 4 月 14 日の場合 しない　：日付を入れない yyyy.mm.dd　：年（西暦）. 月 . 日の順で印刷する　例）2004.04.14 mmm.dd.yyyy　：英語表記で月 . 日 . 年の順で印刷する　例）Apr.14.2004 dd.mmm.yyyy　：英語表記で日 . 月 . 年の順で印刷する　例）14. Apr.2004
【時刻印刷】※ 撮影した時刻を入れて印刷します。	午後 8 時 35 分の場合 しない　：時刻を入れない 12 時間　：12 時間表記で時間と分を印刷する　例）8:35 24 時間　：24 時間表記で時間と分を印刷する　例）20:35
【撮影情報印刷】 撮影したデジタルカメラの情報を入れて印刷します。	しない　：撮影情報を入れない する　：撮影情報を入れて印刷する
【トリミング】 印刷枠に対して元画像をトリミングして印刷します。	する　：印刷領域の一辺と画像の一辺のサイズを合わせて印刷します。横長の画像の場合は、縦の印刷領域に合わせて印刷します。印刷領域に収まらない上下(または左右)の画像が切り取られます。 元画像　用紙サイズ（印刷領域） しない　：画像データを切り取ることなく用紙サイズの印刷領域に収まるように印刷します。 元画像　用紙サイズ（印刷領域）
【双方向印刷】 プリントヘッドが左右どちらに移動するときも（双方向に）印刷します。	する　：双方向印刷により印刷速度が速くなります。ただし、印刷品質は多少低下します。 しない　：片方向でのみ印刷するため、印刷ギャップがなく、高品質になります。ただし、印刷速度が多少低下します。
【シール上下調整】 【シール左右調整】 ミニフォトシール用紙に印刷する場合の印刷位置を微調整します。	シール上下調整　：上方向に＋2.5mm まで、下方向にー2.5mmまで、0.5mm 単位で調整できます。 シール左右調整　：右方向に＋2.5mm まで、左方向にー2.5mmまで、0.5mm 単位で調整できます。 上へ移動　下へ移動　左へ移動　右へ移動

※スキャンしたデータをメモリカードに保存する機能（スキャンモードの［スキャンしてメモリカードに保存］、またはフィルムモードの［メモリカードに保存］）を使用してメモリカードに保存されたデータの場合、日付印刷 / 時刻印刷の設定は無効となり印刷されません。

いろいろな印刷の手順

オーダーシートを使って写真プリント

操作パネルで写真の選択や印刷設定をせずに、オーダーシート（写真プリント注文用紙）に手書きでマークを付けるだけで、簡単に写真プリントができます。

①オーダーシートの印刷

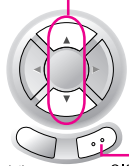
1 メモリカードをセットします。

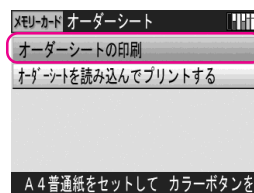
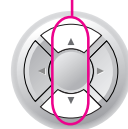
☞本書 10 ページ「①メモリカードをセットします」

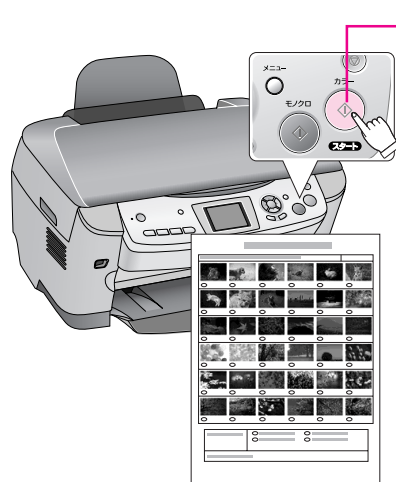
2 オーダーシート印刷用に A4 サイズの普通紙をセットします。

☞本書 7 ページ「印刷用紙のセット方法」

3 [メモリカード] ボタンを押して、メモリカードモードにします。

☞本書 11 ページ 手順 2

4 ［オーダーシート］を選択します。

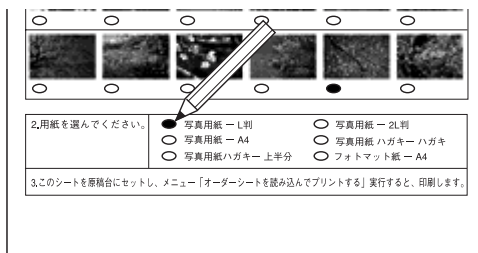
5 ［オーダーシートの印刷］を選択します。

6 [カラー] ボタンを押して、印刷を実行します。

下図のようなオーダーシートが印刷されます。

補足情報

1 枚の用紙には、最大 36 枚の写真一覧が撮影日付の古い順に並べられて印刷されます。36 枚以上の写真がある場合は、最終ページから順に印刷されます。

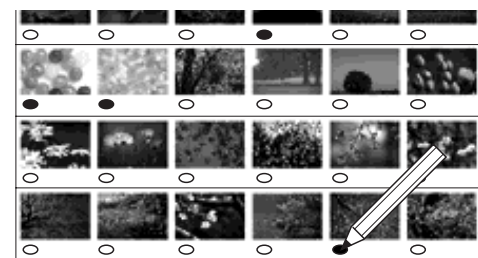
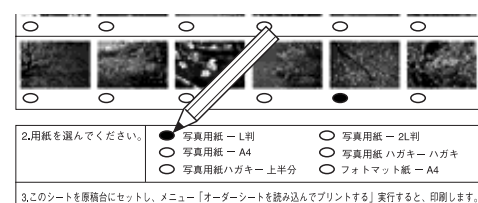
②オーダーシートに記入

補足情報

オーダーシートへのマーク方法

HBなどの濃い鉛筆か黒ペンでしっかりとマークしてください。

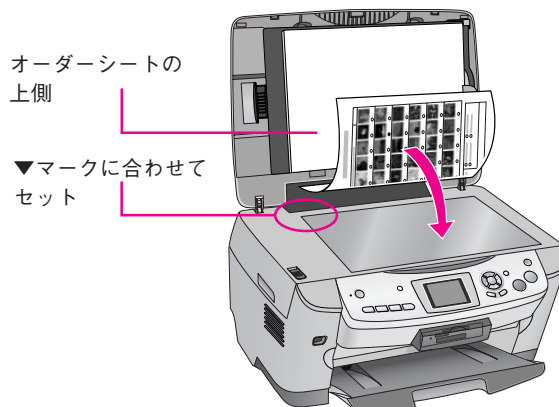
正しい記入例　：

悪い記入例　：

7 印刷したい写真にマークを付けます。

8 印刷用紙を選択してマークを付けます。

補足情報

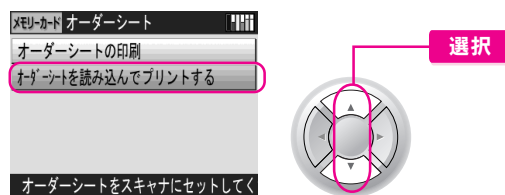
- 選択した写真の印刷枚数は設定できません（選択した写真が１枚ずつ印刷されます）。
- 写真の日付けは印刷されません。

③オーダーシートをスキャンして写真プリント

9 マークを付けたオーダーシートを図の向きでセットし、原稿カバーを閉じます。

10 印刷用紙をセットします。

オーダーシートで選択した（手順 8）印刷用紙をセットします。

本書７ページ「印刷用紙のセット方法」

11 ［オーダーシートを読み込んでプリントする］を選択します。

12 カラー ボタンを押して、印刷を実行します。

オーダーシートにマークした写真が印刷されます。

以上で、オーダーシートを使用した写真プリントの手順説明は終了です。

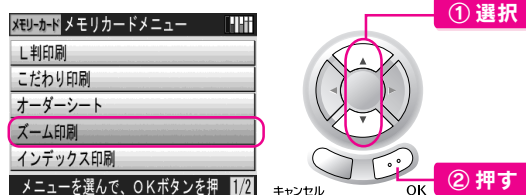
ズーム印刷

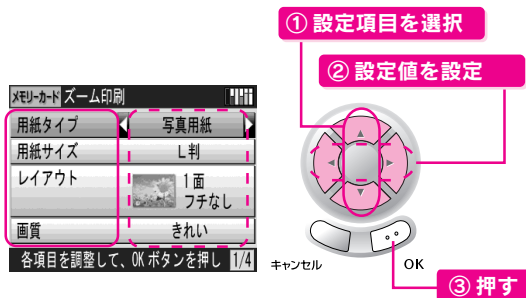
写真の一部分を拡大（ズームアップ）して印刷することができます。

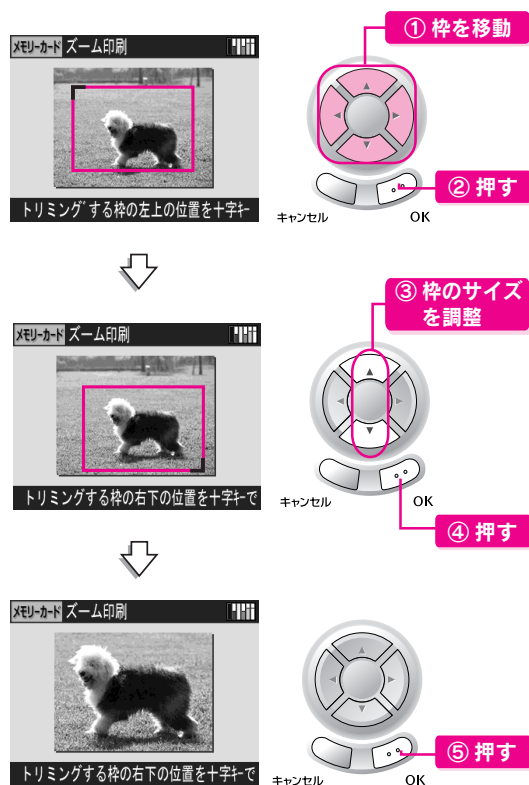
1 メモリカードをセットします。
☞本書 10 ページ「①メモリカードをセットします」

2 印刷用紙をセットします。
☞本書 7 ページ「印刷用紙のセット方法」

3 メモリカードボタンを押して、メモリカードモードにします。
☞本書 11 ページ 手順 2

4 [ズーム印刷]を選択します。

5 写真を選択します。
1 枚だけ選択できます。

6 必要に応じて印刷設定をします。
☞本書 30 ページ「印刷設定」

補足情報
2 面以上のレイアウトを選択した場合は、1 枚の写真が面付け数分印刷されます。

7 ズーム印刷する範囲を設定します。
画面上に表示される枠の部分（範囲）がズーム印刷されれます。▲ ▼ ◀ ▶ボタンで枠を移動して、ズーム範囲を設定します。

補足情報
キャンセルボタンを押すと、ズーム範囲の位置やサイズを再調整することができます。

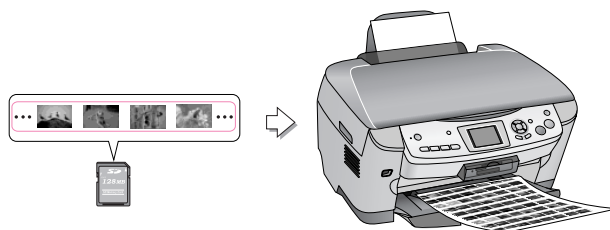
8 印刷枚数を設定します。

9 カラーまたはモノクロボタンを押して、印刷を実行します。
一部分を拡大した写真が印刷されます。

以上で、ズーム印刷の手順説明は終了です。

インデックス印刷

メモリカード内のすべての写真の一覧を印刷できます（モノクロ印刷はできません）。
写真一覧（インデックス）には、写真のコマ番号と日付けが必ず印刷されます。

1 メモリカードをセットします。

本書 10 ページ「①メモリカードをセットします」

2 印刷用紙をセットします。

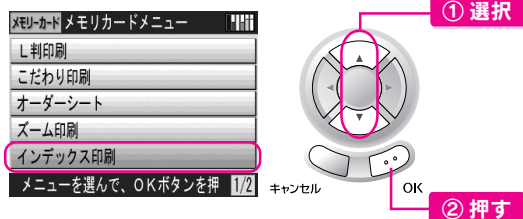
本書 7 ページ「印刷用紙のセット方法」

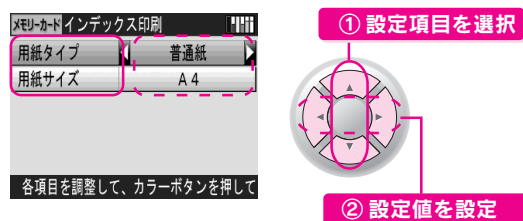
補足情報

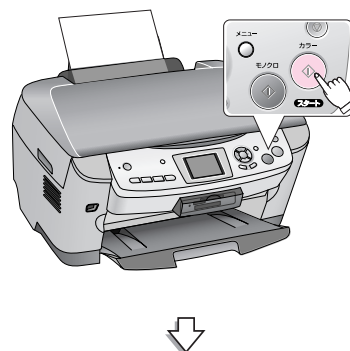
セット枚数は、メモリカード内の写真の数によって異なります。
例：メモリカード内の写真の数 100 枚で、A4 サイズ（80面）の場合、2枚の用紙が必要です。

3 メモリカード ボタンを押して、メモリカードモードにします。

本書 11 ページ 手順 2

4 ［インデックス印刷］を選択します。

5 必要に応じて印刷設定をします。

本書 30 ページ「印刷設定」

6 カラー ボタンを押して、印刷を実行します。

写真の一覧が印刷されます。

補足情報

- モノクロ印刷はできません。
- 印刷される写真の数は、メモリカード内の写真の数によって異なります。
- 1 枚の用紙に印刷できる写真の数（面付け数）は、用紙サイズにより固定されます。
  最大面付け数
  - A4/ 六切：80 面
  - 2L 判：30 面
  - ハガキ /L 判：20 面
- 各写真の下に、コマ番号と日付けが必ず印刷されます。

以上で、インデックス印刷の手順説明は終了です。

メモリカードから写真プリント

デジタルカメラで指定した写真を印刷（DPOF 印刷）

デジタルカメラ側で「印刷する写真」や「枚数」を設定することができます。
指定した写真を印刷する場合は、以下の手順に従ってください。

補足情報

- 本製品が対応している DPOF（ディーポフ）のバージョンは、Ver 1.10 です。
- お使いのデジタルカメラによっては、印刷写真指定機能（DPOF）の呼び方が異なる場合があります。詳しくは、お使いのデジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。
- DPOF では、印刷タイプ（通常印刷 / インデックス印刷）と印刷する写真の指定ができます。通常印刷の場合には、印刷枚数も指定できます。これ以外の項目については、本製品の設定で印刷されます。
- 用紙設定で［フォトカード］を選択した場合、インデックス指定での印刷はできません。
- デジタルカメラでインデックス印刷を指定した場合は、コマ番号なしのインデックス印刷のレイアウトで印刷されます。なお、カラー印刷のみの対応となります。
- デジタルカメラでインデックス印刷と通常の印刷両方を指定した場合は、指定されている順番に従って両方を順番に処理します。

1 DPOF情報の入ったメモリカードをセットします。

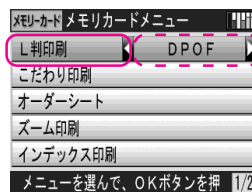
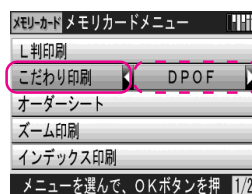
本書 10 ページ「①メモリカードをセットします」

2 印刷用紙をセットします。

本書 7 ページ「印刷用紙のセット方法」

3 メモリカード ボタンを押して、メモリカードモードにします。

本書 11 ページ 手順 2

4 ［L判印刷］または［こだわり印刷］を選択し、［DPOF］を選択します。

［L 判印刷］は、手順 6 へ進みます。

5 必要に応じて印刷設定をします（［こだわり印刷］のみ）。

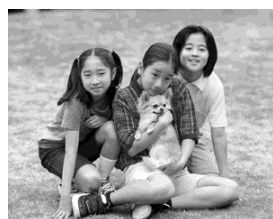
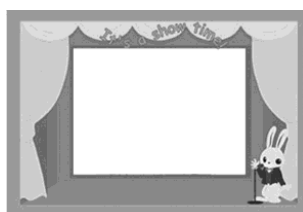
本書 30 ページ「印刷設定」

6 カラー または モノクロ ボタンを押して、印刷を実行します。

L 判印刷の場合は、カラー ボタンを押してください。
DPOF 情報と印刷設定に従って印刷されます。

以上で、ファイル指定機能（DPOF）を使った印刷の手順説明は終了です。

写真とフレームを合成して印刷（P.I.F.）

エプソンのPRINT Image Framer（プリントイメージフレーマー）は、写真データにフレーム※（飾り枠）や年賀状/カレンダーなどのレイアウト※（書式）を重ね合わせて、楽しい写真が印刷できます。
※：写真データに重ね合わせるフレームやレイアウトのデータを「P.I.F. フレーム」といいます。
付属の『ソフトウェア CD-ROM』やエプソンのホームページには、たくさんのP.I.F. フレームが用意されています。また、付属のアプリケーションソフトを使えば、オリジナルのP.I.F. フレームを作成することもできます。
ぜひ、PRINT Image Framer を活用して、写真プリントをお楽しみください。
ここでは、P.I.F. フレームをパソコンからメモリカードに登録する手順の概要と、登録済みのメモリカードを本製品にセットしてP.I.F. 印刷する手順を説明します。

撮影した写真を使って

P.I.F.フレームを重ね合わせると、

楽しい写真の出来上がり！

① P.I.F. フレームを準備して、メモリカードに登録

補足情報
以下の作業をするには、本製品とパソコンを接続して、ソフトウェアをインストールしておく必要があります。インストール方法は『PM-A870 準備ガイド』（シート）をご覧ください。

すでに用意されているP.I.F. フレームを使う

付属の『ソフトウェア CD-ROM』またはエプソンのホームページからP.I.F. フレームデータを入手します。
上記一連の作業は、「EPSON PRINT Image Framer Tool」※（エプソンプリントイメージフレーマーツール）というソフトウェアを使って行います。
詳しくは、『PM-A870 電子マニュアル』をご覧ください。

オリジナルのP.I.F. フレームを作る

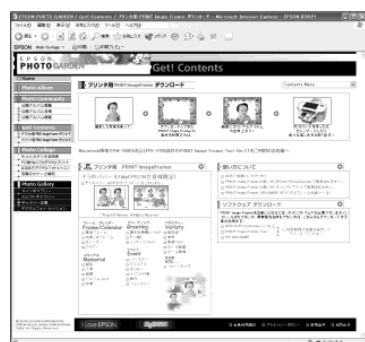
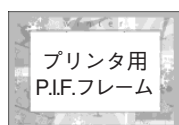
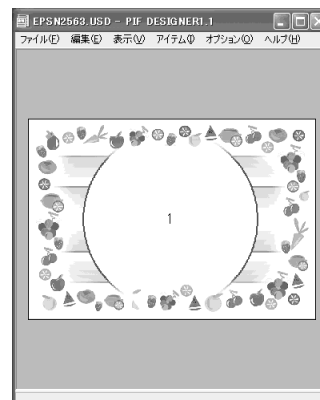
「PIF DESIGNER」※（ピフデザイナー）というソフトウェアを使って、P.I.F. フレームを作成します。
詳しくは、『PM-A870 電子マニュアル』をご覧ください。

※「EPSON PRINT Image Framer Tool」と「PIF DESIGNER」は、付属の『ソフトウェア CD-ROM』に収録されています。

ダウンロード

メモリカードへ登録

メモリカードへ登録

メモリカードから写真プリント

②メモリカードに登録したP.I.F. フレームを確認（P.I.F. 一覧印刷）

P.I.F. 一覧には、確認用のサンプル画像とレイアウトを指定するためのファイル名が印刷されます。本製品の操作パネル上でレイアウトを指定するために必要ですので必ず印刷してください。

1 P.I.F. フレームが登録されたメモリカードをセットします。

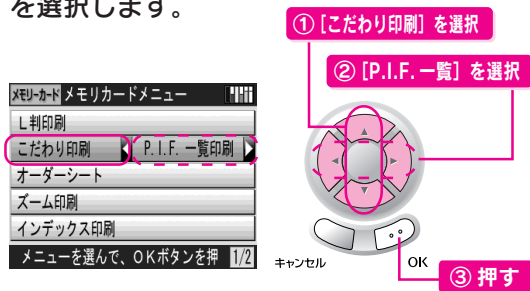
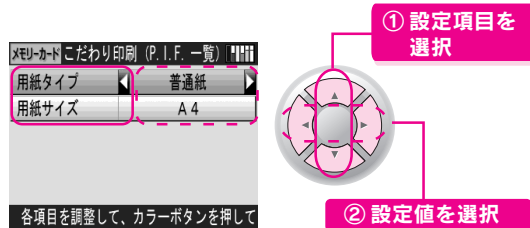
本書 10 ページ「①メモリカードをセットします」

2 P.I.F. 一覧を印刷するための印刷用紙をセットします。

本書 7 ページ「印刷用紙のセット方法」

3 [メモリカード] ボタンを押して、メモリカードモードにします。

本書 11 ページ 手順 2

4 ［こだわり印刷］を選択し、［P.I.F. 一覧印刷］を選択します。

5 必要に応じて印刷設定をします。

補足情報

1枚の用紙に割り付けられるP.I.F.フレームの数は、用紙サイズにより固定されます。
A4/ 六切：80 面　2L 判：30 面
ハガキ /L 判：20 面

5 [カラー] ボタンを押して、印刷を実行します。

P.I.F. 一覧が印刷されます。

③ P.I.F. 印刷の実行

1 P.I.F. フレームと印刷したい写真が入ったメモリカードをセットします。

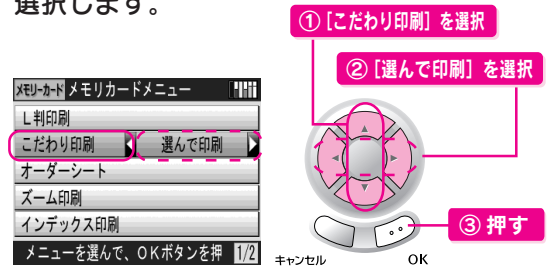
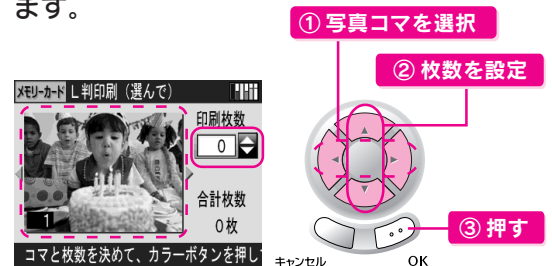
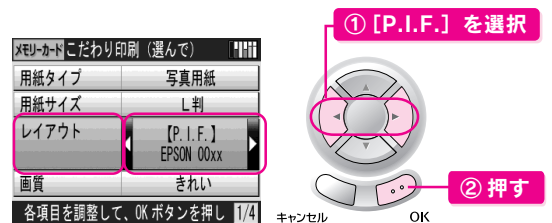
本書 10 ページ「①メモリカードをセットします」

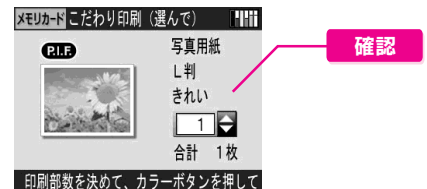
2 印刷用紙をセットします。

本書 7 ページ「印刷用紙のセット方法」

3 [メモリカード] ボタンを押して、メモリカードモードにします。

本書 11 ページ 手順 2

4 ［こだわり印刷］を選択し、［選んで印刷］を選択します。

5 印刷したい写真を選択し、印刷枚数を設定します。

6 P.I.F. 一覧のファイル名を確認して、印刷設定のレイアウトで［P.I.F.］を選択します。

［P.I.F.］を選択すると、用紙サイズはP.I.F.のサイズにより固定されます。
必要に応じてその他の項目も設定します。

7 P.I.F. レイアウトと部数を確認します。

8 [カラー] または [モノクロ] ボタンを押して、印刷を実行します。

P.I.F フレームの付いた写真が印刷されます。

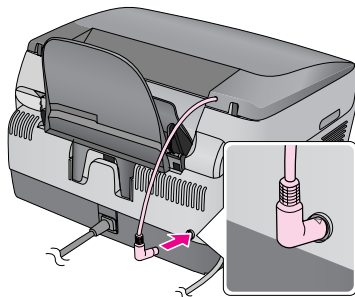
補足情報

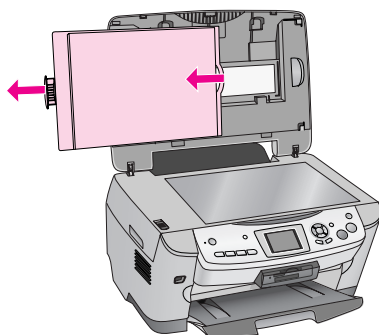
P.I.F. は1回の印刷で1種類しか使用できません。写真ごとにP.I.F. が指定されているメモリカードから印刷する場合は、［こだわり印刷］の［選んで印刷］から写真を1枚だけ選んで印刷してください。写真ごとに指定されているP.I.F. を印刷する場合は、この操作を繰り返してください。

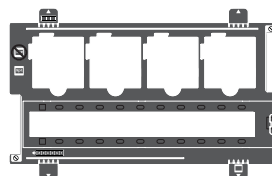
以上で、P.I.F. 印刷の手順説明は終了です。

フィルムスキャンの事前準備

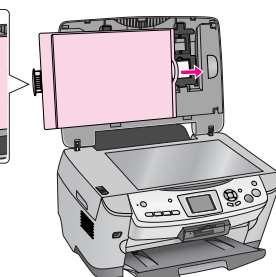
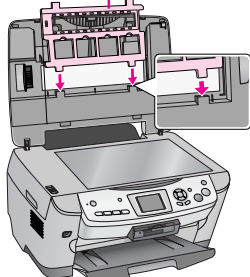
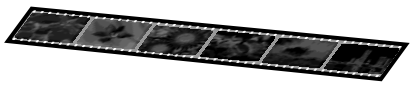
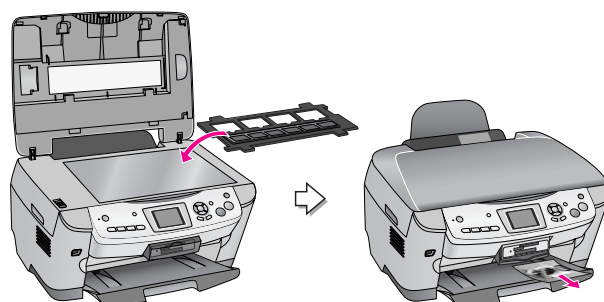
1 **フィルムスキャンケーブルが接続されていることを確認します。**

- フィルムスキャンケーブルを接続するときは、電源をオフにしてください。
- フィルムスキャンケーブルは、本製品以外には接続しないでください。

2 **保護マットを取り外します。**

保護マットを取り外すことにより、フィルムなどの透過原稿のスキャンが可能になります。

3 **付属のフィルムホルダを用意します。**

フィルムホルダを使用しないときは、原稿カバー内に収納しておくことができます。
☞ 下記「フィルムホルダを使用しないときは」

こんなときは

フィルムホルダを使用しないときは

フィルムホルダはフィルムスキャンするとき以外は使用しません。使用しないときは、原稿カバー内に収納しておくことができます。

保護マットを原稿カバーの溝にはめ込み、左側の持ち手の部分を「カチッ」とロックします。

フィルム印刷の手順

使用できるフィルムの種類

本製品で使用できるフィルムは以下の通りです。

35mm ストリップフィルム（ネガ / ポジ）	35mm マウント（スライド）フィルム
一般の 35mm フィルムを 6 コマ単位で切ったフィルム （スリーブフィルム）	スライド用に、カラーポジフィルムを 1 枚ずつ切って、プラスチックなどの枠に挟んだフィルム。厚さ 2mm 以内のものが使用できます。
＜フィルムタイプ＞ ■カラーネガフィルム カラー画像の濃淡が反転して記憶されているフィルム ■モノクロネガフィルム モノクロ画像の濃淡が反転して記憶されているフィルム ■カラーポジフィルム カラー画像がそのまま再現されているフィルム （カラースライド用のフィルム）	＜フィルムタイプ＞ ■ カラーポジフィルム カラー画像がそのまま再現されているフィルム （カラースライド用のフィルム）

注意

- フィルムを取り扱う時は、指紋や手の油が付かないように、フィルムの端を指で挟んで持つか、または手袋をはめてください。
- 極端に暗い（または明るい）画像や、露出がアンダー（またはオーバー）気味に撮影された画像など、フィルムの濃淡によっては、思った通りに画像を取り込めないことがあります。その場合は、本製品をパソコンと接続して、パソコンからスキャナドライバを使って画像を取り込んでください。スキャナドライバでは、ホームモードまたはプロフェッショナルモードで［通常表示］を選んでください。詳しくは『PM-A870 電子マニュアル』の「スキャナ編」をご覧ください。
- ストリップフィルムには、6 コマのピッチ（コマとコマの間隔）が異なるものがあります。その場合は、1 コマずつ正常にスキャンできない場合があります。

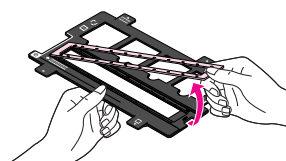
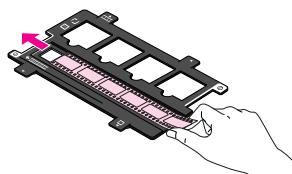
フィルムのセット方法

「35mm ストリップフィルム」と「35mm マウント（スライド）フィルム」は、それぞれセット方法が異なります。

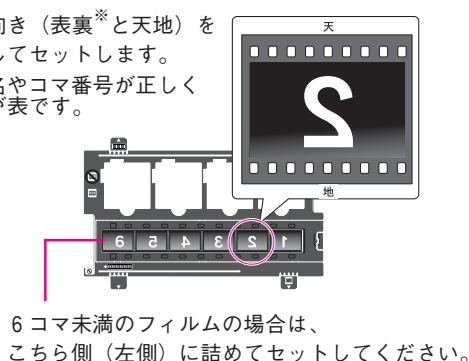
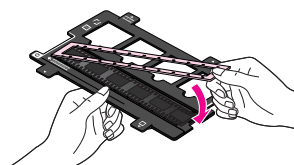
- 「35mm ストリップフィルム」と「35mm マウント（スライド）フィルム」を同時にセットしないでください。
- フィルムは正しい向きにセットしてください。画像を取り込んだ後に反転することはできません。

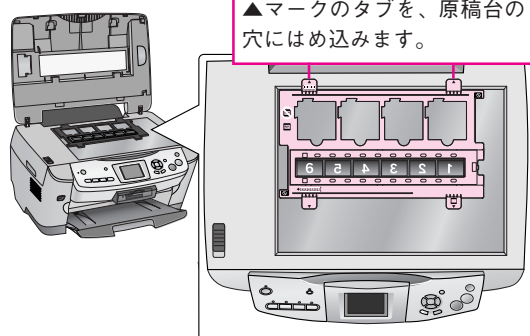
35mmストリップフィルム(ネガ/ポジ)の場合

1 ストリップフィルムをフィルムホルダにセットします。

① カバーを外します。

② フィルムをセットします。

フィルムの向き（表裏※と天地）を図のようにしてセットします。

※ フィルム名やコマ番号が正しく読める面が表です。

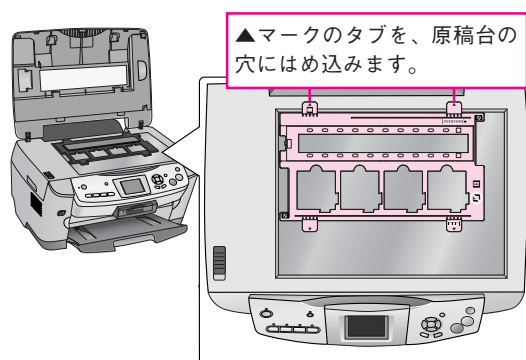
6 コマ未満のフィルムの場合は、こちら側（左側）に詰めてセットしてください。

③ カバーを閉じます。

2 フィルムホルダを原稿台にセットします。

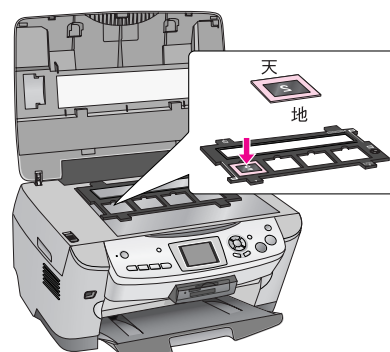
▲マークのタブを、原稿台の穴にはめ込みます。

セットしたフィルム側が手前になるようにセットします。

35mm マウント(スライド)フィルムの場合

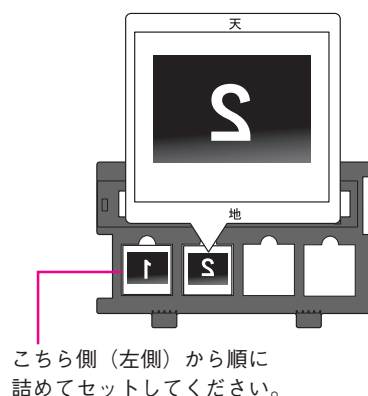
1 フィルムホルダを原稿台にセットします。

マウントフィルム側（4 つの枠に仕切られている側）を手前にします。

▲マークのタブを、原稿台の穴にはめ込みます。

35mmマウントフィルム側が手前になるようにセットします。

2 マウントフィルムを1枚ずつ、フィルムホルダにセットします。

フィルムの向き（表裏と天地）を下図のようにしてセットします。

こちら側（左側）から順に詰めてセットしてください。

フィルムから写真プリント

印刷手順＜L判印刷＞

複雑な設定をせずに、L判サイズのフチなし写真プリントができます。

1 電源をオンにします。

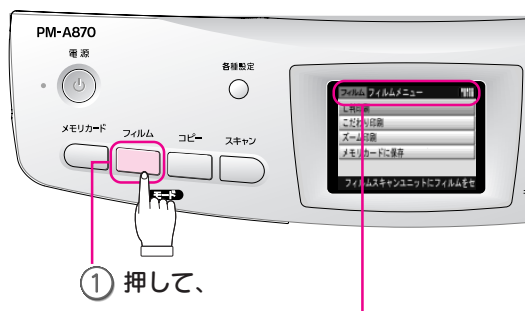
本書8ページ「コピーしてみよう」手順 1

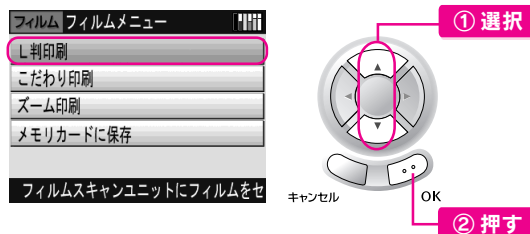
2 L判サイズの写真用紙をセットします。

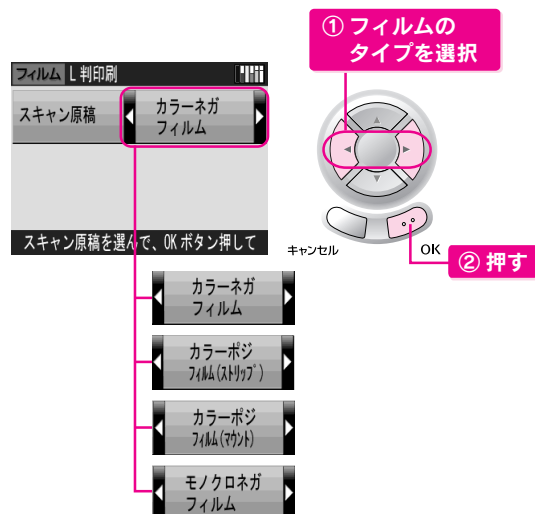
本書7ページ「印刷用紙のセット方法」

3 原稿台にフィルムをセットし、原稿カバーを閉じます。

本書41ページ「フィルムのセット方法」

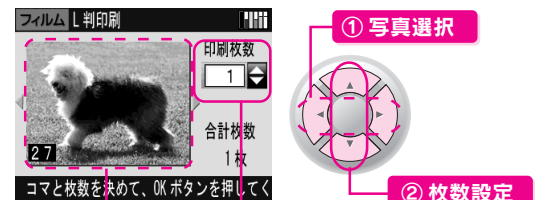
4 フィルムボタンを押して、フィルムモードにします。

② フィルムメニュー表示を確認

5 ［L判印刷］を選択します。

6 セットしたフィルムのタイプを選択し、OKボタンを押してフィルムをスキャンします。

画像がプレビューされるまで、しばらくお待ちください。

35mm ストリップフィルム
カラーネガフィルム（一般的なフィルムです） カラー画像の濃淡が反転して記録されるフィルム
カラーポジフィルム（ストリップ） カラー画像がそのまま再現されているフィルム
モノクロネガフィルム モノクロ画像の濃淡が反転して記録されているフィルム

35mm マウントフィルム（スライドフィルム）
カラーポジフィルム（マウント） スライド用にポジフィルムを1枚ずつ切ってプラスチックの枠に挟んだフィルム

7 印刷したい写真を選択し、印刷枚数を設定します。

複数の写真（コマ）を印刷したい場合は、①と②の手順を繰り返します。

印刷したい写真を表示　印刷枚数を設定

8 カラーかモノクロボタンを押して、印刷を実行します。

カラーボタンを押すとカラーで印刷、モノクロボタンを押すとモノクロで印刷されます。

印刷中は、原稿カバーを開けないでください。印刷前や終了後は、蛍光ランプが光っていても、原稿カバーを開けられます。

以上で、L判印刷の手順説明は終了です。

印刷手順＜こだわり印刷＞

用紙種類や余白（フチあり / フチなし）の設定、退色復元などの詳細設定をして印刷します。

1 **電源をオンにします。**

本書 8 ページ「コピーしてみよう」手順 1

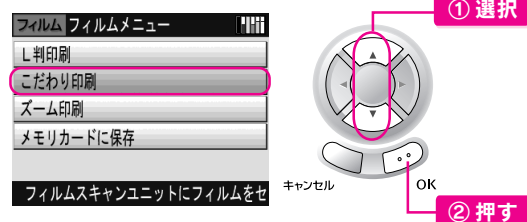
2 **印刷用紙をセットします。**

本書 7 ページ「印刷用紙のセット方法」

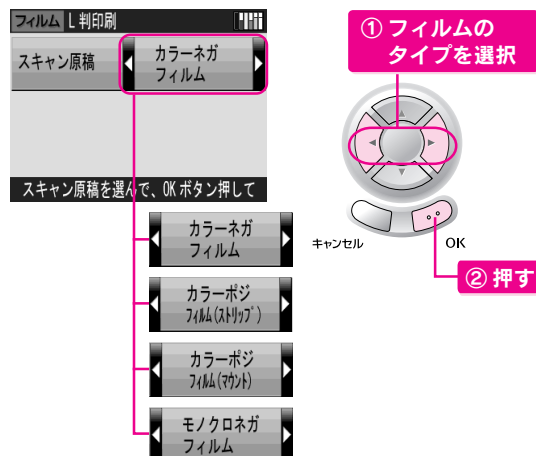
3 **原稿台にフィルムをセットし、原稿カバーを閉じます。**

本書 41 ページ「フィルムのセット方法」

4 **[フィルム] ボタンを押して、フィルムモードにします。**

5 **［こだわり印刷］を選択します。**

6 **セットしたフィルムのタイプを選択し、[OK] ボタンを押してフィルムをスキャンします。**

画像がプレビューされるまで、しばらくお待ちください。

7 **印刷したい写真を選択し、印刷枚数を設定します。**

複数の写真（コマ）を印刷したい場合は、①と②の手順を繰り返します。

印刷したい写真を表示　　印刷枚数を設定

8 **必要に応じて印刷設定をします。**

設定項目	設定値（下線は初期値）
【用紙タイプ】 セットした用紙の種類に合わせるときれいに印刷できます。用紙ごとの設定値については、以下のページをご覧ください。 本書 92 ページ「機能別　使用できる用紙 / 使用できない用紙」	普通紙 / 写真用紙 / 光沢紙 / フォトマット紙 / 郵便IJハガキ / 郵便ハガキ
【用紙サイズ】 印刷用紙のサイズを設定します。用紙ごとの設定値については、以下のページをご覧ください。 本書 92 ページ「機能別　使用できる用紙 / 使用できない用紙」	A4 / L 判 / 2L 判 / ハガキ / 六切
【画質】 印刷の画質を設定します。 きれいを選択すると、印刷速度が遅くなります。	速い / きれい
【退色復元】 色あせた昔の写真や、日に当たって変色した写真を、元の色に戻します。フィルムのタイプがモノクロネガフィルムの場合は、[ON] を設定しても有効になりません。	ON/OFF
【レイアウト】 印刷のレイアウトを設定します。	フチなし / フチあり

9 **[カラー] か [モノクロ] ボタンを押して、印刷を実行します。**

[カラー] ボタンを押すとカラーで印刷、[モノクロ] ボタンを押すとモノクロで印刷されます。

注意 印刷中は、原稿カバーを開けないでください。印刷前や終了後は、蛍光ランプが光っていても、原稿カバーを開けられます。

以上で、こだわり印刷の手順説明は終了です。

印刷手順＜ズーム印刷＞

写真の一部分を拡大（ズームアップ）して印刷することができます。

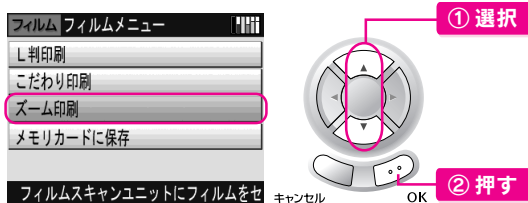
1 印刷用紙をセットします。

本書 7 ページ「印刷用紙のセット方法」

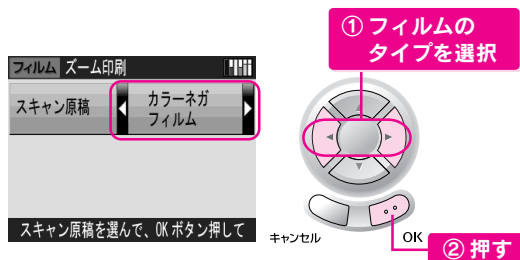
2 原稿台にフィルムをセットし、原稿カバーを閉じます。

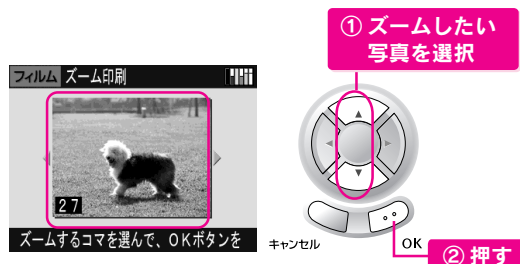
本書 41 ページ「フィルムのセット方法」

3 フィルム ボタンを押して、フィルムモードにします。

4 ［ズーム印刷］を選択します。

5 セットしたフィルムのタイプを選択し、OK ボタンを押してフィルムをスキャンします。

画像がプレビューされるまで、しばらくお待ちください。
フィルムのタイプについては、以下のページをご覧ください。

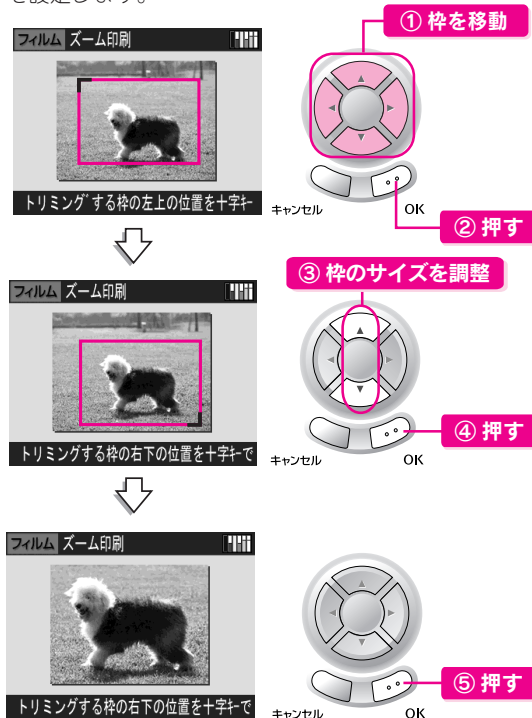
本書 42 ページ 手順 6

6 写真を選択します。

1 枚だけ選択できます。

7 必要に応じて印刷設定をします。

必要に応じて印刷設定をし、OK ボタンを押します。

本書 43 ページ 手順 8

8 ズーム印刷する範囲を設定します。

画面上に表示される枠の部分（範囲）がズーム印刷されます。▲ ▼ ◀ ▶ ボタンで枠を移動して、ズーム範囲を設定します。

補足情報
キャンセル ボタンを押すと、もう一度位置の調整ができます。

9 印刷枚数を設定します。

10 カラー か モノクロ ボタンを押して、印刷を実行します。

一部分を拡大した写真が印刷されます。

以上で、ズーム印刷の手順説明は終了です。

本製品をパソコンと接続すると、高性能プリンタ、スキャナとして、より活用の幅が広がります。

プリンタとして使う - 印刷する -

スキャナとして使う - スキャンする -

注意

パソコンと接続して使用するときは、プリンタドライバやスキャナドライバ（EPSON Scan）を、パソコンにインストールしておく必要があります。そのほかにも、活用の幅を広げる専用アプリケーションソフトがたくさん用意されています（『ソフトウェアCD-ROM』に収録されています）ので、すべてインストールすることをお勧めします。
インストール方法については、『準備ガイド～はじめにお読みください』の裏面をご覧ください。
使い方については、『PM-A870電子マニュアル』や各アプリケーションソフトのヘルプをご覧ください。

電子マニュアルの見方

電子マニュアルとは

電子マニュアルとはパソコンの画面でご覧いただくマニュアルです。ソフトウェアと同時にインストールされた『PM-A870電子マニュアル』では、パソコンとつないでプリンタ/スキャナとして使用する場合の操作方法を記載しています。

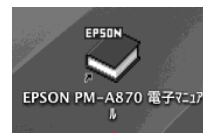
補足情報

『電子マニュアル』はインターネットをご覧いただくソフトウェア Internet Explorer（Version 5.0 以上）などのブラウザでご覧いただくことができます。

表示方法

デスクトップ上の［EPSON PM-A870 電子マニュアル］のアイコンをダブルクリックして表示します。

Windows の場合

Macintosh の場合

デスクトップ上に［EPSON PM-A870 電子マニュアル］のアイコンがない場合は、以下の手順で表示します。

【Windows の場合】
①［スタート］ー②［すべてのプログラム］（または［プログラム］）ー③［EPSON］ー④［EPSON PM-A870 電子マニュアル］の順にクリックします。

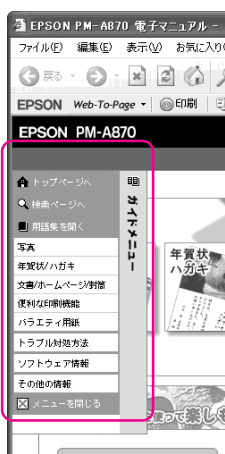
【Mac OS X の場合】
①ハードディスク内の②［アプリケーション］ー③［EPSON_PM-A870_Manual］の順にダブルクリックし、［EPSON PM-A870 電子マニュアル］をダブルクリックします。

【Mac OS 9.x の場合】
ハードディスク内の［EPSON_PM-A870_Manual］フォルダをダブルクリックして開き、［EPSON PM-A870電子マニュアル］アイコンをダブルクリックして表示します。

使い方

電子マニュアルの便利な機能と上手な見方

［戻る］ボタン
１つ前に表示されていた画面に戻ります。

［ガイドメニュー］
クリックすると、各章の入り口（リンク）が表示されます。

こんなときは
ウィンドウ（画面）を移動させたい場合
マウスカーソルをタイトルバーに合わせ、移動させたい位置にドラッグ※してウィンドウを動かすことができます。

［検索］機能（Mac OS 9を除く）
検索したいキーワードまたは文章を入力して、実行ボタンをクリックしてください。

［プリンタ編］/［スキャナ編］切り替えタブ
本ガイドの内容は、プリンタ編とスキャナ編で大きく２つに分かれています。見たい方のタブをクリックしてください。

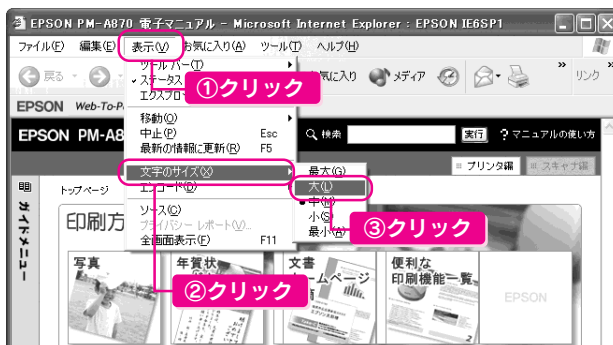
※ドラッグ：
マウスのボタン（２つある場合は左ボタン）を押しながら、マウスを動かす動作。

こんなときは
ウィンドウ（画面）のサイズを変更したい場合
ウィンドウの隅（Macintoshは右下の隅）にマウスカーソルを合わせ、ドラッグ※してウィンドウサイズを調整できます。

文字サイズを大きくできます

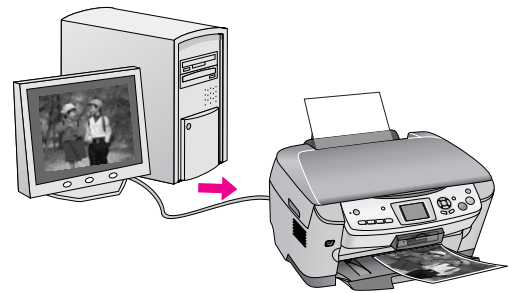
文字が小さくて読みづらい場合は、以下の方法で変更することができます。

変更手順

［表示］メニューをクリックして、［文字のサイズ］をクリックし、ご希望の文字サイズをクリックします。

補足情報

ここでは、Microsoft Internet Explorer（Windows版）の場合を例に説明しています。
変更方法はお使いのOSやブラウザ、バージョンによって異なりますので、詳細は各ブラウザのヘルプなどをご覧ください。

印刷する

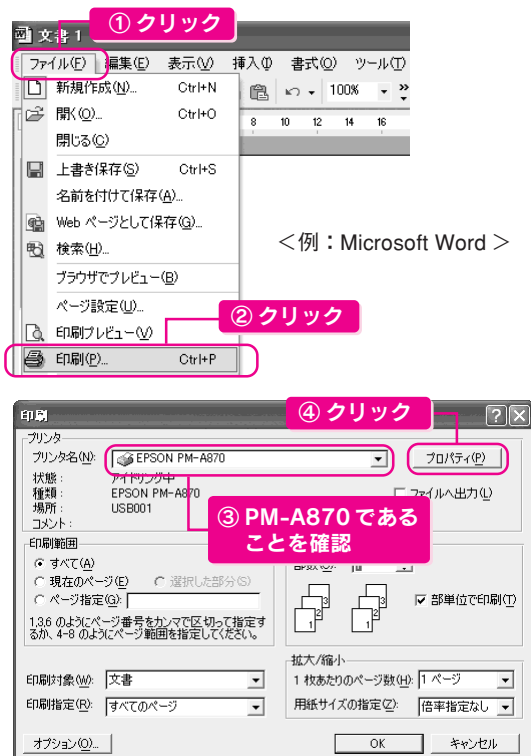
アプリケーションソフトから印刷する基本手順を説明します。
詳しくは『PM-A870 電子マニュアル』をご覧ください。

Windows の場合

1 印刷用紙をセットします。

本書 7 ページ 「印刷用紙のセット方法」

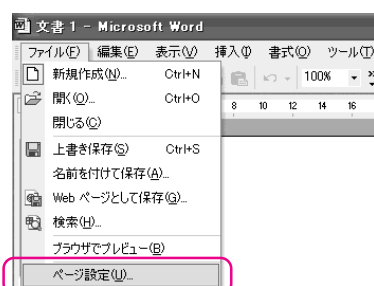
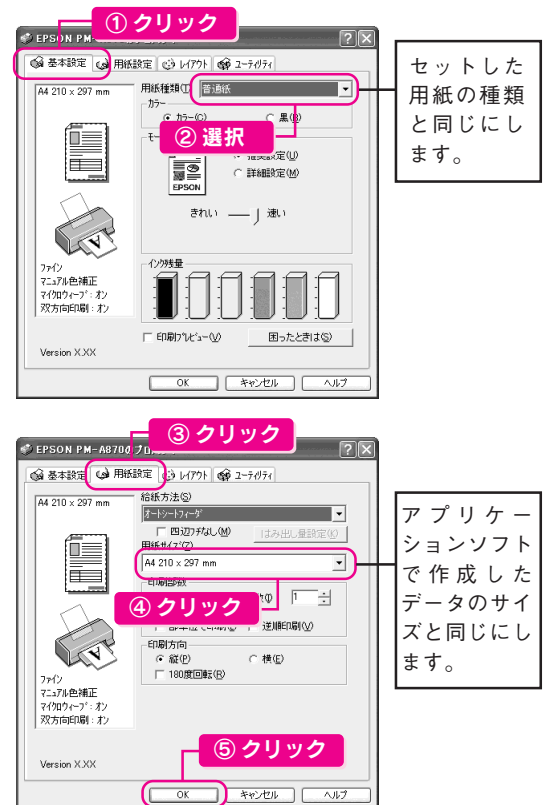
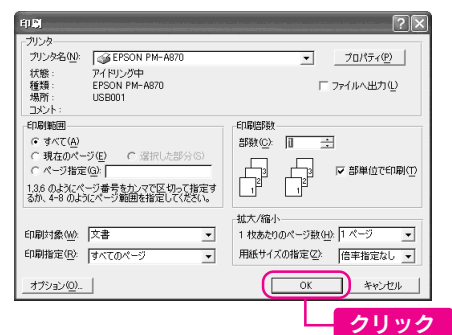
2 お使いのアプリケーションソフトからプリンタドライバを開きます。

『PM-A870 電子マニュアル』－「プリンタドライバ「画面の表示方法」」

<例：Microsoft Word>

補足情報

アプリケーションソフトで作成したデータの用紙のサイズは、［ファイル］メニューの［用紙設定］や［ページ設定］などの項目で確認できます。

3 プリンタドライバで印刷の設定をします。

セットした用紙の種類と同じにします。

アプリケーションソフトで作成したデータのサイズと同じにします。

4 印刷を実行します。

以上で、Windows での印刷の手順説明は終了です。

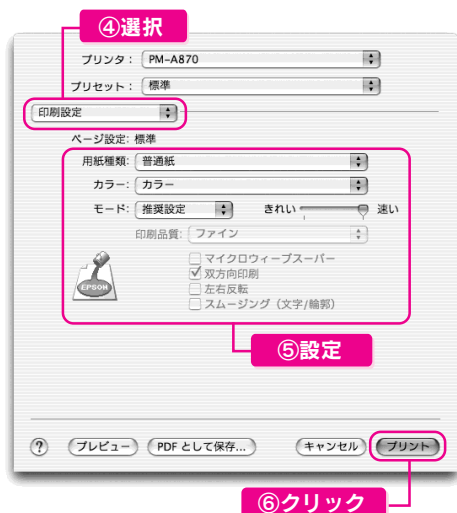
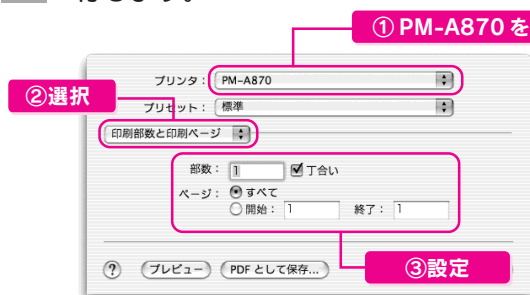
Mac OS X の場合

1 印刷用紙をセットします。

本書 7 ページ 「印刷用紙のセット方法」

2 お使いのアプリケーションソフトで印刷するデータを表示してから、プリンタドライバの［ページ設定］を設定します。

『PM-A870 電子マニュアル』－「プリンタドライバ「画面の表示方法」」

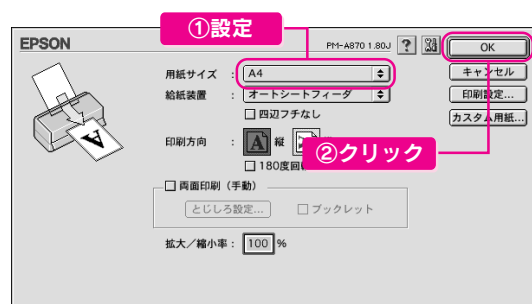
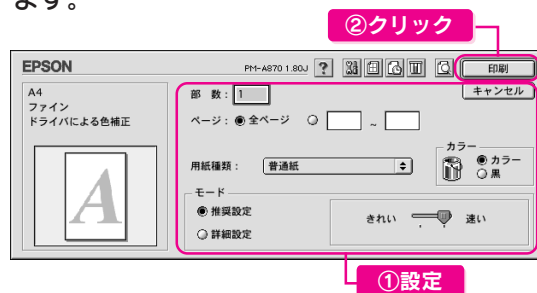
3 ［プリント］画面で印刷設定をして、印刷を実行します。

以上で、Mac OS X での印刷の手順説明は終了です。

Mac OS 9.x の場合

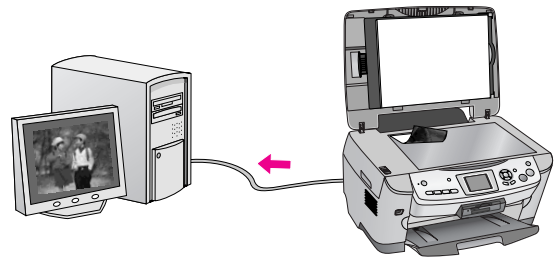
1 印刷用紙をセットします。

本書 7 ページ 「印刷用紙のセット方法」

2 お使いのアプリケーションソフトで印刷するデータを表示してから、プリンタドライバの［用紙設定］（または［プリント］など）を設定します。

『PM-A870 電子マニュアル』－「プリンタドライバ「画面の表示方法」」

3 ［印刷］画面で印刷設定をして、印刷を実行します。

以上で、Mac OS 9.x での印刷説明の手順は終了です。

スキャンする

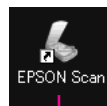
スキャナドライバ（EPSON Scan）を使用して、セットした原稿のデータ（画像）をパソコンに取り込む基本手順を説明します。詳しくは『PM-A870 電子マニュアル』をご覧ください。

全自動モードで簡単スキャン

1 原稿をセットします。

本書 14 ページ「コピー手順の流れ」手順 3

2 EPSON（エプソン） Scan（スキャン） を起動します。

- Windows の場合

デスクトップ上の［EPSON Scan］アイコンをダブルクリックします。

こんなときは

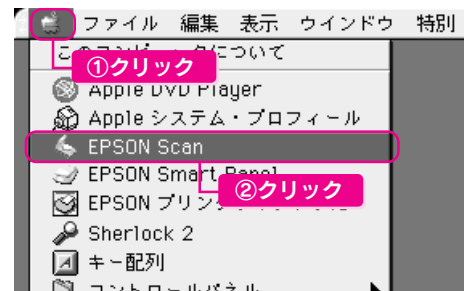
［EPSON Scan］アイコンがない場合は

①［スタート］ー②［すべてのプログラム］（または［プログラム］）ー③［EPSON Scan］ー④［EPSON Scan］の順にクリックします。

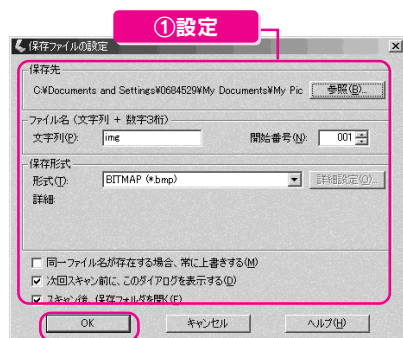
- Mac OS X の場合

①ハードディスク内の②［アプリケーション］フォルダー③［EPSON Scan］の順にダブルクリックします。

- Mac OS 9 の場合

①［アップル］メニューー②［EPSON Scan］の順にクリックします。

3 以下の画面が表示されますので、スキャン ボタンをクリックします。

4 **必要に応じて［保存先］/［ファイル名］/［保存形式］を設定して OK ボタンをクリックします。**

OK ボタンをクリックすると、スキャンが始まり、指定した場所にファイルとして保存されます。

［スキャン後、保存フォルダを開く］をチェックしておくと、スキャン後に保存されたフォルダが開きます。

以上で、スキャンの手順説明は終了です。

スキャンモードの切り替え方法

簡単スキャン（全自動モード）で思い通りにスキャンできない場合は、EPSON Scanのホームモードやプロフェッショナルモードに切り替えて、詳細設定をしてお試しください。

1 **EPSON Scanが起動して下の画面が表示されたら、画面右上の［モード］で［ホームモード］または［プロフェッショナルモード］を選択します。**

設定の詳細は、『PM-A870電子マニュアル』をご覧ください。

補足情報

次回起動時には、ここで設定したモードで起動します。

ホームモード

プロフェッショナルモード

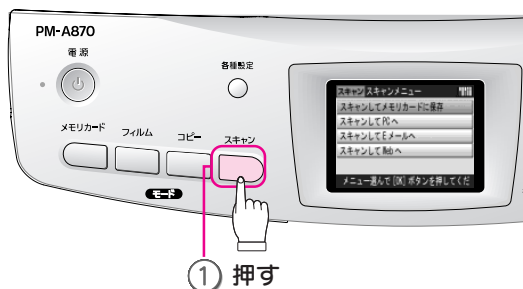
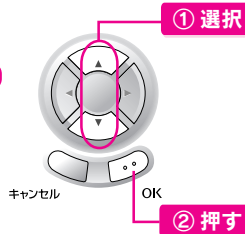
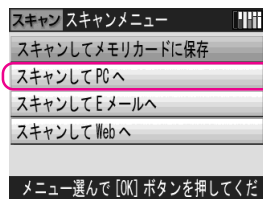
パソコンとつないで使う

スキャンしたデータをすぐに活用する

操作パネルのスキャンモードを使用すると、パソコン上のアプリケーションソフトが自動的に起動し、スキャンからスキャン後の画像の活用まで、一連の操作で行うことができます。

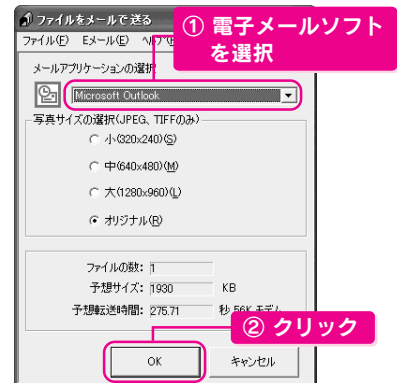
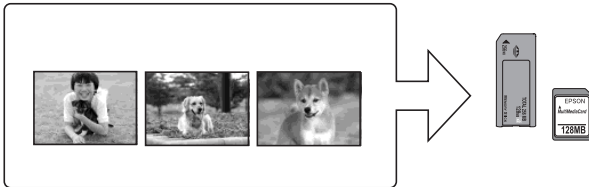
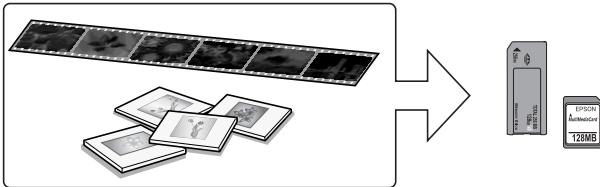
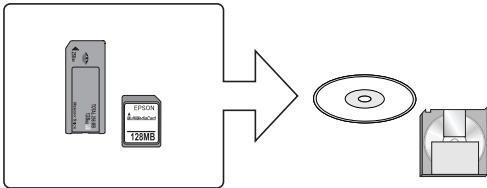
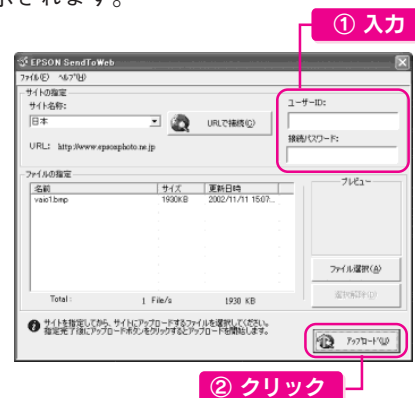
補足情報
事前に付属のアプリケーションソフトをすべてインストールしておく必要があります。

1 原稿をセットします。
☞本書 14 ページ「コピー手順の流れ」手順 3

2 スキャン ボタンを押します。

3 ［スキャンして PC へ］を選択します。

4 Windows XPの場合は、［プログラム選択］画面が表示されますので、［EPSON Creativity Suite］を選択します。

5 パソコンのデスクトップ上に以下の画面が表示されます。

補足情報
表示されている画像を下段の［選択ファイルリスト］に登録すると、上段の各アイコンが有効になります。やりたいことのアイコンをクリックしてください。詳しくは、『PM-A870 電子マニュアル』をご覧ください。

- **スキャンした画像を電子メールに添付したい**
  手順 3 のスキャンメニューで［スキャンして E メールへ］を選択して OK ボタンを押します。スキャンが完了すると、以下の画面が表示されます。

選択した電子メールソフトが起動して、スキャンデータが添付されます。

- **スキャンした画像を Web に貼り付けたい**
  手順 3 のスキャンメニューで［スキャンして Web へ］を選択して OK ボタンを押します。スキャンが完了すると、以下の画面が表示されます。

Web のホームページが起動して、スキャンデータがアップロードされます。

便利な機能、いろいろな使い方

この章のもくじ

基本操作と設定値の初期化 54

スキャンしたデータをメモリカードに保存 55

写真や雑誌などの原稿をメモリカードに保存 55

フィルムのデータをメモリカードに保存 56

メモリカードのデータを外部記憶装置へ保存 57
（バックアップ）

外部記憶装置のデータを印刷 58
（バックアップしたデータのみ）

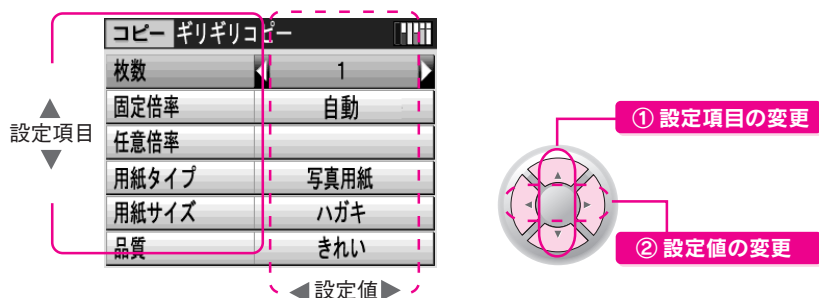
デジタルカメラから直接印刷 59

携帯電話からワイヤレス印刷 60
（赤外線通信カード - 別売 -）

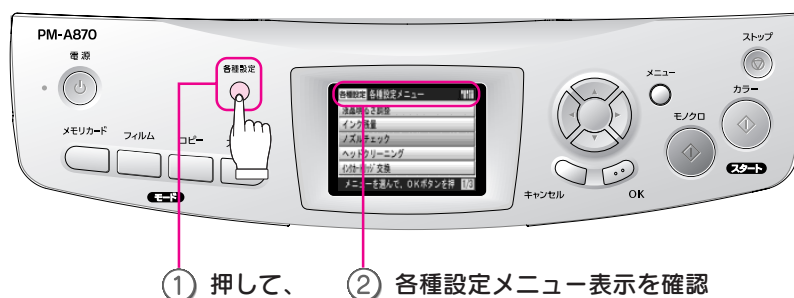
Bluetooth でワイヤレス印刷 61
（Bluetooth ユニット - 別売 -）

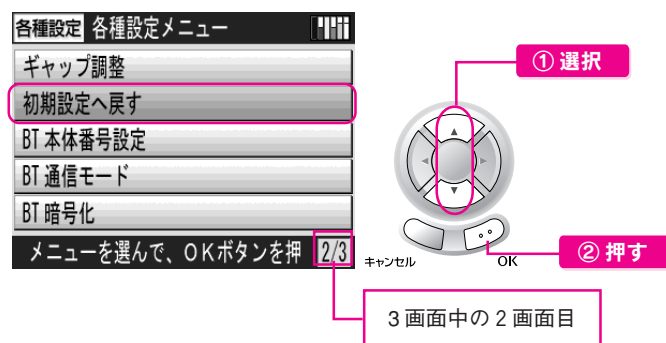
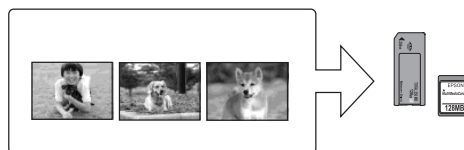
基本操作と設定値の初期化

操作パネルの設定の基本操作

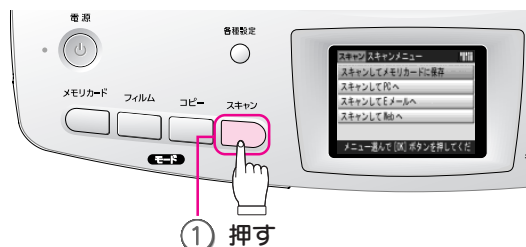
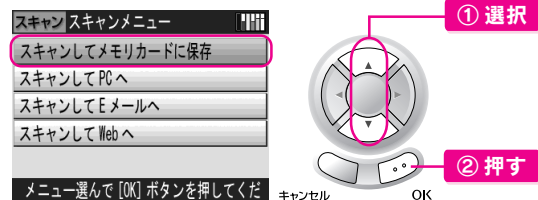
操作パネルの設定は、▲▼ ボタンで設定項目を、◀▶ボタンで設定値を変更します。

設定値の初期化

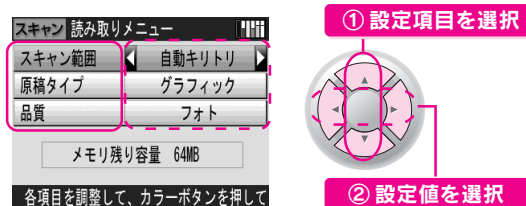
上記の操作で変更した設定値を、初期の状態（購入時の設定値）に戻すことができます。

1 各種設定 ボタンを押して、各種設定モードにします。

2 ［初期設定へ戻す］を選択します。

画面のメッセージに従って OK ボタンを押すと、設定値が初期の状態に戻ります。

スキャンしたデータをメモリカードに保存

写真や雑誌などの原稿をメモリカードに保存

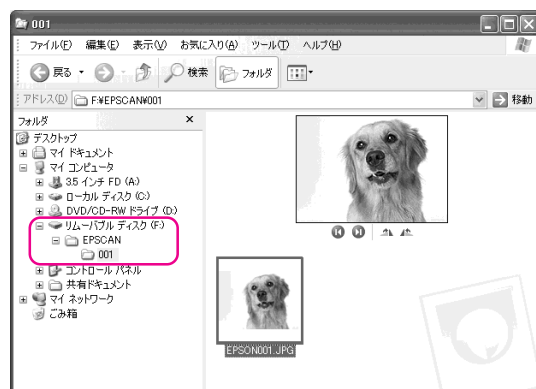
1 メモリカードをセットします。
本書 10 ページ「①メモリカードをセットします」

2 スキャン ボタンを押して、スキャンモードにします。

3 [スキャンしてメモリカードに保存]を選択します。

4 スキャンする原稿の設定をします。

設定項目	設定値（下線は初期値）
【スキャン範囲】 スキャンする原稿の範囲を設定します。	自動キリトリ： 原稿の大きさを自動認識して、原稿の部分だけをスキャンします。 最大範囲： 読み込み可能な最大範囲をスキャンします（原稿のない部分もスキャンします）。
【原稿タイプ】 原稿の種類を設定します。	グラフィック　：写真やイラストなど テキスト　：文章など
【品質】 読み取り品質を設定します。	フォト：<約3.0MB>※グラフィックのみ きれい：<約650KB> ふつう：<約350KB>※テキストのみ ※<>内は、A4カラー原稿の場合のファイル容量の目安

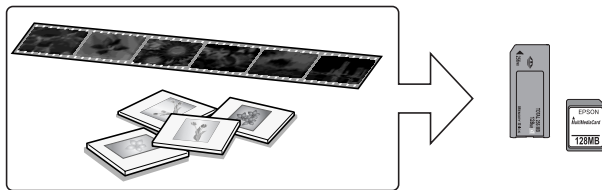
5 原稿をセットします。
本書 14 ページ　手順 3

6 カラー ボタンを押します。
液晶ディスプレイに「スキャン中です。」と表示され、メモリカードに保存されます。モノクロ ボタンでは保存できません。

本製品をパソコンに接続すると、メモリカードスロットがリムーバブルディスクとして認識されます。
パソコンからメモリカードに保存したファイルをWindows XPのエクスプローラから見ると、下の画面のようにフォルダが作成され保存されます。

こんなときは
メモリカードに保存したデータを印刷する場合は
メモリカード印刷を行う前に、一旦メモリカードを抜いてから、セットし直してください。メモリカードをセットし直すことで、保存したデータが有効になります。

補足情報
本製品では保存したデータを削除（消去）することはできません。削除する場合は、お手持ちのデジタルカメラやパソコンなどで操作してください。

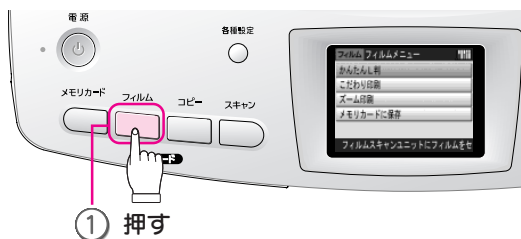
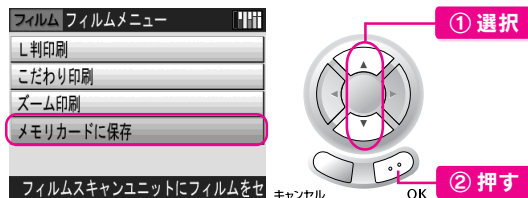
以上で、スキャンしたデータをメモリカードへ保存する手順説明は終了です。

フィルムのデータをメモリカードに保存

1 メモリカードをセットします。

本書 10 ページ「①メモリカードをセットします」

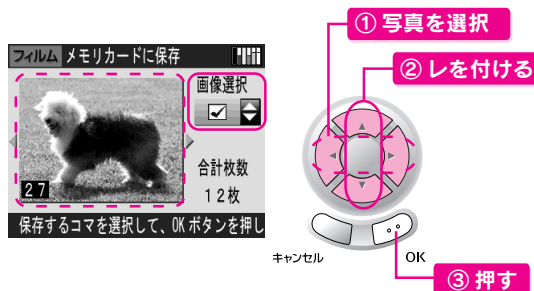
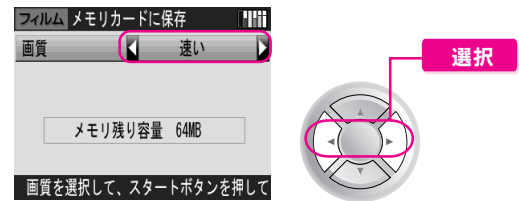
2 フィルムをセットします。

本書 41 ページ「フィルムのセット方法」

3 [フィルム] ボタンを押して、フィルムモードにします。

4 ［メモリカードに保存］を選択します。

5 セットしたフィルムのタイプを選択します。

本書 42 ページ 手順 6

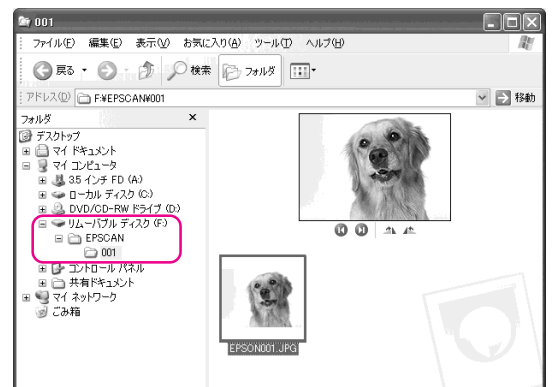
画像がプレビューされるまで、しばらくお待ちください。

6 保存する写真を選択します。

7 スキャンの画質（［速い］または［きれい］）を選択します。

画質	読み取り解像度	ファイル容量の目安
速い	1200 × 1200 dpi	500KB
きれい	2400 × 2400 dpi	4.5MB

※ ファイルの容量は画像の内容によって大きく変わります。

8 [カラー] か [モノクロ] ボタンを押します。

液晶ディスプレイに「スキャンデータを保存しています。」と表示され、メモリカードに保存されます。

本製品をパソコンに接続すると、メモリカードスロットがリムーバブルディスクとして認識されます。
パソコンからメモリカードに保存したファイルをWindows XPのエクスプローラから見ると、下の画面のようにフォルダが作成され保存されます。

こんなときは

メモリカードに保存したデータを印刷する場合は

メモリカード印刷を行う前に、一旦メモリカードを抜いてから、セットし直してください。メモリカードをセットし直すことで、保存したデータが有効になります。

補足情報

本製品では保存したデータを削除（消去）することはできません。削除する場合は、お手持ちのデジタルカメラやパソコンなどで操作してください。

以上で、フィルムのデータをメモリカードへ保存する手順説明は終了です。

メモリカードのデータを外部記憶装置へ保存（バックアップ）

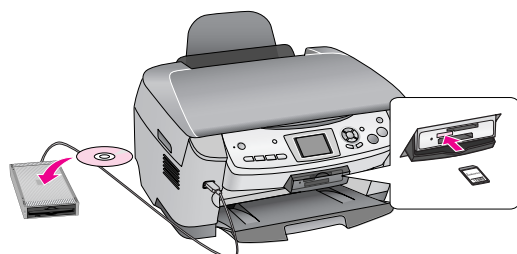
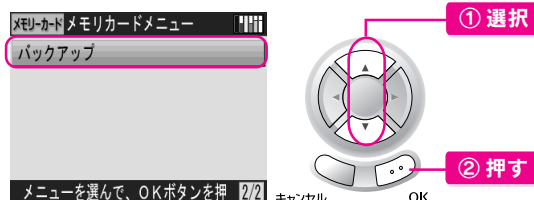
外部記憶装置の接続方法

接続可能な外部記憶装置	使用できるメディア
CD-R/DVD-R ドライブ	CD-R 650/700MB（CD-RW/DVD メディアには対応していません）
MO ドライブ	MO128/230/640MB（DOS/Windows フォーマット済みのもの）
USB フラッシュメモリ	－

補足情報
USB接続できるすべての記憶機器の動作を保証するものではありません。動作確認済みの記憶装置については、エプソンのカタログまたはホームページ（http://www.i-love-epson.co.jp）をご覧ください。

バックアップ方法

1 バックアップしたいデータの入ったメモリカードと、CD-RまたはMOディスクをセットします。

2 メモリカード ボタンを押します。

3 ［バックアップ］を選択します。

4 画面を確認して、OK ボタンを押します。

5 OK ボタンを押して、バックアップを実行します。

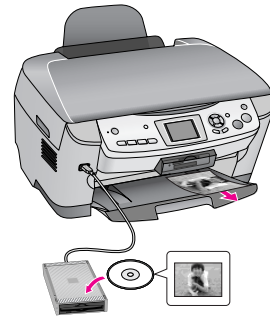
「バックアップを完了しました。」のメッセージが表示されたらバックアップは終了です。

バックアップした写真を印刷する場合は
以下のページをご覧ください。
☞ 本書 58 ページ「外部記憶装置のデータを印刷」

補足情報
本製品では保存したデータを削除（消去）することはできません。削除する場合は、お手持ちのパソコンなどで操作してください（CD-Rのデータはパソコンからも削除することはできません）。

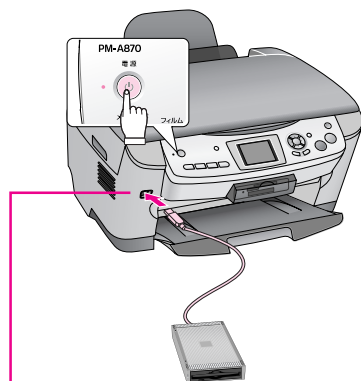
以上で、バックアップの手順説明は終了です。

外部記憶装置のデータを印刷

（バックアップしたデータのみ）

外部記憶装置の接続方法

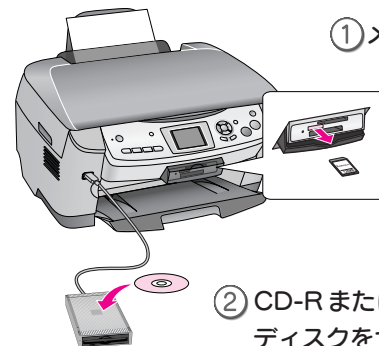
接続可能な外部記憶装置	使用できるメディア
CD-R/DVD-R ドライブ	CD-R 650/700MB（CD-RW/DVD メディアには対応していません）
MO ドライブ	MO128/230/640MB（DOS/Windows フォーマット済みのもの）
USB フラッシュメモリ	−

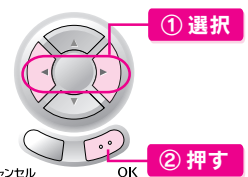
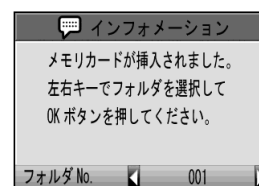
補足情報
USB接続できるすべての記憶機器の動作を保証するものではありません。動作確認済みの記憶装置については、エプソンのカタログまたはホームページ（http://www.i-love-epson-co.jp）をご覧ください。

① 本製品と外部記憶装置の電源がオフになっているか確認

USB フラッシュメモリは、直接差し込み、印刷方法の手順 2 へ進みます。

② USBケーブルを接続して、双方の電源をオン

印刷方法

1 メモリカードを抜いてから、バックアップしたデータの入ったCD-RまたはMOディスクをセットします。

補足情報
- メモリカードがセットされている場合は取り外してください。メモリカードがセットされていると外部記憶装置が認識されません。
- ファイル容量が 3MB を超える画像※を印刷すると、印刷開始までに数十分程度の時間がかかる場合があります。3MB を超える画像を印刷する場合は、外部記憶装置から印刷せずに、メモリカードから直接印刷することをお勧めします。
  本書 25 ページ「メモリカードから写真プリント」
  ※ 6M ピクセル（600 万画素）以上のデジタルカメラで撮影した画像や TIFF 画像などは、おおむね 3MB 以上になります。

2 以下の画面が表示された場合は、印刷する写真の含まれるフォルダを選択します。

3 この後は、メモリカードからの印刷と同様の手順で印刷します。

以上で、バックアップしたデータを印刷する手順説明は終了です。

デジタルカメラから直接印刷

USB DIRECT-PRINT 対応のデジタルカメラ

PictBridge 対応のデジタルカメラ

上記どちらかの規格に対応したデジタルカメラから印刷できます。

補足情報

- 本製品と接続可能なデジタルカメラについては、エプソンのホームページでご案内しています（http://www.i-love-epson.co.jp）。
- お使いのデジタルカメラによって設定項目や設定値、設定方法、操作方法などが異なります。詳しくはデジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。
- 印刷の設定は、基本的にデジタルカメラ側での設定が優先されますが、[標準設定※1] などを選択した場合やデジタルカメラ側で設定できない機能については、本製品側の設定が反映されます。なお、設定内容が本製品の仕様上実現不可能な組み合わせの場合は、実現可能な組み合わせに自動調整して印刷されます（この調整結果が本製品側の設定値と一致するとは限りません）。印刷設定を確実に反映させたい場合は、必ずデジタルカメラ側で目的に合った設定値を選択してください。
- セピアで印刷したい場合は、本製品側でセピア印刷の設定をしてください。デジタルカメラ側で「プリント効果：イメージオプティマイズ※2」の設定ができる場合は、「標準設定※1」に設定してください。
- TIFF 画像の印刷はできません。TIFF 画像を印刷したい場合は、メモリカードから直接印刷してください。
  本書 25 ページ「メモリカードから写真プリント」

※1 本製品側の設定を反映させる設定値（設定値の名称はデジタルカメラによって異なります。例：「標準設定」「プリンタ指定」など）

※2 色合いなどの調整をする設定項目（設定項目名はデジタルカメラによって異なります。例：「プリント効果：イメージオプティマイズ」「印刷補正」など）

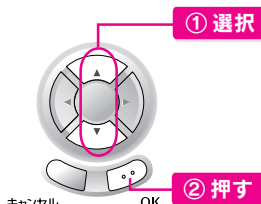
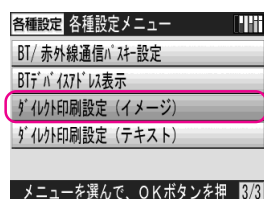
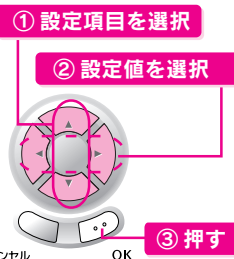
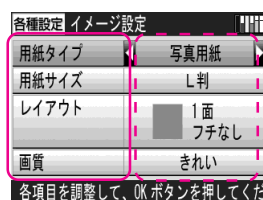
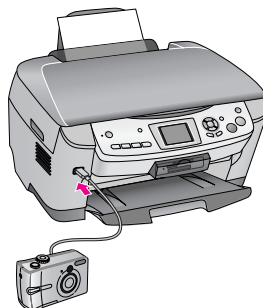
1 本製品の電源をオンにして、印刷用紙をセットします。

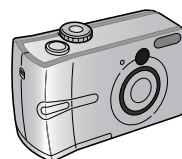
本書 7 ページ「印刷用紙のセット方法」

2 [各種設定] ボタンを押します。

補足情報

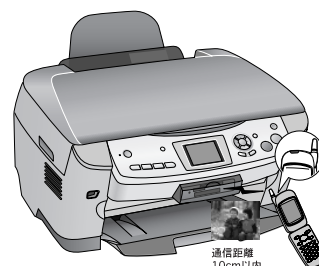
メモリカードモードでは印刷できません。

3 ［ダイレクト印刷設定（イメージ）］を選択します。

4 必要に応じて印刷設定をします。

5 デジタルカメラの電源をオンにして、USB ケーブルで接続します。

6 デジタルカメラで各種設定をします。

① 印刷する写真と枚数を設定
② お好みでその他の項目を設定

7 デジタルカメラから印刷を実行します。

以上で、デジタルカメラから印刷する手順説明は終了です。

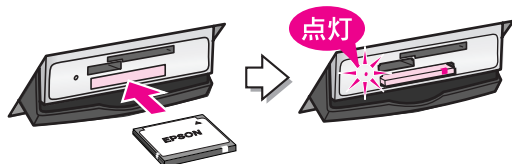
携帯電話から ワイヤレス印刷

（赤外線通信カード - 別売 -）

補足情報

- 赤外線通信カード（型番：PMPTIR1）の通信距離は 20cm 以内ですが、本製品の場合は赤外線通信カードをセットした後カバーを閉じるため、通信距離が 10cm 以内となります。
- 印刷可能な携帯電話については、本製品のカタログやエプソンのホームページでご覧ください（http://www.i-love-epson.co.jp）。
- その他の注意事項については、赤外線通信カード本体の取扱説明書をご覧ください。

赤外線通信カードのセット方法

赤外線通信カードは、コンパクトフラッシュメモリカードと同様の手順でセットできます。

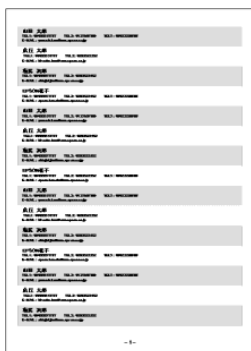
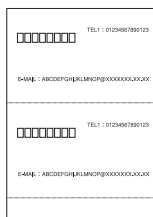
本書 10 ページ「①メモリカードをセットします」

補足情報

赤外線通信機器から印刷する場合は混信を防ぐため、必ず［BT/赤外線通信パスキー設定］で本製品のパスキーを設定し、携帯電話で本製品と同じパスキーを設定してください。本製品のパスキーの設定手順はBluetoothの設定と同じです。以下のページをご覧ください。

本書61ページ「Bluetoothユニットの通信設定」

印刷方法

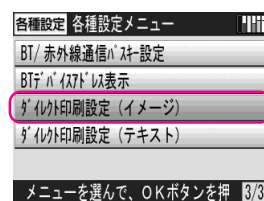
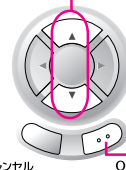
補足情報

電話帳（［全件送信］など）の場合、A4 サイズの用紙に、以下のイメージで印刷されます。

vCard（電話帳［（1 件）送信］など）の場合、L判サイズの用紙に以下のイメージで印刷されます。

1 本製品の電源をオンにして、印刷用紙をセットします。

本書 7 ページ「印刷用紙のセット方法」

電話帳（［全件送信］など）の場合は、A4 サイズの普通紙をセットしてください。

2 各種設定 ボタンを押して、［ダイレクト印刷設定（イメージ）］または［ダイレクト印刷設定（テキスト）］を選択します。

写真・画像（JPEG/vNote）の場合：［ダイレクト印刷設定（イメージ）］
電話帳・vCardの場合：［ダイレクト印刷設定（テキスト）］

① 押す

3 必要に応じて印刷設定をします。

本書 30 ページ「印刷設定」

4 携帯電話からデータを送信して印刷を実行します。

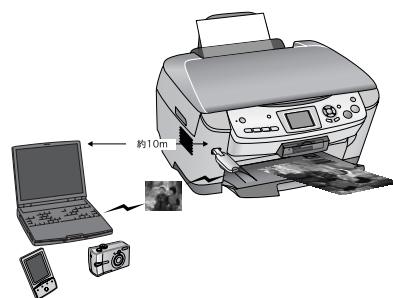
電話帳データの場合は、「電話帳［全件送信］」（最大500件）、vCardデータの場合は、「電話帳［（1件）送信］」などのメニューから送信します。

補足情報

携帯電話より電話帳全件送信の際、機種によって暗証番号以外に「認証パスワード」が求められる場合があります。その場合は、本製品で設定した［BT/赤外線通信パスキー設定］の値（4 桁の数字）を入力してください。
本製品の［BT/赤外線通信パスキー設定］をしていない場合、初期値の「0000」となります。

以上で、携帯電話からワイヤレス印刷する手順説明は終了です。

Bluetooth でワイヤレス印刷

（Bluetooth ユニット - 別売 -）

本製品と通信が可能な製品

Bluetooth対応の製品で、以下のプロファイル※1に対応している必要があります。

BIP（Basic Imaging Profile）

- 一度に送信できる画像は 1 枚（最大 2.5MB）です。10 枚まで予約することができます（最大 3MB）。
- 本製品の操作パネルでは、イメージ設定画面に表示されるすべての項目を設定できます。

HCRP（Hardcopy Cable Replacement Profile）

データを送信する機器の設定に従って印刷します。本製品の操作パネルでは、設定できません。

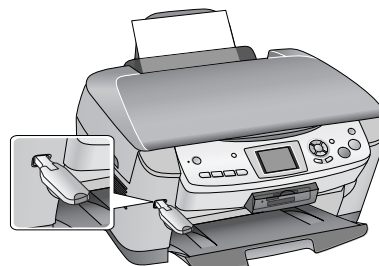
※ 1：Bluetooth通信を行うための規格です。製品ごとの特長や使用目的に応じて複数のプロファイルが制定されています。Bluetooth 通信を行うためには、通信する機器がお互いに共通のプロファイルに対応している必要があります。

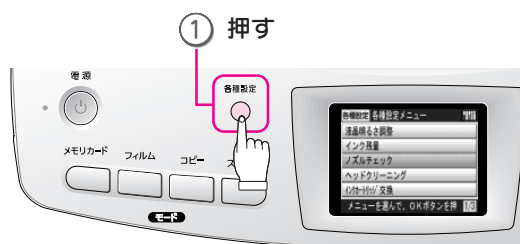
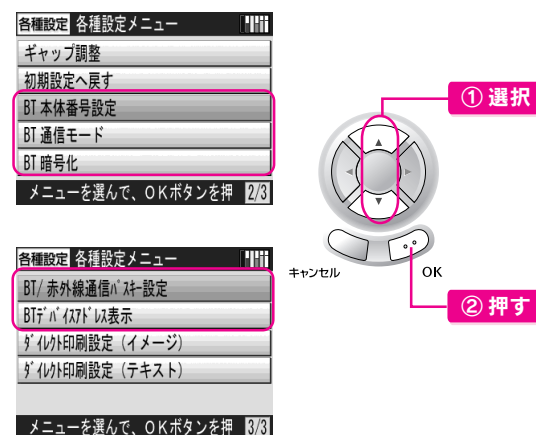
補足情報

- ご利用の製品の取扱説明書などで、上記のプロファイルに対応しているかをご確認ください。Bluetooth 対応の製品でも、上記のプロファイルに対応していない場合は、Bluetoothユニットと通信することはできません。
- 通信可能な Bluetooth 製品については、エプソンのホームページでもご案内しています（http://www.i-love-epson.co.jp）。

Bluetooth ユニットの通信設定

印刷前に Bluetooth の通信設定を行います。
複数の機器から印刷する場合は、混信を防ぐため［BT/ 赤外線通信パスキー設定］で本製品のパスキーを設定してください。

1 本製品の電源をオフにして、Bluetooth ユニットを接続します。

2 本製品の電源をオンにします。

3 各種設定 ボタンを押します。

4 Bluetooth の設定項目を選択します。

5 Bluetooth の設定をします。

本書 62 ページ「Bluetooth の通信設定」

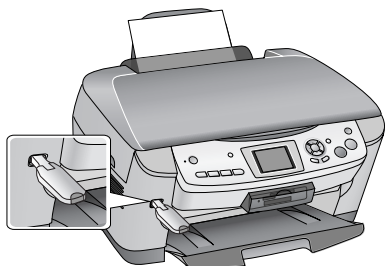
Bluetooth の通信設定

設定項目	設定値（下線は初期値）/説明	設定方法
BT 本体番号設定	PM-A870-0～9	
	Bluetooth 通信が可能な距離に、複数台のプリンタがある場合に、本体番号を設定することで、印刷するプリンタを見分けることができます。 電源を一旦オフにすると設定が有効になります。	
BT 通信モード	パブリック	
	Bluetooth 対応機器から検索と印刷ができます。	
	プライベート	
	Bluetooth 対応機器から検索できないようにします。印刷するためには、一度パブリックモードで、本製品を検索する必要があります。	
	ボンディング	
	Bluetooth対応機器から検索と印刷をする際には、パスキーが必要になります。	
BT 暗号化	ON/OFF	
	通信の内容を暗号化することができます。暗号化する場合は、パスキーの入力が必要になります。	
BT/ 赤外線通信パスキー設定	任意の 4 桁の数字 （初期値：0000）	
	パスキーを設定すると、印刷を実行する際にデジタルカメラなどでパスキー（任意の 4 桁の数字）を入力する必要があります。他の Bluetooth 製品からの混信を防ぐ場合などに使います。 Bluetooth 通信でパスキーを使用する場合は、［BT 通信モード］を［ボンディング］に設定するか、［BT 暗号化］を［ON］に設定してください。	
BT デバイスアドレス表示	（例）11-11-11-11-11-11	
	本製品が固有に持っている Bluetooth 通信アドレスを表示します。本製品と通信を行う機器で、本製品のデバイスアドレスを入力する必要がある場合に、ここで表示されたデバイスアドレスを入力しても通信できないことがあります。その場合は、カラリオインフォメーションセンターにお問い合わせください。	

以上で、Bluetooth ユニットの通信設定の手順説明は終了です。

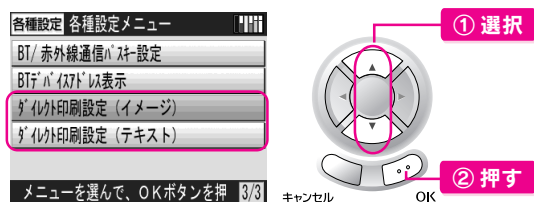
印刷方法

印刷前に Bluetooth の通信設定を行ってください。
本書 61 ページ「Bluetooth ユニットの通信設定」

1 本製品の電源をオフにして、Bluetooth ユニットを接続します。

2 本製品の電源をオンにして、印刷用紙をセットします。

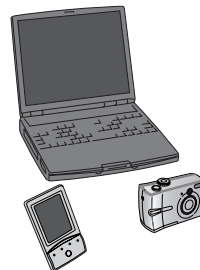
本書 7 ページ「印刷用紙のセット方法」

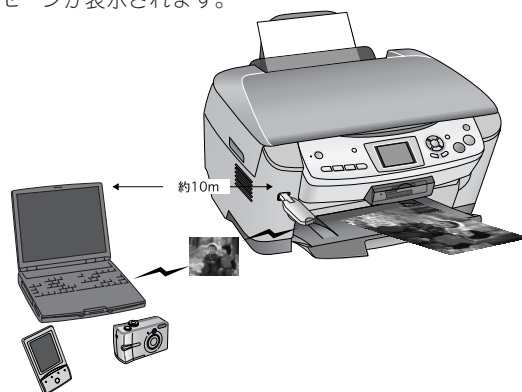
3 各種設定 ボタンを押します。

4 [ダイレクト印刷設定(イメージ)]または[ダイレクト印刷設定(テキスト)]を選択します。

5 BIPプロファイルの場合は、印刷設定をします。

BIP は、あらかじめ選択した写真を印刷するため、本製品で他の写真を選択することはできません。
本書 30 ページ「印刷設定」

6 お使いの Bluetooth 対応機器での設定をして、印刷を実行します。

設定の方法は、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

7 本製品がデータを受信して、印刷が始まります。

データを受信すると、Bluetooth ユニットのランプが点灯し、液晶ディスプレイにBluetooth通信中を示すメッセージが表示されます。

こんなときは

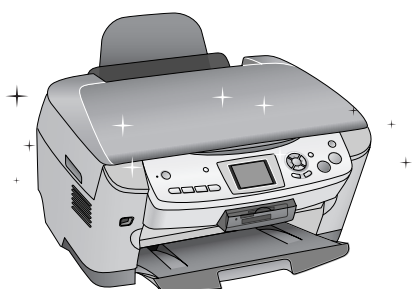
通信中を示すメッセージが表示されない場合や、ランプが点灯しない場合

Bluetoothユニットの通信設定を確認してください。
本書61ページ「Bluetoothユニットの通信設定」

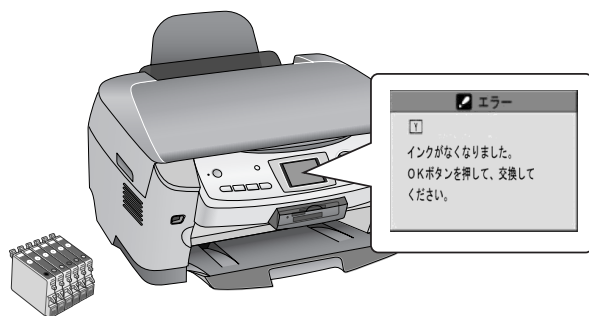
以上で、Bluetoothを使用した印刷の手順説明は終了です。

メンテナンス

この章のもくじ

上手に長くお使いいただくコツ 66

ノズルチェックとヘッドクリーニング 68

プリントヘッドのギャップ調整 70

インク残量の確認とインクカートリッジの交換 71

USBケーブルの取り外し 74

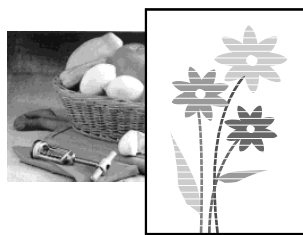
上手に長く お使いいただくコツ

本製品をお使いになる上で知っておいていただきたい、取り扱いやお手入れ方法などについて説明します。

プリントヘッド（ノズル）の目詰まりを防ぐ

プリントヘッド（用紙にインクを吹き付ける部分）が目詰まりすると、印刷結果にスジが入ってシマシマになったり、おかしな色味で印刷されたりします。

正常時

目詰まり時

プリントヘッドの乾燥を防ぐ

■万年筆やボールペンなどにペン先の乾燥を防ぐためのキャップがあるように、本製品にもプリントヘッドの乾燥を防ぐためのキャップがあります。通常は印刷終了後などに自動的にキャップされますが、動作中に突然電源が切れたりすると、正しくキャップされずに乾燥してしまいます。

これを防ぐには
- 電源プラグは、スイッチ付きテーブルタップなどに接続せず、壁などに直付けされたコンセントに差し込んでください。
- 電源のオン/オフは、必ず操作パネル上の電源ボタンで行ってください。

■万年筆などを長期間放置すると乾燥して書けなくなるのと同じように、本製品も長期間使用しないでいると、プリントヘッドが乾燥して目詰まりする場合があります。

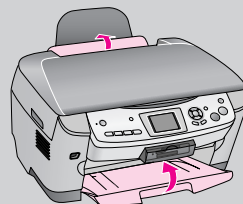
これを防ぐには
定期的に印刷することをお勧めします。定期的に印刷することで、プリントヘッドを常に最適な状態に保つことができます。

■インクカートリッジを取り外したまま放置すると、プリントヘッドがキャップされない状態になり、乾燥してしまいます。

これを防ぐには
インクカートリッジを取り外したまま放置しないでください。

ホコリが付かないようにする

■プリントヘッドのノズル（インクを出す穴）はとても小さいため、ホコリが付いただけでも目詰まりする場合があります。

これを防ぐには
- 使用しない時は、内部にホコリが入らないように、給紙口カバーや排紙トレイを閉じてください。
- 長期間使用しない時は、布やシートなど（静電気が起きにくいもの）をかけておくことをお勧めします。

■内部の汚れをティッシュペーパーなどでふくと、ティッシュペーパーの繊維くずがプリントヘッドに付いて目詰まりする場合があります。

これを防ぐには
内部の汚れはふき取らずに、以下のコピー操作によりクリーニングしてください。
1. 用紙をセットします。
2. 原稿台のガラス面と保護マットに汚れがないかを確認します。
3. 原稿台に**原稿をセットせずに**、コピーを実行します。
   本書8ページ「コピーしてみよう」
   ※用紙にインクの汚れが付かなくなるまで、1～3の手順を繰り返してください。

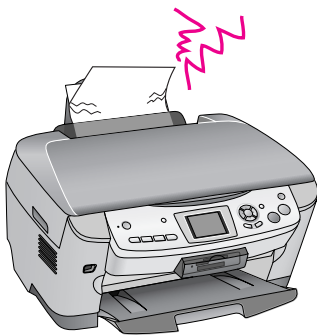
印刷を実行する前に

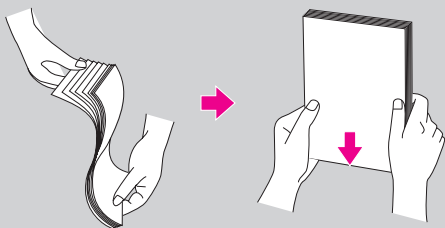
■前ページのようにプリントヘッドの目詰まりを防いでいても、環境などによっては目詰まりして、きれいに印刷されない場合もあります。

これを防ぐには
印刷品質を重視する写真などを印刷する場合や大量に印刷する場合は、印刷を実行する前に、ノズルチェック（目詰まりの確認）を行うことをお勧めします。
☞ 本書 68 ページ「ノズルチェックとヘッドクリーニング」

紙詰まりを防ぐ

用紙の取り扱いに注意し、正しくセットする

頻繁に紙詰まりが発生すると、故障の原因となります。

これを防ぐには

- 指定外の用紙は使用しないでください。また、折れ曲がったり、穴が開いたりした用紙は使用しないでください。
  ☞ 本書 90 ページ「用紙の紹介と印刷時の注意」
- 用紙によってセットできる枚数が異なります。以下のページでご確認ください。
  ☞ 本書 90 ページ「用紙の紹介と印刷時の注意」
- 写真用紙以外の用紙を複数枚セットする場合は、下図のようによくさばいて、整えてからセットしてください。

- 用紙は正しくセットしてください。
  特に、用紙を奥に入れすぎないように挿入することと、エッジガイドを用紙の側面に合わせることに注意して、セットしてください。
  ☞ 本書 7 ページ「印刷用紙のセット方法」

きれいにスキャンするために

原稿台や原稿に汚れやホコリが付かないようにする

原稿台や原稿自体が汚れていたり、ホコリが付いていたりすると、汚れやホコリまでスキャンしてしまいます。

これを防ぐには

- 原稿をセットする前に、原稿台に汚れやホコリが付いていないかを確認してください。
- 原稿台（ガラス面）を、ティッシュペーパーなどの繊維くずが出るものでふかないでください。メガネふきなどの繊維くずが出ない布で汚れをふき取ることをお勧めします。
- 原稿や写真フィルムのホコリを取ろうとして、息を吹きかけないでください。つばが飛んで原稿や写真フィルムが汚れる場合があります。
- 印刷した用紙を原稿としてセットする場合は、インクが原稿台に付かないように、よく乾燥させてからセットしてください。
- 使用しないときは、原稿台にホコリが付かないように、原稿カバーを閉じておいてください。

ノズルチェックとヘッドクリーニング

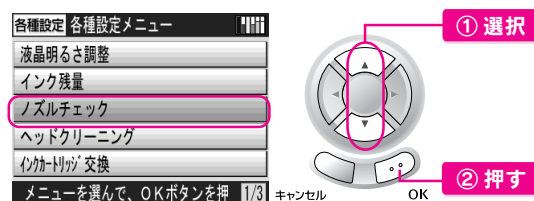
本書66ページの説明通りにプリントヘッドの目詰まりを防いでいても、印刷結果にスジが入ったりおかしな色味で印刷されたりする場合は、ノズルチェック機能を使ってノズルの目詰まりを確認し、ノズルが目詰まりしている場合は、プリントヘッドをクリーニングしてください。

ノズルチェックパターンの印刷

1 A4サイズの普通紙をセットします。

本書7ページ「印刷用紙のセット方法」

2 各種設定 ボタンを押します。

3 ［ノズルチェック］を選択します。

4 ノズルチェックを実行します。

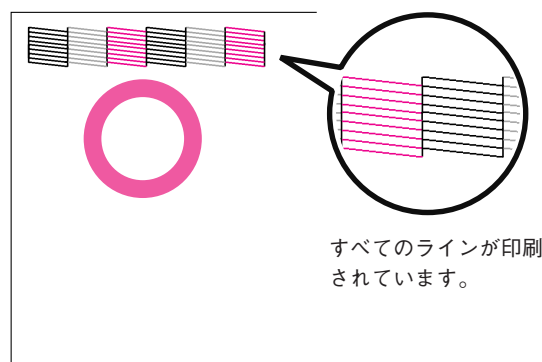
ノズルチェックパターンが印刷されます。

以上で、ノズルチェックパターンの手順説明は終了です。

ノズルチェック（目詰まりの確認）

印刷されたノズルチェックパターンを確認します。

すべてのラインが印刷されている場合

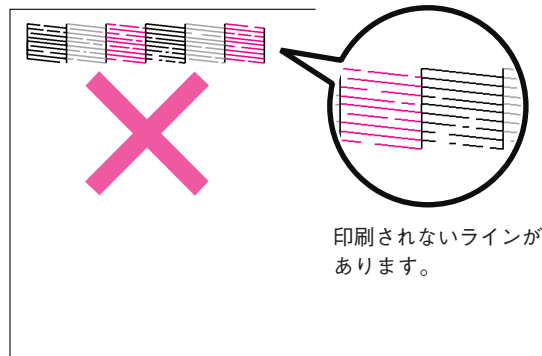
正常な印刷例

ノズルは目詰まりしていません。

キャンセル ボタンを押して、ノズルチェックを終了します。

きれいに印刷できない（印刷品質が低下した）原因がほかに考えられますので、以下のページをご覧ください。

本書79ページ「印刷結果のトラブル」

印刷されないラインがある場合

ノズルが目詰まりしているときの印刷例

ノズルは目詰まりしています。

[OK]ボタンを押し、次の「ヘッドクリーニング」の手順 3 に進んでヘッドクリーニングを実行してください。

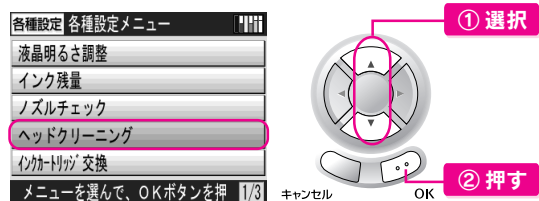
補足情報

- ノズルチェックパターンのすべてのラインが印刷されるまで、ノズルチェックとヘッドクリーニングを繰り返してください。
- 長期間使用していない場合、ヘッドクリーニングを数回実行しないと、目詰まりが改善されない場合があります。ノズルチェックとヘッドクリーニングを交互に5回以上繰り返しても改善されない場合は、本製品の電源をオフにして一晩以上放置した後、再度ノズルチェックとヘッドクリーニングを実行してください。ヘッドクリーニングを繰り返した後、時間をおくことによって、目詰まりを起こしているインクが溶解し、正常に印刷できるようになることがあります。

ヘッドクリーニング

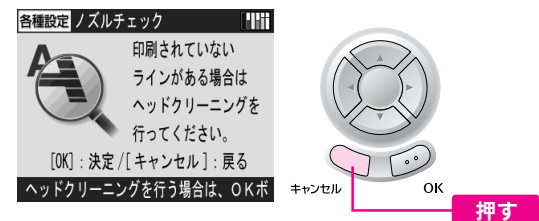
注意 ヘッドクリーニングは、インクを吐出してプリントヘッドのノズルをクリーニングします。必要以上に行わないでください。

1 [各種設定]ボタンを押します。

2 ［ヘッドクリーニング］を選択します。

3 ヘッドクリーニングを実行します。

ヘッドクリーニングが終了するとメニューに戻ります。

4 ノズルの目詰まりを再確認します。

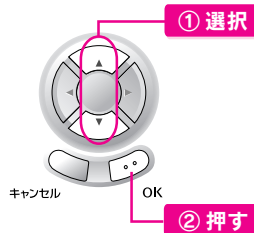
前ページの「ノズルチェックパターンの印刷」に戻り、ノズルチェックを実行してください。

以上で、ヘッドクリーニングの手順説明は終了です。

プリントヘッドのギャップ調整

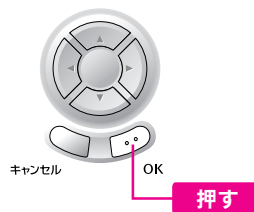
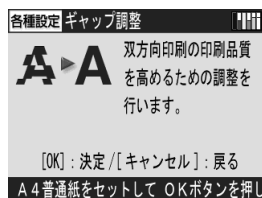
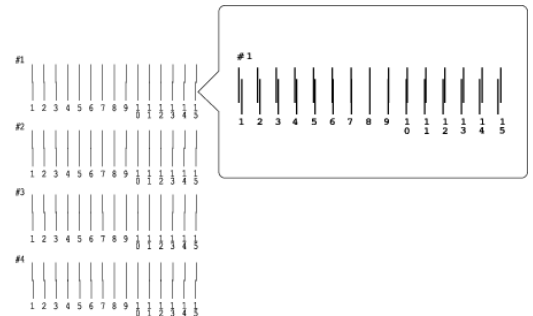
縦の罫線がずれたり、ぼやけたような印刷結果になるときは、プリントヘッドのギャップがずれている可能性があります。下記の手順で、ギャップのズレを調整してください。

1 A4 サイズの普通紙をセットします。

本書 7 ページ「印刷用紙のセット方法」

2 各種設定 ボタンを押します。

3 ［ギャップ調整］を選択します。

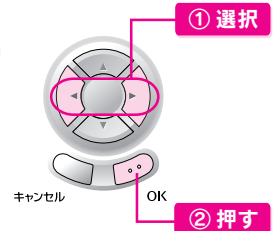
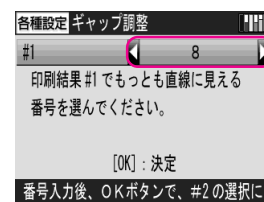
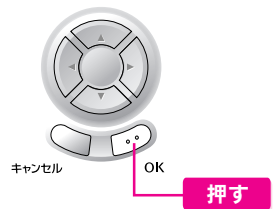
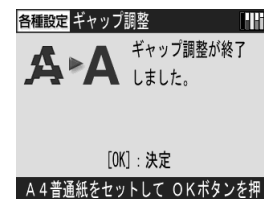
4 ギャップ調整を実行します。

ギャップ調整パターンが印刷されます。

5 印刷結果を確認します。

＃1から＃4それぞれについて、もっともズレの少ない直線に見える番号（1～15）を探します。

上記（＃1）のこの例では、「8」または「9」を選択します。

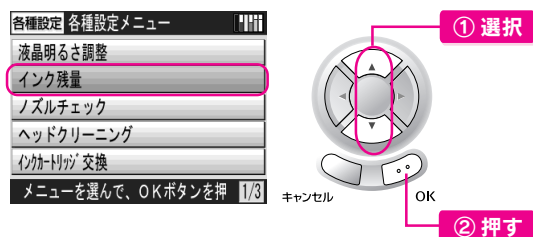
6 情報を設定します。

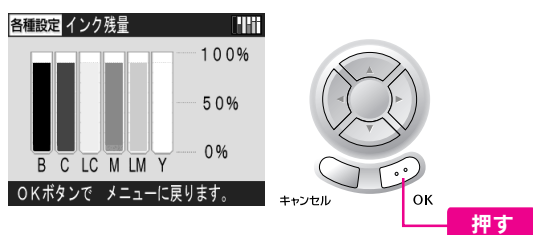
＃ 1 から＃ 4 まで、印刷結果を確認しながら繰り返します。

7 画面を確認し、OK ボタンを押します。

以上で、ギャップ調整の手順説明は終了です。

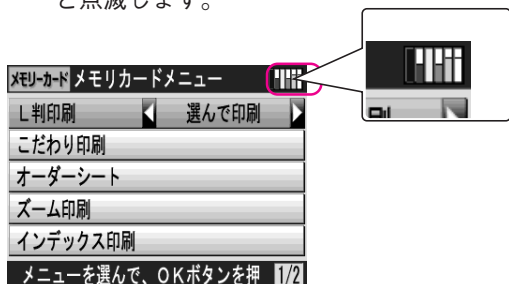
インク残量の確認と インクカートリッジの交換

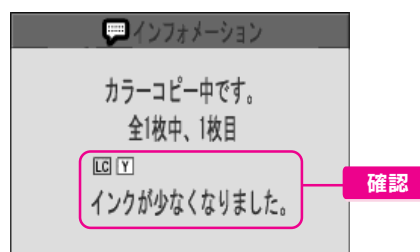
インク残量の確認

1 各種設定 ボタンを押します。

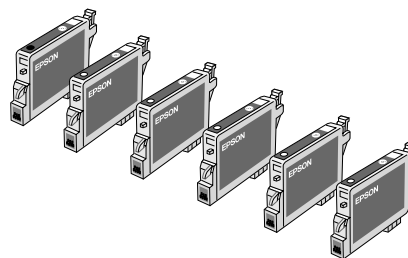
2 ［インク残量］を選択します。

3 インク残量を確認します。

OK ボタンでメニューに戻ります。

補足情報

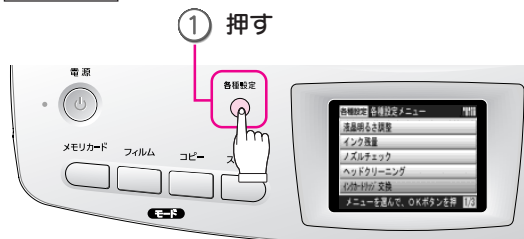
- インク残量の表示は、10% 刻みで切り上げ表示されます。なお、10% 以下の時はバーが点滅します。
- インク残量は、各画面の右上のアイコンでも 3 段階のバーで簡易表示しています。アイコンも、インク残量が 10% 以下になると点滅します。

新しいインクカートリッジの用意

インク残量表示が 10% 以下になったり、「インクが少なくなりました」とメッセージが表示されたら、すぐにインクカートリッジを交換する必要はありませんが、新しいインクカートリッジをご用意ください。

しばらくは印刷やコピーができる場合もあります。
インクが完全になくなると、インクカートリッジを交換するまで印刷やコピーができなくなります。

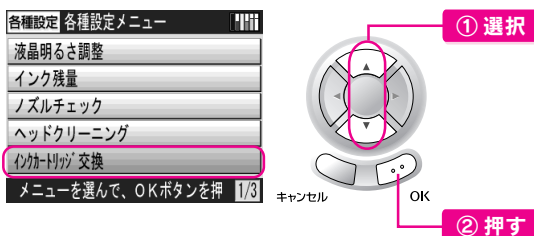
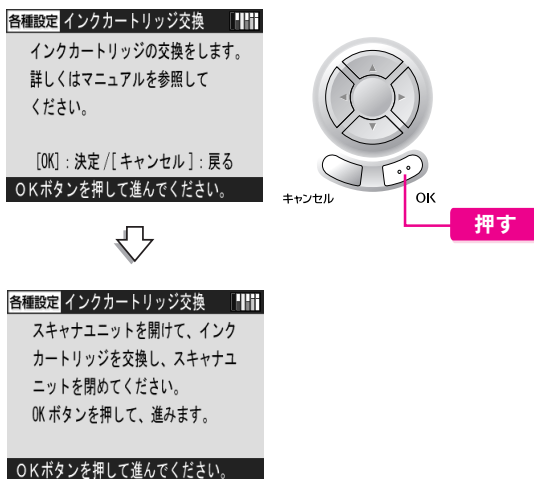
エプソンのインクカートリッジ純正品型番

BK	ブラック	：ICBK32
C	シアン	：ICC32
LC	ライトシアン	：ICLC32
M	マゼンタ	：ICM32
LM	ライトマゼンタ	：ICLM32
Y	イエロー	：ICY32

インク残量があるときのインクカートリッジの交換方法

印刷は6つのインクカートリッジのうち、いずれかのインクがなくなるまでできますが、「インクが少なくなりました」とメッセージが表示されたり、何らかの理由（大量に印刷したいなど）ですぐに交換する場合は、以下の手順に従ってください。

1 各種設定 ボタンを押します。

2 ［インクカートリッジ交換］を選択します。

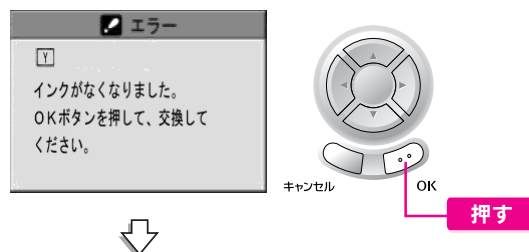
3 OK ボタンを押します。

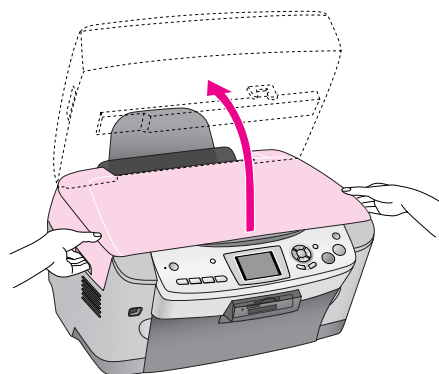
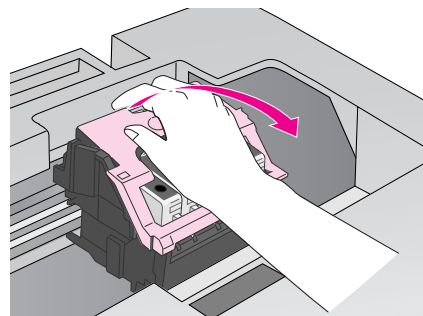
各種設定 インクカートリッジ交換
スキャナユニットを開けて、インク
カートリッジを交換し、スキャナユ
ニットを閉めてください。
OKボタンを押して、進みます。
OKボタンを押して進んでください。

この後は、次の「インクがなくなったときのインクカートリッジの交換方法」の手順 3 からの手順に従ってください。

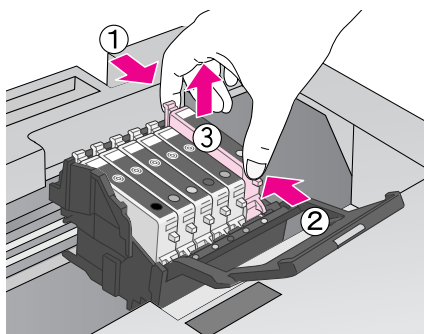
インクがなくなったときのインクカートリッジの交換方法

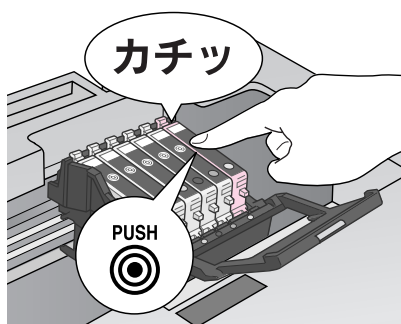
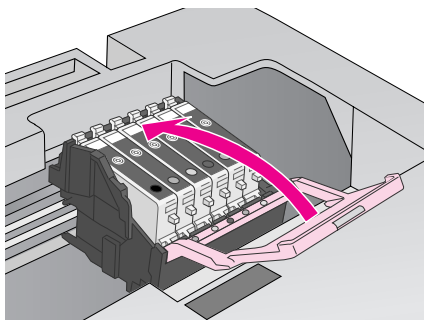
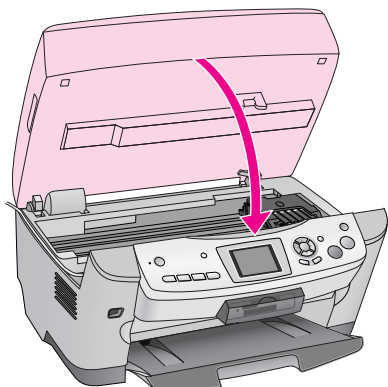
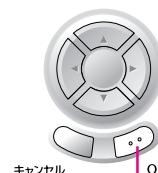
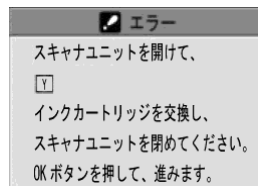
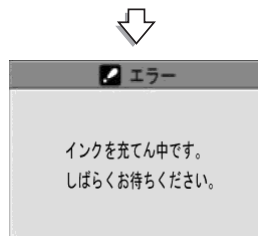
6つのインクカートリッジのうち、どれかひとつでもインクがなくなると印刷やコピーができなくなります。
以下の手順に従って、インクカートリッジを交換してください。

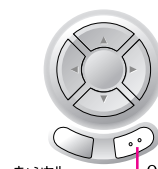
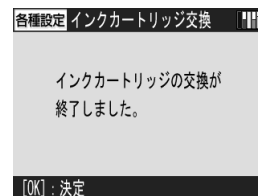
1 OK ボタンを押します。
プリントヘッドがインクカートリッジ交換位置へ移動します。

エラー
スキャナユニットを開けて、
Y
インクカートリッジを交換し、
スキャナユニットを閉めてください。
OKボタンを押して、進みます。

2 新しいインクカートリッジを袋から取り出します。

3 スキャナユニットを開けます。
両側の取っ手に手をかけて、静かに開けます。

4 カートリッジ固定カバーを開けます。

5 交換の必要なインクカートリッジを取り外します。

フックをつまみ、真上に取り外します。

6 新しいインクカートリッジをセットします。

◎の部分を、「カチッ」と音がするまでしっかりと押し込みます。

7 カートリッジ固定カバーを元の位置に倒して閉じます。

8 スキャナユニットを閉じます。

9 OK ボタンを押します。

インク充てんが始まります。
インク充てんは約 40 秒かかります。

10 OK ボタンを押して終了します。

注意

- インク充てんが始まらずに、「インクカートリッジがありません。」と表示された場合は、インクカートリッジをセットし直してみてください。
- 上記画面が表示されない場合は、メッセージに従ってください。

補足情報

インクカートリッジの回収にご協力ください

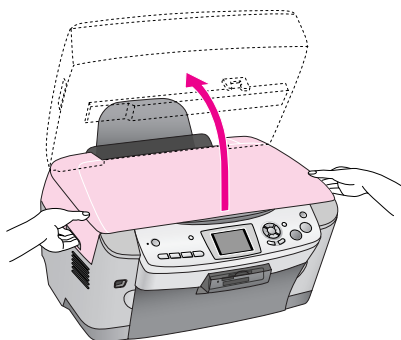
弊社は、環境保全活動の一環として、「使用済みインクカートリッジ回収ポスト」をエプソン製品取扱い店に設置し、使用済みインクカートリッジの回収、再資源化に取り組んでいます。使用済みインクカートリッジは、最寄りの回収ポストまでお持ちいただきますようご協力をお願いいたします。
最寄りの回収ポスト設置店舗については、エプソンのホームページ（http://www.i-love-epson.co.jp）をご覧ください。

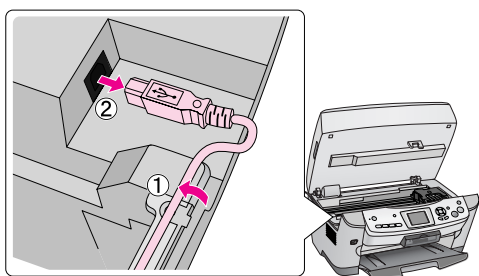
以上で、インクカートリッジ交換の手順説明は終了です。

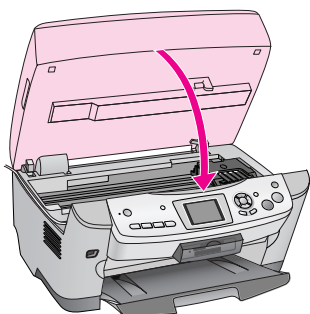
USB ケーブルの取り外し

USB ケーブルをお使いにならない場合は、取り外すことができます。

USB ケーブルの取り外し方

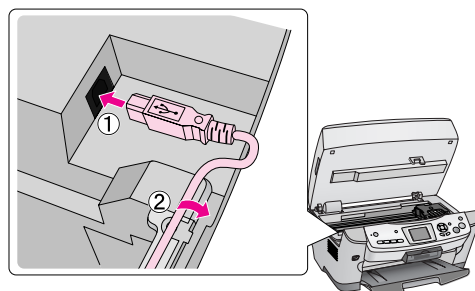
1 スキャナユニットを開けます。

2 USB ケーブルを取り外します。

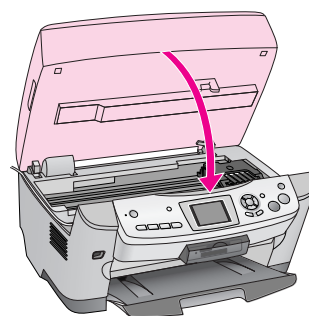
注意　ケーブルを傷付けないように注意してください。

補足情報　取り外した USB ケーブルは、パソコンと接続するときに必要になりますので、大切に保管しておいてください。

3 スキャナユニットを閉じます。

USB ケーブルの取り付け方

1 スキャナユニットを開けます。

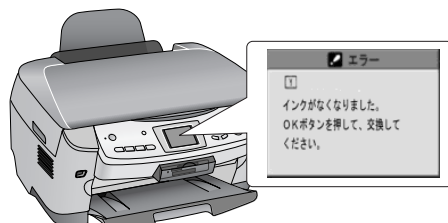
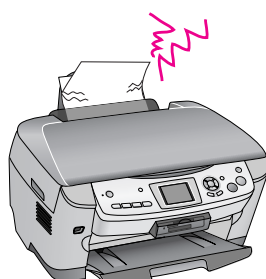
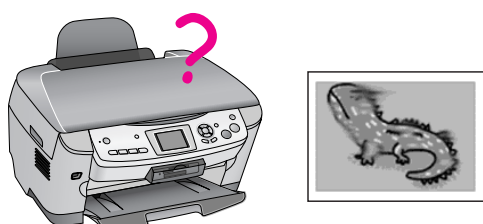
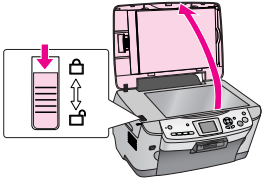
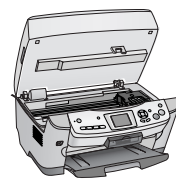
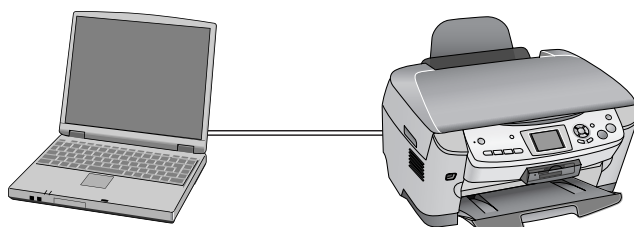
2 USB ケーブルを取り付けます。

USBケーブルを本体のコネクタに差し込み、側面の溝に沿って取り付けます。

3 スキャナユニットを閉じます。

注意　スキャナユニットでケーブルをつぶさないように注意してください。

補足情報　USB ハブを使用する場合は、パソコンに直接接続されたハブに、接続してください。

困ったときは

この章のもくじ

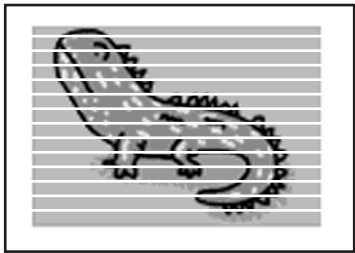
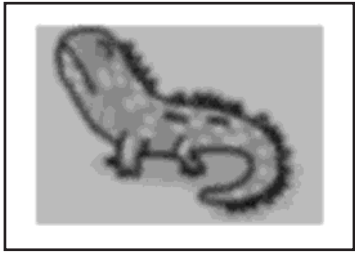
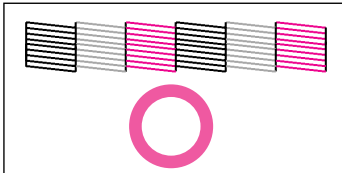
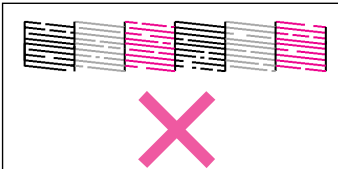
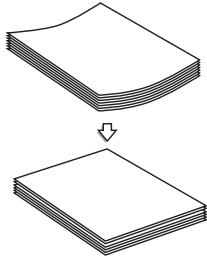
電源、操作パネルのトラブル
エラーメッセージ表示 76

用紙のセット時、紙送りのトラブル 78

印刷結果のトラブル 79

原稿 / メモリカード / フィルムのセット時、
スキャン結果のトラブル 82

パソコンと接続時のトラブル 83

トラブルが解決しないときは 88

電源、操作パネルのトラブル エラーメッセージ表示

電源、操作パネルのトラブル

トラブル状態	対処方法
電源をオンにすると、ガタガタと音がする	■ 輸送用固定レバーがロックされた状態になっていませんか？ ［電源］ボタンを押して電源をオフにしてから、原稿台の横にある輸送用固定レバーを 🔓 の位置にしてください。 ■ プリントヘッド用固定具が取り付けられていませんか？ ［電源］ボタンを押して電源をオフにしてから、スキャナユニットを開けて、プリントヘッドの横に固定具が取り付けられている場合は、取り外します。
液晶ディスプレイに何も表示されない（電源がオンにならない） 電源ランプ 消灯 液晶ディスプレイ 	■ 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？ 差し込みが浅かったり、斜めになっていないか確認し、しっかりと差し込んでください。また、壁に固定されたコンセントに電源プラグを差し込んでいるか再度確認してください。 ■ コンセントに電源はきていますか？ ほかの電気製品の電源プラグを差し込んで、動作するかどうか確認してください。ほかの電気製品が正常に動作するときは、本製品の故障が考えられます。 ※以上の2点を確認の上で電源ボタンを押しても電源がオンにならない場合は、お買い求めいただいた販売店、またはエプソン修理センターへ修理をご依頼ください。修理センターの所在地、連絡先は、本書97ページをご覧ください。
液晶ディスプレイが暗くなった / 何かが動いている 電源ランプ 点灯 / 点滅 液晶ディスプレイ 	■ スクリーンセーバーが起動しています。 約3分以上操作しないとスクリーンセーバーが起動し、約13分以上操作しないとディスプレイのライトが消灯して真っ暗になります。 ［電源］ボタン以外のボタンを押すと、操作画面に戻ります。
液晶ディスプレイの明るさを調整したい	■ 操作パネルで、ディスプレイの明るさを調整することができます。 1. ［各種設定］ボタンを押します。 2. 各種設定メニュー の［液晶明るさ調整］を選択して、［OK］ボタンを押します。 3. ［◀］［▶］ボタンで、もっともきれいに見える明るさに調整して、［OK］ボタンを押します。

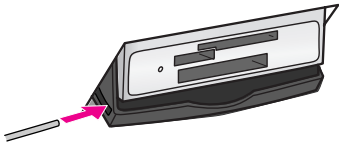
液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されている

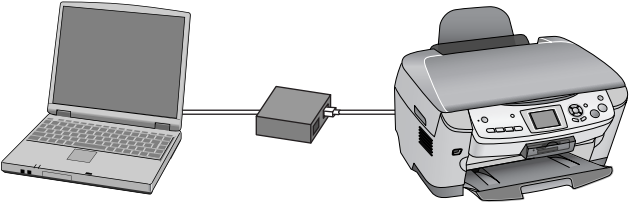
本製品がエラー状態になったときには、液晶ディスプレイにメッセージが表示されます。
エラー発生時に表示されるメッセージと、その対処は下表の通りです。

トラブル状態	対処方法
排紙トレイが閉じています。 開いてから印刷を実行してください。	対処：排紙トレイを開いて OK ボタンを押してから、印刷し直してください。
XX のインクカートリッジ を認識できませんでした。 正しくセットしてください。純正品のご使用をお勧めします。	内容：インクカートリッジに問題が発生しました。 対処：新しいインクカートリッジに交換してください。 本書 71 ページ「インク残量の確認とインクカートリッジの交換」
（インクの色） インクがなくなりました。 OK ボタンを押して、交換してください。	内容：に表示された色のインクがなくなりました。 対処：OK ボタンを押すとプリントヘッドがインクカートリッジ交換位置に移動しますので、スキャナユニットを開けてインクカートリッジを交換ください。 本書 72 ページ「インクがなくなったときのインクカートリッジの交換方法」
スキャナエラーが発生しました。 マニュアルをご覧ください。	内容：スキャナ部で次のようなエラーが発生しました。 • 輸送用固定レバーがロックされています。 • 蛍光ランプの交換が必要です。 • 本製品が故障しています。 対処：電源を一旦オフにし、輸送用固定レバーのロックが解除されているか確認します。 本書 5 ページ「各部の名称と働き」 18 輸送用固定レバー それでもエラーが発生する場合は、お買い求めいただいた販売店、またはエプソン修理センターへ修理をご依頼ください。
用紙が詰まりました。 カラーボタンを押してください。 エラーが解除されない場合は、手で取り出してください。	内容：用紙詰まりです。 対処：カラー ボタンを押します。うまく排紙されない場合には、一旦電源をオフにし詰まっている用紙を手で取り除きます。 取り除けない場合は、無理に取ろうとせず、お買い求めいただいた販売店、またはエプソン修理センターへ修理をご依頼ください。
用紙無しあるいは、給紙ミスです。 用紙をセットして、カラーボタンを押してください。	内容：用紙がセットされていません。 対処：用紙をセットし、カラー ボタンを押します。
プリンタエラーが発生しました。 マニュアルをご覧ください。	内容：プリンタ内部のエラーが発生しました。 対処：一旦電源をオフにした後、再度電源をオンにしてください。それでもエラーが解除されない場合は、電源をオフにして、プリンタ内部に異物（輸送用の保護材、用紙など）が入っていないかを確認し、電源をオンにしてください。
認識できませんでした。 写真を正しくセットしてください。詳しくは、マニュアルをご覧ください。	内容：セットされている写真を認識できませんでした。 対処：原稿台にセットする写真の位置を確認してください。 本書 23 ページ「写真コピー（L 判 /2L 判）」
認識できませんでした。 フィルムを正しくセットしてください。詳しくは、マニュアルをご覧ください。	内容：セットされているフィルムを認識できませんでした。 対処：フィルムが正しくセットされているか確認してください。 本書 41 ページ「フィルムのセット方法」
XXX モジュールでエラーが発生しました。 モジュールを一旦取り外し、装着し直してください。	内容：XXXに表示されている別売のBluetoothユニットまたは赤外線通信カードでエラーが発生しました。 対処：電源をオフにして、Bluetoothユニットまたは赤外線通信カードをセットし直してください。
プリンタ内部の部品調整が必要です。お買い上げの販売店、またはエプソンの修理窓口にご連絡ください。	内容：廃インク吸収パットの吸収量が限界に達しました。 ※廃インク吸収パットは、クリーニング時や印刷中に排出される廃インクを吸収する部品です。 対処：お客様ご自身による交換はできません。お買い求めいただいた販売店、またはエプソン修理センターへ廃インク吸収パットの交換をご依頼ください。

用紙のセット時、紙送りのトラブル

<table>
<tr><th>トラブル状態</th><th>対処方法</th></tr>
<tr><td>斜めに給紙される / うまく給紙できない</td><td>■ 用紙のセット方法は正しいですか？
本製品で使用できない用紙をお使いではありませんか？用紙のセット方法や、用紙ごとの取り扱い注意事項をご確認ください。
本書 7 ページ「印刷用紙のセット方法」
本書 90 ページ「使用できる用紙の種類と印刷時の注意」
特に、用紙のセット時は、必ずエッジガイドを用紙の側面に合わせてください。

■ 本製品は水平な場所に設置されていますか？また、一般の室温環境下に設置されていますか？
設置場所が水平でなかったり、設置場所と本製品の間に何か物が挟まれていたり、本製品底面のゴム製の脚が台からはみ出ていたりすると、内部機構に無理な力がかかって本製品が歪み、印刷や給紙に悪影響を及ぼします。一見すると水平に見える場所でも実際は設置面が歪んでいることもあり、このような場所に設置した場合にも同様の症状が現れることがあります。設置面が水平であること、すべての脚が正しく設置していることをご確認ください。
また、一般の室温環境下（室温：15～25 度、湿度：40～60%）以外で使用した場合にも、専用紙や専用ハガキを正常に紙送りできない場合があります。</td></tr>
<tr><td>用紙が詰まった</td><td>■ 液晶ディスプレイの表示に従い、カラー ボタンを押しても排紙されない場合は、一旦電源をオフにしてから内部を確認してください。
スキャナユニットを開けて、詰まっている用紙をゆっくりと引き抜きます。詰まっている用紙をすべて取り除けたら、スキャナユニットを閉めて、電源をオンにします。

注意
用紙が切れて本製品内部に残り、取れなくなってしまった場合は、無理に取ろうとしたり本製品を分解したりせずに、お買い求めいただいた販売店、またはエプソン修理センターへ修理をご依頼ください。</td></tr>
</table>

印刷結果のトラブル

トラブル状態	対処方法
印刷品質が悪い ・かすれる、スジや線が入る ・シマシマになる ・ぼやける、文字がずれる ・色合いがおかしい ・印刷されない色がある ・印刷にムラがある	**■ プリントヘッドのノズルが目詰まりしていませんか？** ノズルチェックでプリントヘッドの状態をご確認ください。 本書68ページ「ノズルチェックパターンの印刷」 正常： ノズルは目詰まりしていません。 異常： ノズルが目詰まりしています。 **■ インクカートリッジは推奨品（当社純正品）をお使いですか？** 本製品のプリンタドライバは、純正インクカートリッジを前提に色調整されていますので、純正品以外を使うと印刷がかすれる場合があります。また、インク残量を検出できない場合もあります。インクカートリッジは純正品のご使用をお勧めします。 本書71ページ「インク残量の確認とインクカートリッジの交換」 **■ 古くなったインクカートリッジを使用していませんか？** 古くなったインクカートリッジを使用すると印刷品質が悪くなります。開封後は6ヵ月以内に使い切ってください。未開封の推奨使用期限は、インクカートリッジの個装箱に記載してあります。 **■ 双方向印刷時のプリントヘッドのギャップがずれていませんか？** プリンタは高速で印刷するために、プリントヘッドが左右どちらに移動するときにもインクを吐出しています。この印刷方式を「双方向印刷」と呼びます。この双方向印刷をしているときに、まれに、右から左へ移動するときの印刷位置と左から右へ移動するときの印刷位置がずれて、縦の罫線がずれたり、ぼやけたような印刷結果になる場合があります。ギャップ調整機能を使って、ギャップのズレをご確認ください。 本書70ページ「プリントヘッドのギャップ調整」 **■ 使用した用紙の種類と、操作パネルで設定した用紙タイプは同じですか？** 実際に使用する用紙の種類と、操作パネルで設定する［用紙タイプ］の設定が合っていないと、印刷品質に影響を及ぼします。使用する用紙の種類と、操作パネルの［用紙タイプ］を合わせてください。 **■ 写真などを普通紙に印刷していませんか？** カラー画像やグラフィックスなど、文字に比べ印刷面積の大きい原稿を普通紙に印刷すると、インクがにじむことがあります。カラー画像などを印刷するときや、より良い品質で印刷するためには、専用紙のご使用をお勧めします。

トラブル状態	対処方法
印刷面がこすれる / 汚れる 	**■ 本製品の内部が汚れていませんか？** 本製品の内部がインクで汚れていたりすると、用紙に汚れが付着し、印刷結果を汚すおそれがあります。以下のコピー操作によりクリーニングしてください。 1. 汚れてもよい用紙（普通紙など）をセットします。 2. 原稿台のガラス面と保護マットに汚れがないかを確認します。 3. 原稿台に原稿をセットせずに、コピーを実行します。 本書 8 ページ「コピーしてみよう」 ※用紙にインクの汚れが付かなくなるまで、1 ～ 3 の手順を繰り返してください。 **■ ［フチなし］設定時に、フチなし印刷推奨の用紙をお使いになりましたか？** 四辺フチなし印刷を行う場合は、下記の用紙をお使いになることをお勧めします。下記以外の用紙では、プリントヘッドがこすれて印刷結果が汚れる場合があります。 • フォトマット紙 • L 判 /2L 判の写真用紙＜絹目調＞、写真用紙＜光沢＞ • ハガキサイズの専用紙、郵便ハガキ **■ 仕様外の厚い用紙を使用していませんか？** 本製品で使用できるエプソン製専用紙以外の用紙の厚さは、0.08 ～ 0.27mm です。この規格以上の用紙を使用すると、プリントヘッドが印刷面をこすって、印刷結果が汚れる場合があります。仕様に合った用紙をご使用ください。 **■ 反りのある用紙や、用紙の端面にバリ（用紙の断裁のときに出る「かえり」）のある用紙を使用していませんか？** 反りのある用紙や、用紙の端面にバリ（用紙の裁断のときに出る「かえり」）のある用紙に印刷すると、用紙の端がプリントヘッドをこすってしまうことがあります。用紙の反りやバリを取ってから、本製品にセットしてください。 **■ 用紙を横方向にセットしていませんか？** 用紙は、縦方向にセットしてください（往復ハガキのみ横方向）。 横方向にセットした場合、プリントヘッドが印刷面をこする場合があります。 **■ 専用紙に印刷後、すぐに重ねていませんか？** 専用紙（特に写真用紙）は普通紙などと比較してインクの乾きが遅いため、印刷直後に手や別の用紙などが印刷面に触れると、汚れる場合があります。 印刷直後は印刷面に触れないように、排紙トレイから 1 枚ずつ取り去って十分に乾かしてください。 本書 93 ページ「印刷物（印刷後）の取り扱い」
画像内のピントがあっていない部分に、不自然な階調が生じる	**■ メモリカードからの写真プリント時に不自然な階調が生じた場合は、「こだわり印刷」の中の［印刷設定］画面で、［自動調整］の項目を［なし］に設定して印刷をお試しください。** 不自然な階調が軽減される場合があります。 本書 30 ページ「印刷設定」

<table>
<tr><th>トラブル状態</th><th>対処方法</th></tr>
<tr><td>印刷位置がずれる / はみ出す</td><td>
■ 使用した用紙のサイズと、操作パネルで設定した用紙サイズは同じですか？
実際に使用する用紙のサイズと、操作パネルで設定する［用紙サイズ］を合わせてください。

■ 用紙とエッジガイドの間に、すき間はありませんか？また、用紙が曲がってセットされていませんか？
一旦用紙を取り出してから、用紙をまっすぐにセットし、エッジガイドを用紙の側面に合わせてください。
</td></tr>
<tr><td>写真がきれいに印刷できない

・モザイクがかかったように印刷される
・印刷の目が粗い（ギザギザしている）</td><td>
■ 写真データの画像サイズが印刷サイズに適していますか？
デジタルカメラで撮影した写真データは、細かい点（画素）の集まりで構成されています。同じサイズの用紙に印刷する場合には、この画素数が多いほど、なめらかで高画質な印刷ができます。また、印刷サイズが大きくなればなるほど画素数の多い画像データが必要になります。画像サイズに適した印刷サイズは以下の通りです。
<table>
<tr><th rowspan="2">デジタルカメラの画素数</th><th rowspan="2">標準的な画像サイズ（ピクセル）</th><th colspan="4">印刷サイズの目安</th></tr>
<tr><th>L 判</th><th>2L 判</th><th>B5</th><th>A4</th></tr>
<tr><td>約 30 万画素</td><td>640 × 480</td><td>○</td><td>△</td><td>△</td><td>△</td></tr>
<tr><td>約 48 万画素</td><td>800 × 600</td><td>○</td><td>△</td><td>△</td><td>△</td></tr>
<tr><td>約 80 万画素</td><td>1024 × 768</td><td>◎</td><td>○</td><td>△</td><td>△</td></tr>
<tr><td>約 130 万画素</td><td>1280 × 1024</td><td>◎</td><td>◎</td><td>○</td><td>△</td></tr>
<tr><td>約 200 万画素</td><td>1600 × 1200</td><td>◎</td><td>◎</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>約 300 万画素</td><td>2048 × 1536</td><td>◎</td><td>◎</td><td>◎</td><td>○</td></tr>
<tr><td>約 400 万画素</td><td>2240 × 1680</td><td>◎</td><td>◎</td><td>◎</td><td>◎</td></tr>
<tr><td>約 500 万画素</td><td>2560 × 1920</td><td>□</td><td>◎</td><td>◎</td><td>◎</td></tr>
</table>
△：画素数が少なく、良好な印刷結果が得られない。
○：やや画素数が少ないが、良好な印刷結果が得られる。
◎：必要十分な画素数があり、高い印刷結果が得られる。
□：やや画素数が多いが、高い印刷結果が得られる。
</td></tr>
<tr><td>フチなし印刷ができない</td><td>
■ 印刷時の設定で、フチなし印刷をするように設定しましたか？
操作パネルで、レイアウトの設定を［フチなし］に設定して印刷してください。
■ 規格サイズ(※)よりも長さが短い用紙を使っていませんか？
規格サイズよりも長さが約3mm以上短い用紙をお使いになると、本製品は用紙下端に3mm程度の余白を残して印刷を終了します。規格サイズの用紙をお使いください。
※ A4：210 × 297mm / ハガキ：100 × 148mm / L 判：89 × 127mm / 2L 判：127 × 178mm
</td></tr>
<tr><td>フチなし印刷すると、写真の一部がはみ出す</td><td>
■ フチなし印刷は、原稿や写真データを用紙サイズより少し拡大し、はみ出させて印刷します。
本番の印刷前に試し印刷することをお勧めします。
なお、パソコンからプリンタドライバを使って印刷すると、はみ出し量の設定ができます。
</td></tr>
<tr><td>フィルムから写真プリントすると、写真の一部が印刷されない（周りが欠けてしまう）</td><td>
■ フィルム印刷は、フィルム画像より一回り小さい範囲がスキャンされ、そのスキャンデータが印刷されます。
フチなし印刷の場合は、スキャンした画像を少し拡大して印刷するため、画像の周りがさらに欠けてしまいます。パソコンと接続すると、スキャナドライバのホームモードまたはプロフェッショナルモードで取り込み領域を指定してスキャンすることができます。
</td></tr>
</table>

原稿/メモリカード/フィルムのセット時、スキャン結果のトラブル

トラブル状態	対処方法
原稿台より大きい原稿をセットしたい（原稿カバーが邪魔になる）	■ 原稿台より大きな原稿や厚い本などをセットするときは、原稿カバーを取り外します。 本書 14 ページ 手順 3 「こんなときは」
メモリカードがメモリカードカバーの中に入ってしまった	■ カバーの横から棒などを差し込んで、メモリカードを取り出してください。
メモリカードにデータを保存しようとしたとき、「フォーマットしますか？」と表示されたら インフォメーション メモリカードあるいは、 メディアを認識できません。 フォーマットしますか？ [OK]：決定 / [キャンセル]：戻る	■ セットしたメモリカードがフォーマット（初期化）されていない場合、または認識できないフォーマットの場合に表示されます。 画面の指示に従ってフォーマットしてください。メモリカードをフォーマットすると、すべてのデータが削除されます。
フィルムのセット時に、蛍光ランプが消えない	■ フィルムのスキャンが終了した後も、原稿カバー裏のランプがしばらく点灯しています。 ウォーミングアップの時間を短縮するため、しばらくランプが点灯しています。特に問題ありませんので、そのままでお使いください。
フィルムが正しく認識されない、きれいにスキャンできない	■ 保護マットを外していますか？ フィルムをスキャンする場合は、必ず保護マットを取り外してください。 本書 39 ページ「フィルムスキャンの事前準備」 ■ フィルムを正しくセットしていますか？ フィルムホルダにフィルムを正しくセットしてください。 また、原稿台の正しい位置に、フィルムホルダをセットしてください。 本書 41 ページ「フィルムのセット方法」 ■ 極端に暗い（または明るい）画像をセットしていませんか？ フィルムの濃淡によっては思った通りの画像を取り込めない場合があります。その場合は、本製品をパソコンと接続して、パソコンからスキャナドライバを使って取り込んでください。 詳しくは『PM-A870 電子マニュアル』の「スキャナ編」をご覧ください。

パソコンと接続時のトラブル

トラブル状態	対処方法
印刷 / スキャンができない • パソコンから印刷ができない • パソコンからスキャンができない • インストールを失敗した	■ USB ケーブルは正しく接続されていますか？ USB ケーブルがしっかりと接続されているかをご確認ください。 ■ USB ハブをお使いの場合に、使い方は正しいですか？ USB ハブは仕様上 5 段まで縦列接続できますが、本製品と接続する場合は、パソコンに直接接続された 1 段目のハブに接続してください。それでも印刷 / スキャンができない場合は、USB ハブを外して、本製品とパソコンを直結してください。 ■ ハードディスクの空き容量やメモリの空き容量などが少ないと、ソフトウェアがインストールできないため、使用できない場合があります。 電子マニュアルをご覧のうえ、必要なシステム条件を満たしているか確認してください。 『PM-A870 電子マニュアル』－「システム条件」 ■ スキャナドライバは正常にインストールされていますか？ パソコンからスキャンする場合は、スキャナドライバ（EPSON Scan）がインストールされている必要があります。インストール状態を確認してください。 本書 84 ページ「スキャナドライバのインストール状態を確認（Windows）」 ■ プリンタドライバは正常にインストールされていますか？ パソコンから印刷する場合は、プリンタドライバがインストールされている必要があります。インストール状態を確認してください。 本書 85 ページ「プリンタドライバのインストール状態を確認（Windows）」

スキャナドライバのインストール状態を確認（Windows）

アプリケーションソフトのスキャナの一覧やコントロールパネルに本製品が表示されないときにご覧ください。

1 USB ケーブルをパソコンにしっかりと接続し、本製品の電源をオンにします。

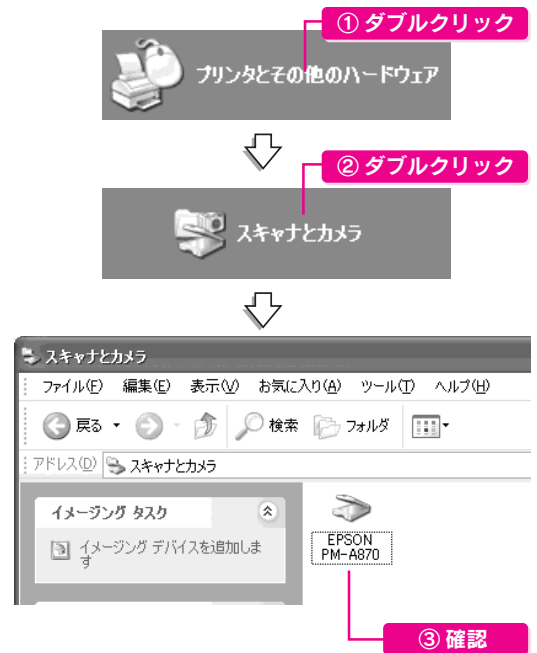
電源がオンになっていないと、スキャナとして認識されません。

2 ［コントロールパネル］画面を開きます。

Windows XP：［スタート］-［コントロールパネル］の順でクリックします。

Windows XP 以外：［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］の順でクリックします。

3 ［スキャナとカメラ］を開き、PM-A870のアイコンがあるかを確認します。

Windows XP 以外の場合は、［スキャナとカメラ］アイコンをダブルクリックします。

［PM-A870］のアイコンがある

スキャナドライバ（EPSON Scan）は正常にインストールされています。

もう一度、原稿の読み取りを実行してみてください。
本書 50 ページ「スキャンする」

［PM-A870］のアイコンがない

スキャナドライバ（EPSON Scan）が正常にインストールされていません。

スキャナドライバ（EPSON Scan）をインストールし直してください。
本書 87 ページ「ドライバの再インストール」

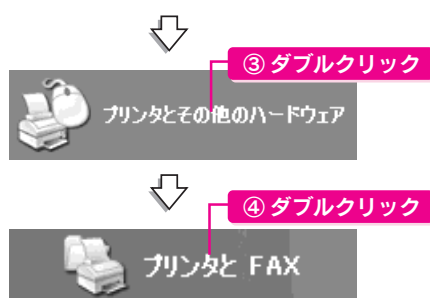
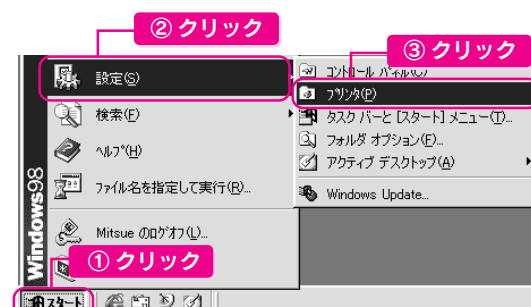
プリンタドライバのインストール状態を確認（Windows）

Windows環境でお使いの場合には、プリンタドライバ（印刷を行うために必要なソフトウェア）が正しくインストールされていない、または印刷先のポートが正しく設定されていない可能性があります。
以下の手順でプリンタドライバのインストール状態と、ポートの設定状態を確認してください。

①プリンタドライバのアイコンを確認

1 USBケーブルをパソコンにしっかりと接続し、本製品の電源をオンにします。

2 ［プリンタとFAX］または［プリンタ］フォルダを開きます。

Windows XPの場合：
［スタート］-［コントロールパネル］の順にクリックして、［プリンタとその他のハードウェア］をクリックして、［プリンタとFAX］をクリックします。

Windows 98/Me/2000の場合：
［スタート］-［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。

3 ［PM-A870］のアイコンがあるかを確認します。

［PM-A870］のアイコンがある

プリンタドライバは正常にインストールされています。

次ページの「印刷先のポートの設定を確認」をご覧のうえ、印刷先ポートの設定を確認してください。
☞本書86ページ「②印刷先のポートの設定を確認」

［PM-A870］のアイコンがない

プリンタドライバが正常にインストールされていません。

「ドライバの再インストール」をご覧のうえ、プリンタドライバをインストールし直してください。
☞本書87ページ「ドライバの再インストール」

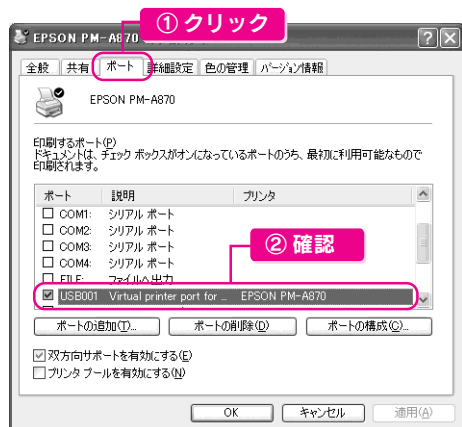
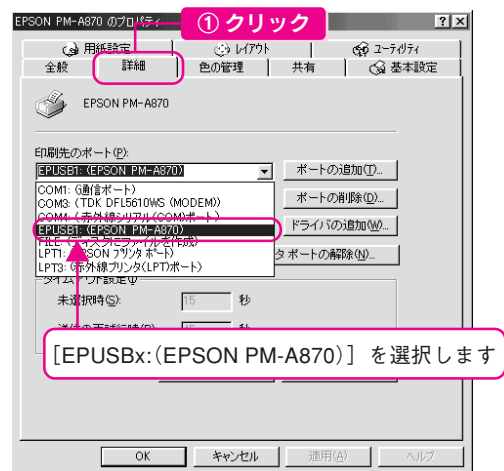
②印刷先のポートの設定を確認

1 PM-A870 のアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。

Windows 2000/XP の場合：

Windows 98/Me の場合：

2 ポートの設定を確認します。

Windows 2000/XP の場合：
［ポート］タブをクリックし、［USBxxx EPSON PM-A870］（x には数字が入ります）が選択されていることを確認します。

Windows 98/Me の場合：
［詳細］タブをクリックし、［EPUSBx:（EPSON PM-A870)］（x には数字が入ります）が選択されていることを確認します。

3 USB以外のポートが選択されている場合は、［USB］と［EPSON PM-A870］が表示されているポートを選択して設定し直します。

［ポートの追加］によるポートの設定は行わないでください。

4 印刷ができるかどうかを確認します。

印刷ができなかった場合は、次ページの「ドライバの再インストール」をご覧のうえ、プリンタドライバを削除してから、再度インストールし直してください。

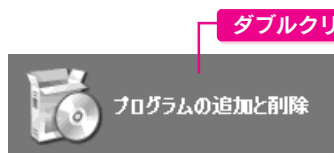
ドライバの再インストール

プリンタドライバ/スキャナドライバの削除方法

1 本製品の電源をオフにして、USBケーブルを取り外します。

2 起動しているアプリケーションソフトをすべて終了します。

3 [スタート] - [コントロールパネル]（Windows 98/Me/2000では[スタート] - [設定] - [コントロールパネル]）の順にクリックします。

4 [プログラムの追加と削除]をクリック（Windows 98/Me/2000では[アプリケーションの追加と削除]をダブルクリック）します。

5 [プログラムの変更と削除]をクリックし、プリンタドライバを削除する場合は[EPSON プリンタドライバユーティリティ]を選択、スキャナドライバを削除する場合は[EPSON Scan]を選択して[変更/削除]（Windows 98/Me/2000では[追加と削除]）をクリックします。

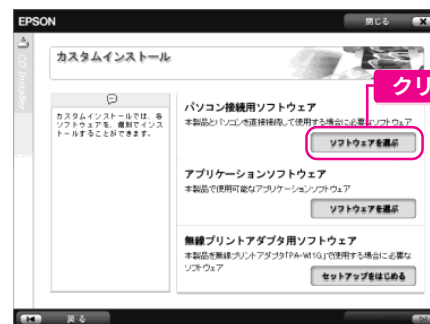
この後は画面の指示に従い、ドライバの削除を実行します。削除が完了したら、再度ドライバをインストールし直します。

プリンタドライバ/スキャナドライバのインストール方法

1 本製品の電源をオフにしたまま、USBケーブルをパソコンに接続します。

2 『ソフトウェアCD-ROM』をパソコンにセットします。

3 以下の画面が表示されますので、「カスタムインストール」を選択します。

4 「パソコン接続用ソフトウェア」を選択します。

5 [EPSON Scan]または[プリンタドライバ]をインストールします。

画面の指示に従ってインストールを進めてください。

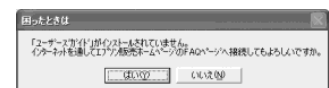
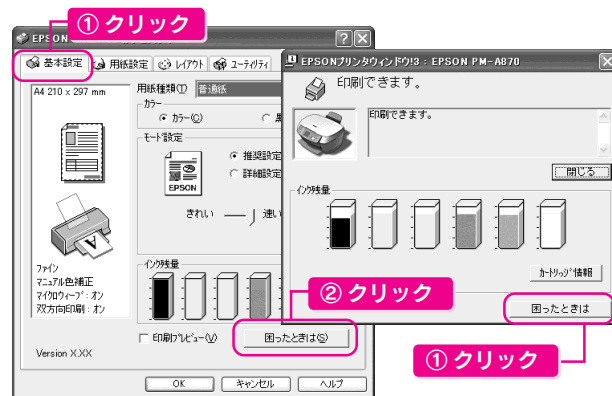
トラブルが解決しないときは

本製品をパソコンと接続して使用している場合は、『PM-A870 電子マニュアル』をご覧ください

ドライバと同時にインストールされた『PM-A870電子マニュアル』の「トラブル対処方法」には、本書に載っていないトラブルの対処方法が記載されています。

本書 46 ページ「電子マニュアルの見方」

Windows をお使いの場合は

以下の画面からも、『PM-A870 電子マニュアル』の「トラブル対処方法」を表示させることができます。

『PM-A870電子マニュアル』がインストールされていない場合は、右のメッセージが表示されます。［はい］ボタンをクリックすると、インターネットを通してエプソンのホームページへ接続します。

インターネットに接続できる場合は、インターネット FAQ をご覧ください

『PM-A870 電子マニュアル』をご覧いただいても問題が解決しない、ちょっとわからないことがある。こんなときに、お客様の環境がインターネットに接続できる場合は、インターネット FAQ をお勧めします。
エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容を FAQ としてホームページに掲載しております。
ぜひご活用ください。< http://www.i-love-epson.co.jp/faq >
上記『PM-A870 電子マニュアル』の「インターネット FAQ のご案内」からも接続できます。

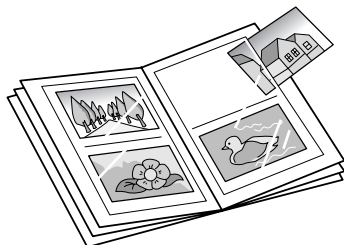
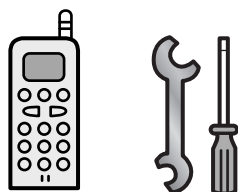
本体が故障していないかをご確認の上、お問い合わせください

動作確認の方法、お問い合わせ先は、以下のページをご覧ください。

本書 94 ページ「サービス・サポートのご案内」

この章のもくじ

使用できる用紙の種類と印刷時の注意 90

印刷物（印刷後）の取り扱い 93

サービス・サポートのご案内 94

製品仕様 99

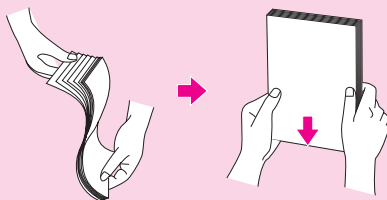
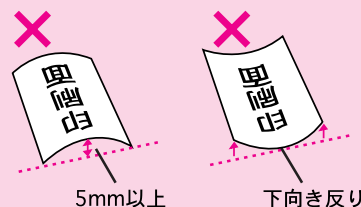
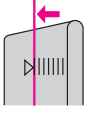
索引 101

操作パネルの設定早見表 103

使用できる用紙の種類と印刷時の注意

本製品で使用できる用紙の種類と印刷時の注意について説明します。

用紙の紹介と印刷時の注意

- 用紙の取り扱い上の注意については、用紙の取扱説明書をご確認ください。
- 一般の室温環境下（温度 15 ～ 25℃、湿度 40 ～ 60％）で使用してください。
- 丸まっていたり、しわ、毛羽立ち、破れなどがある用紙は使用しないでください。
- ルーズリーフ用紙やバインダ用紙などの穴の空いている用紙は使用しないでください。
- 再生紙は紙質によってはにじむことがありますので、試し印刷をしてから購入されることをお勧めします。
- 封筒に印刷する場合の注意事項については、『電子マニュアル』をご覧ください。
- 用紙は、必ず縦方向にセットしてください（往復ハガキのみ横方向にセットします）。
- 写真用紙以外の用紙を複数枚セットする場合は、<図 1 >のようによくさばいて、整えてからセットしてください。
- 写真用紙<絹目調>はがき以外のハガキをセットする場合は、反りを修正して平らにしてください。<図 2 >のように 5mm 以上反っているハガキや下向きに反っている（両端が浮いている）ハガキは、セットしないでください。セットすると印刷面が汚れる、正常に給排紙されないなどの原因になるおそれがあります。

エプソン製専用紙

	用紙名称	特長	サイズ / 型番	セット可能枚数
写真用紙	写真用紙<光沢>	長期間色あせにくい高品質な写真を印刷できます。つややかに仕上がるのでデジタルカメラで撮った記念写真などをアルバムに入れたり、フォトフレームに入れて飾ったりと、まさに写真として使えます。	L 判　： KL20PSK（20 枚入り） KL50PSK（50 枚入り） KL100PSK（100 枚入り） KL200PSK（200 枚入り） KL300PSK（300 枚入り）	20 枚
			2L 判　： K2L20PSK（20 枚入り） K2L50PSK（50 枚入り）	
			A4　： KA420PSK（20 枚入り） KA450PSK（50 枚入り） KA4100PSK（100 枚入り） KA4250PSKN（250枚入り）	1 枚
			六切　： K6G50PSK（50 枚入り）	
	写真用紙<光沢 EG >	写真用紙<光沢>より若干厚さが薄い用紙です。大容量のボリュームパックで単価が抑えられていますので、大量の写真も安心して印刷できます。 ※写真用紙<光沢>とは若干色味が異なる場合があります。	L 判　： KL200SKEG（200 枚入り） KL300SKEG（300 枚入り）	20 枚

用紙名称		特長	サイズ / 型番	セット可能枚数
写真用紙	写真用紙＜絹目調＞	長期間色あせにくい高品質な写真を印刷できる光沢感を抑えた写真用紙です。 アルバムやフォトフレームに入れて飾ったりと、幅広い使い方ができます。	L判　: KL20MSH（20枚入り） KL100MSH（100枚入り） 2L判　: K2L20MSH（20枚入り） K2L50MSH（50枚入り） A4　: KA420MSH（20枚入り）	20枚
	写真用紙＜絹目調＞はがき		ハガキ　: KH20MSH（20枚入り）	
光沢紙	光沢紙	デジタルカメラで撮った写真やCGなどの作品を印刷するのに適した厚口タイプの光沢紙です。	A4　: KA420GP（20枚入り） KA450GP（50枚入り） KA4100GP（100枚入り）	20枚
マット紙	フォトマット紙	厚みのある非光沢の写真用紙です。 落ち着いた質感が得られます。	A4　: KA450PM（50枚入り）	20枚
	スーパーファイン紙	デジタルカメラで撮影した写真やCG作品写真 / グラフ入りの文書の印刷に適した専用紙です。	A4　: KA4100NSF（100枚入り） KA4250NSF（250枚入り）	エッジガイドの▼マークまで
普通紙	両面上質普通紙＜再生紙＞	インクジェット用の両面普通紙です。 両面に印刷してもあまり裏写りしません。 古紙100%配合再生紙です。	A4　: KA4250NPD（250枚入り）	
特殊用紙（バラエティ用紙）	ミニフォトシール	小さなシールを作ることのできる用紙です。 6面レイアウト（面付け）で印刷してください。	ハガキ　: MJHSP5（5枚入り）	1枚 「給紙補助シートA/B」を下に敷いてセットしてください
	アイロンプリントペーパー	印刷した写真を、衣類（綿100%または50%以上の混紡）に転写することができる用紙です。オリジナルのTシャツなどが作れます。	A4　: MJTRSP1（5枚入り）	1枚
	フォト光沢名刺カード	四辺フチなし印刷で、名刺サイズのカードが作れる用紙です。	A4　: KNC10PP（10枚入り）	1枚
	スーパーファイン専用ラベルシート	オリジナルのステッカーを作ることのできる裏面糊付きのラベル用紙です。	A4　: MJASP5（10枚入り）	1枚
	スーパーファイン専用ハガキ	デジタルカメラで撮影した写真入りのハガキ印刷に適した光沢のないハガキです。	ハガキ　: MJSP5（50枚入り）	50枚
	フォト・クォリティ・カード2	デジタルカメラで撮った写真やイラストを使ったハガキの印刷に適した色あせにくい光沢ハガキです。	ハガキ　: PMHSP1（20枚入り）	20枚

市販の用紙

用紙名称	サイズ	セット可能枚数	備考
事務用普通紙 コピー用紙	A4 B5	エッジガイドの▼マークまで	坪量64～90g/m²、厚さ0.08～0.11mmの範囲のものをご使用ください。
郵便ハガキ（再生紙）※ 郵便ハガキ（インクジェット紙）※	ハガキ	50枚	写真を貼り付けたハガキや、シールなどを貼ったハガキは使用しないでください。
往復郵便ハガキ※	往復ハガキ	50枚	中央に折り目のないものをお使いください。
封筒	長形3号/4号 洋形1号/2号/3号/4号	10枚	• 長形封筒は、フラップ（封の部分）を折り曲げずにお使いください。 • 洋形封筒は、フラップ（封の部分）を折った状態でセットします。

※日本郵政公社製。

機能別　使用できる用紙 / 使用できない用紙

○　：使用できます（レイアウトなどの設定の組み合わせによっては使用できません）。
×　：使用できません
下段：操作パネルの［用紙タイプ］設定値。
　パソコンから印刷する場合の［用紙タイプ］の設定については、『PM-A870 電子マニュアル』をご覧ください。

	用紙名称	用紙サイズ	コピー	メモリカード印刷	フィルム印刷	パソコンから印刷
写真用紙	写真用紙＜光沢＞	Ｌ判 /2Ｌ判 A4/ 六切	○ 写真用紙	○ 写真用紙	○ 写真用紙	○
	写真用紙＜光沢 EG ＞	Ｌ判				
	写真用紙＜絹目調＞	Ｌ判 /2Ｌ判 A4				
	写真用紙＜絹目調＞はがき	ハガキ				
光沢紙	光沢紙	A4	○ 光沢紙	○ 光沢紙	○ 光沢紙	○
マット紙	フォトマット紙	A4	○ フォトマット紙	○ フォトマット紙	○ フォトマット紙	○
	スーパーファイン紙	A4	○ スーパーファイン紙	×	×	○
普通紙	両面上質普通紙＜再生紙＞	A4	○ 普通紙	○ 普通紙	○ 普通紙	○
特殊用紙（バラエティ用紙）	ミニフォトシール	ハガキ	○ ミニフォトシール	○ ミニフォトシール	×	○
	アイロンプリントペーパー	A4	○ アイロンプリント紙	○ アイロンプリント紙	×	○
	フォト光沢名刺カード	A4	○ 光沢名刺カード	○ 光沢名刺カード	×	○
	スーパーファイン専用ラベルシート	A4	○ スーパーファイン紙	×	×	○
	スーパーファイン専用ハガキ	ハガキ	×	×	×	○
	フォト・クォリティ・カード2	ハガキ	○ 光沢紙	○ 光沢紙	○ 光沢紙	○
市販の用紙	事務用普通紙	A4/B5	○ 普通紙	○（A4 のみ） 普通紙	○（A4 のみ） 普通紙	○
	郵便ハガキ（再生紙）	ハガキ	○ 郵便ハガキ	○ 郵便ハガキ	○ 郵便ハガキ	○
	郵便ハガキ （インクジェット紙）	ハガキ	○ 通信面: 郵便Jハガキ 宛名面:郵便ハガキ	○ 通信面: 郵便Jハガキ 宛名面:郵便ハガキ	○ 通信面: 郵便Jハガキ 宛名面:郵便ハガキ	○
	往復郵便ハガキ	往復ハガキ	×	×	×	○
	封筒	長形３号 /4 号 洋形１号 /2 号 3 号 /4 号	×	×	×	○

印刷物（印刷後）の取り扱い

印刷後は、変色を防ぐために以下の内容を参考にして正しい展示・保存を行ってください。正しい展示・保存を行うことによって、印刷直後の色合いを長期間保つことができます。

補足情報

- 一般的に印刷物や写真などは、空気中に含まれるさまざまな成分や光の影響などで退色（変色）していきます。エプソン製専用紙も同様ですが、保存方法に注意することで、変色の度合いを低く抑えることができます。
- 各専用紙の取り扱い方法は、専用紙のパッケージに添付されている取扱説明書をご覧ください。

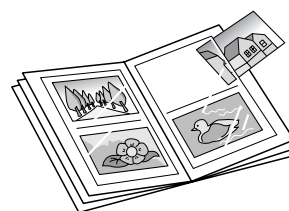
乾燥方法

乾燥していない状態でアルバムなどに保存するとにじみが発生することがありますので、印刷後は印刷面が重ならないように注意して、十分に乾燥させてください。すべての印刷物を広げて乾燥させるスペースがない場合は、重ねて乾燥させることも可能ですが、その場合はまず、それぞれを 15 分程度乾燥させた後、必ず吸湿性のあるコピー用紙などを 1 枚ずつ印刷面に挟んで乾燥させてください。

- ドライヤーなどを使用して乾燥させないでください。
- 直射日光に当てないでください。

保存・展示方法

乾燥後は速やかに保存・展示を行ってください。

- **クリアファイルやアルバムに入れ、暗所で保存**
  光や空気を遮断することで変色の度合いを極めて低く抑える、一番良い保存方法です。

- **ガラス付き額縁に入れて展示**
  空気を遮断する展示方法で、変色の度合いを抑えることができます。

- ガラス付き額縁などに入れた場合も、屋外での展示は避けてください。
- 写真現像室など化学物質がある場所での保存・展示は避けてください。

補足情報

- クリアファイルは、用紙よりも大きいサイズのものをご使用ください。
- ミニフォトシールは、印刷面にシートが密着するタイプのアルバムなどに入れないでください。印刷結果がにじむ場合があります。間紙を挟んでクリアファイルに入れてください。

サービス・サポートのご案内

各種サービス・サポートについて

弊社が行っている各種サービス・サポートについては、以下のページでご案内しています。
本書 97 ページ「本製品に関するお問い合わせ先」

「故障かな？」と思ったら（お問い合わせの前に）

「故障かな？」と思ったときは、あわてずに、まず本書の「困ったときは」、および『PM-A870 電子マニュアル』の「トラブル対処方法」をよくお読みください。そして、接続や設定に間違いがないかを必ず確認してください。それでもトラブルが解決しない場合は、本体が故障していないかご確認のうえ、お問い合わせください。

本体の動作確認方法

コピー機能を使って本体の動作確認をします。パソコンと接続していない状態で実行できるので、本体の動作や印刷機能に問題がないかを確認できます。

1. 本製品の電源をオンにします。
2. オートシートフィーダに用紙をセットします。
3. 原稿台に原稿をセットします。
4. カラー ボタンを押します。
   本書 8 ページ「コピーしてみよう」

コピーができない

故障している可能性があります。
お買い求めいただいた販売店、またはエプソン修理センターへ修理をご依頼ください。
本書 97 ページ「本製品に関するお問い合わせ先」

修理へ出す際は、以下のページをご確認ください。
本書 95 ページ「修理 / アフターサービスについて」
本書 96 ページ「輸送時（引っ越しや修理のとき）のご注意」

コピーができる

カラリオインフォメーションセンターへご相談ください。
本書 97 ページ「本製品に関するお問い合わせ先」

お問い合わせの際は、ご使用の環境（パソコンの型番、アプリケーションソフトの名称やバージョン、その他周辺機器の型番など）と、本製品の名称をご確認の上ご連絡ください。

修理 / アフターサービスについて

保証書について

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。
保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記載漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。
保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

補修用性能部品および消耗品の最低保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の最低保有期間は、製品の製造終了後6年間です。

保守サービスに関しての受け付け窓口

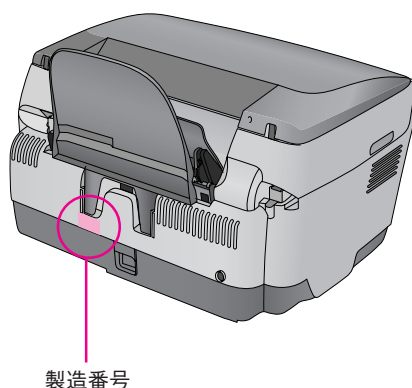
保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。
●お買い求めいただいた販売店
●エプソン修理センター（本書巻末の一覧表をご覧ください）
受付時間：月曜日～金曜日（土日祝祭日・弊社指定の休日を除く）
受付時間：9：00 ～ 17：30

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。
詳細につきましては、お買い求めの販売店またはエプソン修理センターまでお問い合わせください。

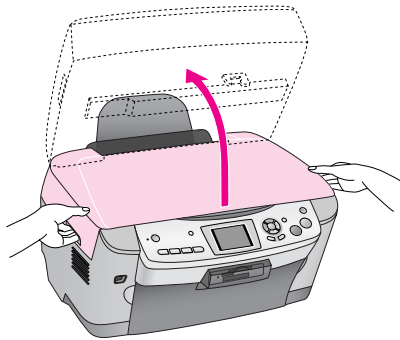
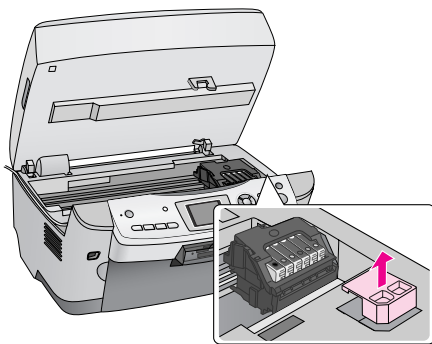
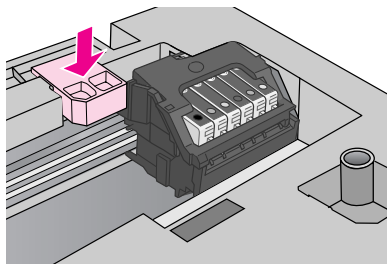
種類	概要	修理代金	
		保証期間内	保証期間外
持込 / 送付修理	故障が発生した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預かりして修理いたします。	無償	基本料＋技術＋部品代 修理完了品をお届けしたときにお支払いください
ドア to ドア サービス	• 指定運送会社がご指定の場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです。 • 保証期間外の場合は、ドアtoドアサービス料金とは別に修理代金が必要となります。	有償 （ドア to ドアサービス料金のみ）	有償 （ドア to ドアサービス料金＋修理代）

製造番号の表示位置

保守サービスなどのお問い合わせの際に製造番号が必要になる場合があります。下図のラベル内容をご確認ください。

輸送時（引っ越しや修理のとき）のご注意

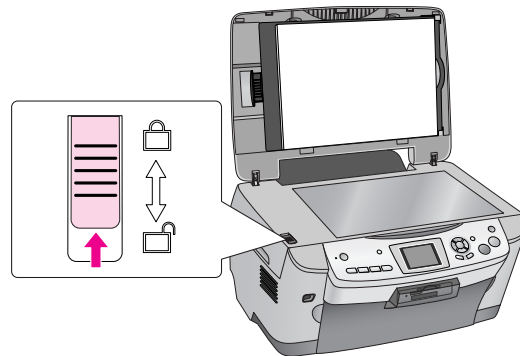
本製品を輸送するときは、衝撃などから守るために、以下の作業を確実に行ってください。

プリントヘッド用固定具の取り付け

1 スキャナユニットを開けます。

2 プリントヘッド用固定具を収納場所から取り出します。

3 プリントヘッド用固定具を取り付けます。

4 スキャナユニットを閉じます。

輸送用固定レバーのロック

1 原稿カバーを開けます。

2 キャリッジの固定レバーをロック側にします。

3 原稿カバーを閉じます。

梱包

1 用紙サポートとフィルムスキャンケーブルを取り外します。

2 電源プラグをコンセントから抜きます。
パソコンと接続している場合は、USB ケーブルをパソコンから外します。

3 梱包材を取り付け、本製品を水平に梱包箱に入れます。

保護材の取り付け時や輸送時には、本製品を傾けたり、立てたり、逆さにしたりせず、水平な状態にしてください。

本製品に関するお問い合わせ先

EPSON

●エプソン販売のホームページ「I Love EPSON」http://www.i-love-epson.co.jp
各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。
インターネットFAQ エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
http://www.i-love-epson.co.jp/faq/

●修理品送付・持ち込み依頼先
お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	TEL
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1-2-3 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス㈱	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563エプソンサービス㈱	0263-86-7660
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス㈱	042-584-8070
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス㈱	092-622-8922
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス㈱	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日　9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
*予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。
*修理について詳しくは、エプソンサービス㈱ホームページhttp://www.epson-service.co.jpでご確認ください。

●ドアtoドアサービスに関するお問い合わせ先
ドアtoドアサービスとはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。＊梱包は業者が行います。
ドアtoドアサービス受付電話　ナビダイヤル 0570ー090ー090　【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
＊ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ㈱の電話サービスの名称です。
＊新電電各社をご利用の場合は、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電会社へご依頼ください。
＊携帯電話・PHS端末・CATVからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、下記の電話番号へお問い合わせください。

受付拠点	引き取り地域	TEL	受付拠点	引き取り地域	TEL
札幌修理センター	北海道全域	011-219-2886	福岡修理センター	中四国・九州全域	092-622-8922
松本修理センター	本州（中国地方を除く）	0263-86-9995	沖縄修理センター	沖縄本島全域	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）※松本修理センターは365日受付可。
＊平日の17:30～20:00および、土日、祝日、弊社指定休日の9:00～20:00の電話受付は0263-86-9995（365日受付可）にて日通諏訪支店で代行いたします。＊ドアtoドアサービスについて詳しくは、エプソンサービス㈱ホームページhttp://www.epson-service.co.jpでご確認ください。

●カラリオインフォメーションセンター　製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

ナビダイヤル 0570ー004116　【受付時間】月～金曜日9:00～20:00　土日祝日10:00～17:00（1月1日、弊社指定休日を除く）

*ナビダイヤルとは、NTTコミュニケーションズ㈱の電話サービスの名称です。
*新電電各社をご利用の場合、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電会社へご依頼ください。
*携帯電話・PHS端末・CATVからはナビダイヤルはご利用いただけません。
*ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、下記の最寄り窓口へお問い合わせください。
札幌（011）222ー7931　仙台（022）214ー7624　東京（042）585ー8555　名古屋（052）202ー9531　大阪（06）6399ー1115
広島（082）240ー0430　福岡（092）452ー3942　【受付時間】月～金曜日9:00～20:00　土日祝日10:00～17:00（1月1日、弊社指定休日を除く）

●FAXインフォメーション　EPSON製品の最新情報をFAXにてお知らせします。
札幌（011）221ー7911　東京（042）585ー8500　名古屋（052）202ー9532　大阪（06）6397ー4359　福岡（092）452ー3305

●スクール（エプソン・デジタル・カレッジ）講習会のご案内
東京　TEL（03）5321-9738　　大阪　TEL（06）6205-2734
【受付時間】月曜日～金曜日9:30～12:00/13:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
*スケジュールなどはホームページでご確認ください。　http://www.i-love-epson.co.jp/school/

●ショールーム　*詳細はホームページでもご確認いただけます。 http://www.i-love-epson.co.jp/square/
エプソンスクエア新宿　〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F
【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
エプソンスクエア御堂筋　〒541-0047 大阪市中央区淡路町3-6-3 NMプラザ御堂筋1F
【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

● MyEPSON
エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンタをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス！	http://myepson.jp/

▶ カンタンな質問に答えて会員登録。

●エプソンディスクサービス
各種ドライバの最新バージョンを郵送でお届け致します。お申込方法・料金など、詳しくは上記FAXインフォメーションの資料でご確認ください。

●消耗品のご購入
お近くのEPSON商品取扱店及びエプソンOAサプライ株式会社（ホームページアドレス http://epson-supply.jp
またはフリーダイヤル0120ー251528）でお買い求めください。

エプソン販売 株式会社　〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階
セイコーエプソン株式会社　〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5

2005. 2（A）

付録

付属のソフトウェアに関するお問い合わせ先

読んde!!ココ パーソナル

エー・アイ・ソフト株式会社
TEL　：03-3376-7440
受付時間　：10：00 ～12：00、13：00 ～17：00
月曜～土曜（祝祭日を除く）
※お問い合わせの際にお客様IDをお尋ねします。あらかじめお客様IDをご確認ください。
FAX　：0263-33-3052
ホームページ　：http://www.aisoft.co.jp/japanese/support/index.asp
※FAX、インターネットでのお問い合わせに対する回答は、月曜～金曜（祝祭日を除く）になります。お答えするまでに多少時間がかかる場合がございますので、ご了承ください。

アルバムプリント for EPSON

株式会社メディア・ナビゲーション　ユーザーサポート係
TEL　：03-5467-1781
受付時間　：10:00～12:00、13:00～16:00
（土曜・日曜・祝日・年末年始[12/30～1/3]を除く）
FAX　：03-5467-1780

上記一覧以外のソフトウェアに関するお問い合わせは、カラリオインフォメーションセンターへお問い合わせください。

製品仕様

技術的な仕様について記載しています。

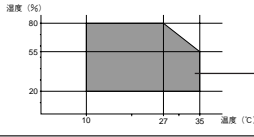
プリンタ部基本仕様

ノズル配列	黒インク：90 ノズル カラー：90 ノズル×5色（シアン、マゼンタ、イエロー、ライトシアン、ライトマゼンタ）
印字方向	双方向最短距離印刷（ロジカルシーキングつき）
解像度	最大 5760※ × 1440dpi（パソコン接続時のみ対応） ※最小 1/5760 インチのドット間隔で印刷します。
紙送り方式	ASF 方式フリクションフィード
入力データバッファ	64KByte
モノクロ印刷モード	普通紙へのモノクロ印刷：黒インクのみ使用 普通紙以外へのモノクロ印刷：カラーインクでの混色黒印刷

スキャナ部基本仕様

走査方式	読み取りヘッド移動による原稿固定読み取り
画像読み取りセンサ	6 ライン CCD（千鳥配列）オンチップマイクロレンズ付
原稿サイズ	A4、US レターまで
最大有効領域	216 × 297mm
最大有効画素	主走査 20400 画素×副走査 28080 画素（2400dpi）
解像度	主走査：2400dpi　副走査：4800dpi
読み取り解像度	50 ～ 6400dpi まで（1dpi 刻みで設定可能）、（12800dpi は 6400dpi × 200%で実現）
階調	16bit（入力）/1、8、16bit（出力）
読み取り時間	• 2400dpi、A4 データ転送時間含まず モノクロ２値：約 13.7 × 10^{-3}sec/line フルカラー：約 13.7 × 10^{-3}sec/line • 600dpi、A4 データ転送時間含まず モノクロ２値：約 4.8 × 10^{-3}sec/line フルカラー：約 4.8 × 10^{-3}sec/line

インク仕様

形態	専用インクカートリッジ
型番	黒インクカートリッジ：ICBK32 カラーインクカートリッジ： ICC32（シアン）：ICM32（マゼンタ）：ICY32（イエロー） ICLC32（ライトシアン）：ICLM32（ライトマゼンタ）
推奨使用期間	個装箱に記載されている期限 開封から6ヵ月以内
保存温度	保存時：－ 30℃～ 40℃（40℃の場合 1ヵ月以内） 本体装着時：－ 20℃～ 40℃（40℃の場合 1 カ月以内）
カートリッジ外形寸法	幅 12.7mm ×奥行き 73.46mm ×高さ 55.25mm

補足情報

- インクは-16℃以下の環境で長時間放置すると凍結します。万一凍結した場合は、室温（25℃）で3時間以上かけて解凍してから使用してください。
- インクカートリッジを分解したり、インクを詰め替えたりしないでください。

電気関係仕様

定格電圧	AC100V
入力電圧範囲	AC90 ～ 110V
定格周波数	50 ～ 60Hz
入力周波数範囲	49.5 ～ 60.5Hz
定格電流	0.8A
消費電力	コピー時：平均約23W（ISO/IEC 10561レターパターン原稿コピー） 低電力モード 時：約 4W
適合規格、規制	国際エネルギースタープログラム、高調波抑制対策ガイドライン、VCCI クラス B に適合

総合仕様

プリントヘッド寿命	30 億ショット（1 ノズルあたり）
温度	動作時：10℃～ 35℃ 保存時：－ 20℃～ 40℃（40℃の場合 1 ヶ月以内）
湿度	動作時：20 ～ 80%（非結露） 保存時：20 ～ 85%（非結露）
	湿度（%） 80 55 20 / 10 27 35 温度（℃） この範囲で使用してください
製品重量	約 10.0kg
製品外形寸法	幅 455.9mm ×奥行き 439.1mm ×高さ 256.0mm（ゴム足、用紙サポート含まず）

USB インターフェイス仕様

規格	Universal Serial Bus Specifications Revision 2.0 Universal Serial Bus Device Class Definition for Printing Device Version1.1（プリンタ部）
転送速度	480Mbps（High Speed Device）
適合コネクタ	USB Series B

入力コネクタにおける信号の配列および信号の説明

ピン番号	信号名	入力 / 出力	機能
1	VCC	－	ケーブル電源、最大電流 2mA
2	-DATA	双方向	データ
3	+DATA	双方向	データ、1.5k Ωの抵抗を経由して +3.3V にプルアップ
4	Ground －	－	ケーブルグラウンド

環境基本仕様

消費電力	連続コピー時：平均約23W（ISO/IEC10561レターパターン原稿） 低電力モード時：約 4W 電源オフ時：約 0.3W ※ 消費電力を0W にするためには、電源ボタンで電源をオフにしてから、電源プラグをコンセントから抜いてください。
省資源機能	両面印刷機能、割り付け印刷機能、拡大/縮小機能を使用することで、印刷用紙の使用枚数を節約することができます。
回収リサイクル体制	**インクカートリッジのリサイクル** 弊社は、環境保全活動の一環として、「使用済みインクカートリッジ回収ポスト」をエプソン製品取扱い店に設置し、使用済みインクカートリッジの回収、再資源化に取り組んでいます。使用済みインクカートリッジは、最寄りの回収ポストまでお持ちいただきますようご協力をお願いいたします。
修理体制	エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、いくつかの保守サービスをご用意しております。詳細につきましては本書 95、97 ページをご覧ください。
補修用性能部品の最低保有期間	製品の製造終了後 6 年
消耗品の最低保有期間	製品の製造終了後 6 年
適合規格	国際エネルギースタープログラム 情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B

Apple の名称、Macintosh、iMac は Apple Computer,Inc. の商標または登録商標です。
Microsoft、Windows、Windows NT は米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標です。

MagicGate、マジックゲートメモリースティック、マジックゲートメモリースティックDuo、メモリースティック、メモリースティックDuo、メモリースティック PRO Duo、および MEMORY STICK PRO、Memory Stick ロゴはソニー株式会社の登録商標または商標です。
SD メモリカード、SD ロゴは、（株）東芝、松下電器産業（株）、米国 SanDisk 社の商標です。
xD-Picture Card、xD-Picture Card ロゴは富士写真フイルム（株）の商標です。
その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

Bluetooth は、その権利者が保有している商標であり、セイコーエプソンは、ライセンスに基づき使用しています。
本製品は USB DIRECT-PRINT に対応しています。本製品は USB DIRECT-PRINT 対応プリンタに直接接続し、デジタルカメラのモニタ上で写真選択や印刷開始を指示することができます。
EPSON Scan はセイコーエプソン株式会社の商標です。
EPSON Scan is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
トラブル解決アシスタント、EPSON PRINT Image Matching、PRINT Image Framer は、セイコーエプソン株式会社の登録商標です。
本文中で用いる P.I.F. は PRINT Image Framer の略称です。

Microsoft®Windows® 98 operating system 日本語版、Microsoft®Windows® Millennium Edition operating system 日本語版、Microsoft®Windows® 2000 operating system 日本語版の表記について本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows 98、Windows Me、Windows 2000 と表記しています。Microsoft®Windows® XP Home Edition operating system 日本語版、Microsoft®Windows® XP Professional operating system 日本語版の表記について本書中では、Windows XP と表記しています。
また、Windows 98、Windows Me、Windows 2000、Windows XP を総称する場合は「Windows」、複数の Windows を併記する場合は、「Windows 98/ Me」のように Windows の表記を省略することがあります。
本製品が対応している Mac OS のバージョンは以下の通りです。
Mac OS 9.1 〜 9.2.x/Mac OS X v 10.2、v 10.3
本書中では、上記各オペレーティングシステムをまとめて、それぞれ「Mac OS 9」、「Mac OS X」と表記していることがあります。
また、アップルコンピュータ社製のコンピュータを総称して「Macintosh」と表記していることがあります。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。
また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

複製が禁止されている印刷物について

紙幣、有価証券などを本機（プリンタ）で印刷すると、その印刷物の使用目的および使用方法の如何によっては、法律に違反し、罰せられます。（関連法律）

刑法	第 148 条、第 149 条、第 162 条
通貨及証券模造取締法	第 1 条、第 2 条　など

著作権について

写真、絵画、音楽、プログラムなどの他人の著作物は、個人的にまたは家庭内その他これに準ずる限られた範囲内において使用することを目的とする以外、著作権者の承認が必要です。

電波障害自主規制について　- 注意 -

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。
この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
本装置の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCI ルールの限界値を超えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。
電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。
（社団法人 電子情報技術産業協会（社団法人日本電子工業振興協会）のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

電源高調波について

この装置は、高調波抑制対策ガイドラインに適合しております。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

ご注意

（1）本書の内容の一部または全部を無断転載することを固くお断りします。
（2）本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
（3）本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
（4）運用した結果の影響については、（3）項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
（5）本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修正・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
（6）エプソン純正品および、エプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。この場合、修理などは有償で行います。

索引

ここに記載する索引は、本製品をパソコンと接続しないで使用する場合に必要な項目です。パソコンと接続して使用する場合の使用方法の詳細は、『PM-A870 電子マニュアル』をご覧ください。以下のページに『PM-A870 電子マニュアル』の起動方法が記載されています。

本書 46 ページ「電子マニュアルの見方」

数字

2 アップ 21
4 アップ 21

アルファベット

B　Bluetooth 61
　Bluetooth ユニットコネクタ 4
D　DPOF 印刷 36
L　L 判印刷（フィルム）............ 42
　L 判印刷（メモリカード）............ 27
M　Macintosh（印刷）............ 49
P　P.I.F. フレーム 37
　P.I.F. 印刷 38
U　USB インターフェイスケーブル .... 5、74
W　Windows（印刷）............ 48

五十音

あ　明るさ調整 29
　アフターサービス 95
い　インクカートリッジ 71
　インクカートリッジの交換 72
　インクカートリッジ交換位置 4
　インク吸収材 4
　インク残量 71
　インターネット FAQ 88
　インデックス印刷（メモリカード）............ 35
　印刷（パソコン）............ 48
　印刷結果 79
　印刷時の注意 90
　印刷設定（メモリカード）............ 30
　印刷先のポート 86
　印刷物の取り扱い 93
　印刷枚数設定（メモリカード）............ 29
え　液晶ディスプレイ 6
　エッジガイド 4
　エラーメッセージ 77
お　オーダーシートプリント（メモリカード）............ 32
　オートシートフィーダ 4
か　カートリッジ固定カバー 4
　外部機器コネクタ 4
　外部記憶装置 .... 57、58
　[各種設定] ボタン 6
　紙詰まり 67
　乾燥方法 93
き　ギャップ調整 70
　キャリッジ 5
　給紙口カバー 4
　ギリギリコピー 19
け　携帯電話 60
　原稿カバー 5
　原稿台 5
こ　こだわり印刷（フィルム）............ 43
　こだわり印刷（メモリカード）............ 27
　コピー（基本のコピー）............ 8
　コピーの種類 13
　コピー設定 17
　コピー手順 14
　コピーメニュー 17
　梱包 96
さ　サービス・サポート 94
　再インストール 87
し　写真コピー（L 判 /2L 判）............ 23
　写真の選択方法（メモリカード）............ 29
　修理 95
　初期設定 54
す　ズーム印刷（フィルム）............ 44
　ズーム印刷（メモリカード）............ 34
　スキャナドライバ .... 84、87
　スキャナユニット 4
　スキャン .... 50、67
　スキャンモードの切り替え 51
　[スタート] ボタン 6
　[ストップ] ボタン 6
せ　製造番号 95
　製品仕様 99
　赤外線通信カード 60
　設定の初期化 54
　[設定] ボタン 6
　設定一覧表 103
　設定項目（コピー）............ 17
　設定項目（メモリカード）............ 29
　全自動モード（スキャン）............ 50
そ　操作パネル（基本操作）............ 54
　操作パネル .... 6、103
た　退色復元（コピー）............ 17
　退色復元（フィルム）............ 43
つ　通風口 5
て　データの保存（スキャン）............ 55
　デジタルカメラから印刷 .... 36、59
　電源コード 5
　[電源] ボタン 6
　電源ランプ 6
　電子マニュアル 47
と　問い合わせ先 .... 97、98
の　ノズルチェック 68

は　排紙トレイ......4
パソコン......45、83
バックアップ（メモリカード）......57
バックアップデータの印刷（メモリカード）......58
ひ　日付印刷（メモリカード）......27、31
標準コピー......19
ふ　ファイル形式（メモリカード）......25
フィルムスキャン......39
フィルムスキャンケーブル......5
フィルムスキャンユニット......5
フィルムのセット......41、82
フィルムの種類......40
フィルムホルダ......39
フチなしコピー......19
普通紙コピー......8
プリンタドライバ......85、87
プリントヘッド......4、66、70
プリントヘッド用固定具......4、96
へ　ヘッドクリーニング......68、69
ほ　保護マット......5
ポスター4/9/16......22
保存・展示方法......93
み　ミニフォトシールコピー......24
ミラーコピー......24
め　目詰まり......66
メモリカード......25
メモリカードからのプリント（基本のL判プリント）......10
メモリカードからのプリント......26
メモリカードスロット......4
メモリカードスロットカバー......4
メモリカードのセット......10、82
メモリカードを取り出す......12
も　[モード]ボタン......6
ゆ　輸送......96
輸送用固定レバー......5、96
よ　用紙サポート......4
用紙のセット......7、78
用紙の種類......90
用紙の種類と設定値（コピー）......18
り　リピートコピー自動/4/9/16/名刺......20
れ　レイアウト......13
わ　ワイヤレス印刷......60、61

操作パネルの設定早見表

① メモリカード ボタン

用紙タイプ
普通紙/写真用紙/光沢紙/フォトマット紙/ミニフォトシール/郵便IJハガキ/郵便ハガキ/光沢名刺カード/アイロン

用紙サイズ
A4/L判/2L判/ハガキ/六切

レイアウト
1面フチなし/1面フチあり/1面-上半分/2面/4面/8面/20面/シール16面/名刺8面/［P.I.F.］xxxx

品質
速い / きれい / フォト

フィルター
なし / セピア

自動調整
P.I.M./オートフォトファイン/Exif/なし

携帯写真印刷
する / しない

明るさ調整
より暗く/暗く/なし/明るく/より明るく

コントラスト
なし / 強く / より強く

シャープネス
ソフトフォーカス強/ソフトフォーカス弱/なし/シャープネス弱/シャープネス強

鮮やか調整
よりくすんだ/くすんだ/なし/鮮やか/より鮮やか

日付印刷
しない/yyyy.mm.dd/mmm.dd.yyyy/dd.mmm.yyyy

時刻印刷
しない/12時間/24時間

撮影情報印刷
しない / する

トリミング
する / しない

双方向印刷
する / しない

シール上下調整/左右調整
上下 / 左右

オーダーシートの印刷

オーダーシートを読み込んでプリントする

用紙タイプ
普通紙

用紙サイズ
A4

② フィルム ボタン

L判印刷（☞本書42ページ）

- スキャン原稿
  - カラーネガフィルム/カラーポジフィルム（ストリップ）/カラーポジフィルム（マウント）/モノクロネガフィルム

こだわり印刷（☞本書43ページ）

- スキャン原稿
  - カラーネガフィルム/カラーポジフィルム（ストリップ）/カラーポジフィルム（マウント）/モノクロネガフィルム
- 用紙タイプ
  - 普通紙 / 写真用紙 / 光沢紙 / フォトマット紙 / 郵便IJハガキ/郵便ハガキ
- 用紙サイズ
  - A4/L 判 /2L 判 / ハガキ / 六切
- 画質
  - 速い / きれい
- 退色復元
  - OFF/ON
- レイアウト
  - フチなし / フチあり

ズーム印刷（☞本書44ページ）

メモリに保存（☞本書56ページ）

③ コピー ボタン

コピー 標準コピー	
枚数	1
固定倍率	等倍
任意倍率	100%
用紙タイプ	普通紙
用紙サイズ	A4
品質	速い

枚数（☞本書14、17ページ）
- 1 ～ 99

固定倍率（☞本書14、17ページ）
- 等倍
- 自動
- A4 →ハガキ
- 2L 判→ハガキ
- L 判→ハガキ
- L 判→ 2L 判
- 2L 判→ A4
- ハガキ→ A4
- L 判→ A4
- L 判→六切
- 六切→ L 判
- L判→ハガキ上半分

任意倍率（☞本書14、17ページ）
- 25%～ 400%（1%刻み）

用紙タイプ（☞本書14、17ページ）
- 普通紙
- スーパーファイン紙
- 写真用紙
- 光沢紙
- フォトマット紙
- ミニフォトシール
- 郵便 IJ ハガキ
- 郵便ハガキ
- 光沢名刺カード
- アイロンプリント紙

用紙サイズ（☞本書14、17ページ）
- A4
- L 判
- 2L 判
- ハガキ
- B5
- ハガキ上半分
- 六切

品質（☞本書14、17ページ）
- エコノミー
- 速い
- きれい
- フォト

退色復元（☞本書14、17ページ）
※写真（L判/2L判コピーのみ）
- ON/OFF

▷ メニュー

コピー コピーメニュー	
コピーレイアウト	ギリギリ
コピー濃度	

コピーレイアウトを選択して、OKボタン

コピーレイアウト（☞本書14、17、19ページ）
- 標準
- フチなし
- ギリギリ
- リピート自動
- リピート 4
- リピート 9
- リピート 16
- リピート名刺
- 2 アップ
- 4 アップ
- ポスター 4
- ポスター 9
- ポスター 16
- 写真（L 判）
- 写真（2L 判）
- ミニフォトシール
- ミラーコピー

コピー濃度（☞本書14、17ページ）
- （9 段階）

④ スキャン ボタン

スキャン スキャンメニュー

- スキャンしてメモリカードに保存
- スキャンしてPCへ
- スキャンしてEメールへ
- スキャンしてWebへ

メニュー選んで [OK] ボタンを押してくだ

スキャンしてメモリカードに保存（☞本書55ページ）

- スキャン範囲：自動キリトリ/最大範囲
- 原稿タイプ：グラフィック/テキスト
- 品質：フォト / きれい / ふつう

スキャンしてPCへ（☞本書52ページ）

スキャンしてEメールへ（☞本書52ページ）

スキャンしてWebへ（☞本書52ページ）

⑤ 各種設定 ボタン

各種設定 各種設定メニュー

- 液晶明るさ調整
- インク残量
- ノズルチェック
- ヘッドクリーニング
- インクカートリッジ交換

メニューを選んで、OKボタンを押 1/3

液晶明るさ調整（☞本書76ページ）
（13 段階）

インク残量（☞本書71ページ）

ノズルチェック（☞本書68ページ）

ヘッドクリーニング（☞本書69ページ）

インクカートリッジ交換（☞本書72ページ）

ギャップ調整（☞本書70ページ）

初期設定へ戻す（☞本書54ページ）

BT本体番号設定（☞本書61、62ページ）
0～9

BT通信モード（☞本書61、62ページ）
パブリック
プライベート
ボンディング

BT暗号化（☞本書61、62ページ）
ON/OFF

BT/赤外線通信パスキー設定（☞本書61、62ページ）
任意の 4 桁の数字

BTデバイスアドレス表示（☞本書61、62ページ）

ダイレクト印刷設定(イメージ)（☞本書60ページ）

- 用紙タイプ：普通紙 / 写真用紙 / 光沢紙 / フォトマット紙 / 郵便IJハガキ/郵便ハガキ/シール / アイロン
- 用紙サイズ：A4/L判/2L判/ハガキ/ハガキ上半分 / 六切
- レイアウト：1面フチなし/1面フチあり/1面-上半分/2面/4面/8面/20面/80面/シール16面/名刺8面/[P.I.F.]xxxx
- 画質：速い / きれい
- フィルター：なし / セピア
- 自動調整：P.I.M./ オートフォトファイン /Exif/ なし
- 携帯写真印刷：する / しない
- 明るさ調整：より暗く/暗く/なし/明るく/より明るく
- コントラスト：なし / 強く / より強く
- シャープネス：ソフトフォーカス強/ソフトフォーカス弱/なし/シャープネス弱/シャープネス強
- 鮮やか調整：よりくすんだ/くすんだ/なし/鮮やか/より鮮やか
- 日付印刷：しない/yyyy.mm.dd/mmm.dd.yyyy/dd.mmM.yyyy

ダイレクト印刷設定(テキスト)（☞本書60ページ）

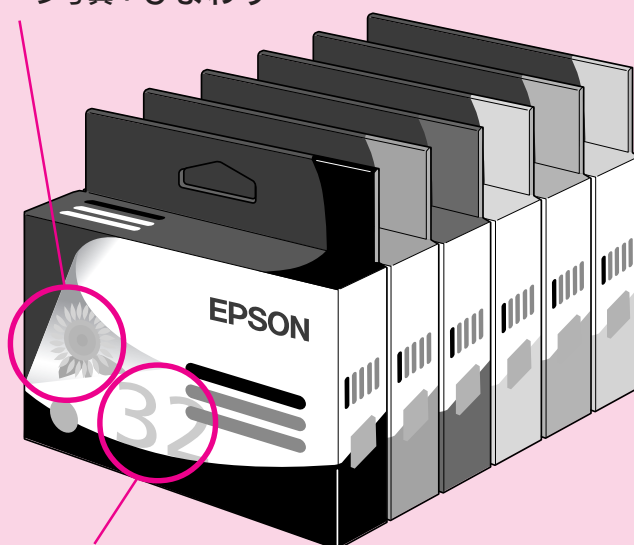
- 用紙タイプ：普通紙/スーパーファイン紙/写真用紙/光沢紙/フォトマット紙 / ミニフォトシール/郵便IJハガキ / 郵便ハガキ / 光沢名刺カード / アイロン
- 用紙サイズ：A4/L 判 /2L 判 / ハガキ / B5/ ハガキ上半分 / 六切
- 画質：速い / きれい

インクカートリッジの型番

ブラック	：ICBK32
シアン	：ICC32
マゼンタ	：ICM32
ライトシアン	：ICLC32
ライトマゼンタ	：ICLM32
イエロー	：ICY32

お得な６色パックもあります。

６色パック	：IC6CL32

イメージ写真：ひまわり

32

※パッケージのイメージ写真と番号を、お買い求めいただく際の目印としてご活用ください。

本製品は、PRINT Image Matching IIIに対応しています。
PRINT Image Matchingに関する著作権は、セイコーエプソン株式会社が所有しています。
PRINT Image Matchingに関する情報は、エプソンのホームページをご覧ください。

MEMORY STICK PRO

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

この取扱説明書は再生紙を使用しています。
本書はリサイクルに配慮して作成しています。
不要になった場合は資源物としてお取り扱いください。

Printed in Japan XX.XX-XX XXX

PM-A870　操作ガイド

EPSON

改訂履歴

Revision	改訂ページ	改訂内容	備考
4050612_00	全て	新規制定	
4050612_01		環境基本仕様を追加	
4050612_02	6(4)	「各部の名称と働き」で、イラスト中の5～8番のデータ欠落を修正	
	20(18)	「写真用紙はモノクロコピー不可」という記載を削除	
	22(20)	「リピートコピー名刺」のレイアウト図の修正（10 面→8 面）	
	26(24)	ミニフォトシールコピーの原稿サイズを追記	